# 一般国道17号

# 南長岡拡幅事業関係発掘調査報告書

中潟館跡

2 0 1 6

新 潟 県 教 育 委 員 会 公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

# 一般国道17号

# 南長岡拡幅事業関係発掘調査報告書

中 潟 館 跡

2 0 1 6

新 潟 県 教 育 委 員 会 公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

新潟県教育員会は、国道建設などの道路事業に伴う発掘調査を行っており、その成果を発掘調査報告書として公表してまいりました。本書は一般国道 17 号南長岡拡幅事業に伴い実施した長岡市中潟館跡の発掘調査報告書です。

一般国道 17号は東京都中央区を起点とし、本州を横断して新潟市に至る 431km の主要幹線国道です。新潟県と首都圏を結び、新潟県の産業・経済・文化の交流と発展に大きな役割を果たしています。南長岡拡幅事業は長岡市妙見町から同市十日町間延長 3.6km の一般国道 17号の現道拡幅事業です。この区間は長岡市中心部と小千谷市の中間に位置し、急速に沿道開発が進み交通量が著しく増加しています。しかし、幅員が 9.5m と狭いため交通混雑が著しく、さらに除雪余裕幅もないために冬季交通確保にも支障をきたしていました。こうした状況を克服するため昭和 61 年度より事業化され、既に事業は完了しています。

中潟館跡は平安時代末から室町時代にかけて長岡市南東部に所在した「しとのき荘」を拠点とした有力氏族石坂氏の居館という伝承を持つ館跡で、発掘調査の結果、館の周囲をめぐる堀や掘立柱建物や井戸、土坑などが検出され、当時の館や周辺の様子が明らかとなりました。

今回の報告書が、地域の歴史を解明する資料として広く活用されるとともに、県民 の方々の埋蔵文化財に対する理解と知識を深める契機となれば幸いです。

最後に、この調査に関して多大な御協力と御援助を頂いた、長岡市教育委員会なら びに地元住民の方々、発掘調査報告書から報告書刊行に至るまで格別区の配慮を賜り ました国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所に対して厚くお礼申し上げます。

2016年3月

新潟県教育委員会

教育長 高 井 盛 雄

# 例 言

- 1 本報告書は、新潟県長岡市妙見町浄土原 680 番地 1 ほかに所在する中潟館跡の発掘調査記録である。
- 2 本発掘調査は、一般国道 17 号南長岡拡幅事業に伴い、国土交通省から新潟県教育委員会 (以下、県教委) が受託 したものである。
- 3 本発掘調査は県教委が調査主体となり、財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 (以下、埋文事業団) に調査を依頼 し (平成5) 年度に実施した。
- 4 整理作業及び報告書作成に係る作業は、県教委が埋文事業団に委託し、主に 2014(平成 26)年度に実施し、2015(平成 27)年度に刊行した。
- 5 出土遺物及び調査・整理作業に係る各種資料は、一括して県教委が新潟県埋蔵文化財センターにおいて保管している。
- 6 遺物の注記は、「ナカカタ」とし、調査年度(西暦下二桁)・出土地点・層位などを併記した。
- 7 本書の図中で示す方位は、すべて真北である。
- 8 遺物番号は通し番号とした。本文及び挿図・観察表・図面図版・写真図版の番号はすべて一致している。
- 9 引用文献は著者及び発行年(西暦)を文中に[]で示し、巻末に一括して掲載した。
- 10 各種図版・挿図作成や本文編集は、有限会社不二出版に委託した。
- 11 本書の執筆は第Ⅰ章・第Ⅱ章を坂上有紀(埋文事業団 嘱託員)、第Ⅲ章~第Ⅵ章を春日真実(同 課長代理)がこれ にあたり、編集は春日が担当した。
- 12 図版中の網掛けは、各図版に凡例を示した。
- 13 調査成果の一部は現地説明会資料 [1993]、埋文事業団 年報平成5年度 [1994] などで公表しているが、本報告をもって正式な報告とする。
- 14 本遺跡は新潟県埋蔵文化財包蔵地カード 長岡市 129 中潟 (妙見) 館として登録されており、『長岡市史』資料編1 考古 [長岡市 1992] 及び『長岡市内遺跡発掘調査報告書』[長岡市教育委員会 1994] で「妙見館跡」として記述してある館跡と同一のものである。なお、『新潟県中世城館等分布調査報告書』[県教委 1987] では、一覧表には「中潟館跡」、本文中は「中潟館跡 (妙見館跡)」と記述してある。
- 15 発掘調査から本書の作成に至るまで、下記の方々から多くの御教示・御協力をいただいた。ここに記して厚く感謝申し上げます。

長岡市教育委員会 国土交通省長岡国道事務所 遠藤孝司 駒形敏朗 鶴巻康志 鳴海忠夫 水澤幸一

# 目 次

第I章	章	序		説	• • • • •	 	 	• • • • •	 	 	 	 		1
1	調査	配至	る経緯	幸		 	 		 	 	 	 		1
]	A 確 B 本	認調発掘調	査 ]査	<b>*</b>		 	 		 	 	 	 		2
第Ⅱ章	<b></b>	遺跡	の位	置と環境	竟 .	 	 		 	 	 	 		4
1	地理	里的環	境			 	 		 	 	 	 		4
2	歷史	已的環	境			 	 		 	 	 	 		5
第Ⅲ章	章	遺		跡		 	 		 	 	 	 	1	1
1	グリ	リッド	の設気	定		 	 		 	 	 	 	. 1	1
2	基之	本 層	序			 	 		 	 	 	 	1	1
第IV章	章	遺		構		 	 		 	 	 	 	1	3
1	概		要			 	 		 	 	 	 	1	3
2	各		説			 	 		 	 	 	 	1	3
第V章	章	遺		物		 	 		 	 	 	 	1	8
1	概		要			 	 		 	 	 	 	1	8
2	土器	号・陶	J磁器 ·			 	 		 	 	 	 	1	8
3	石		器			 	 		 	 	 	 	. 1	9
4	木		器			 	 		 	 	 	 	2	0
5	金	属	器			 	 		 	 	 	 	2	0
第VI章	<b></b>	ま	と	Ø		 	 		 	 	 	 	2	1
1	中世	せの掘	立柱類	建物につい	て	 	 		 	 	 	 	2	1
2	中海	릥館跡	と石場	反氏	••••	 	 	••••	 	 	 	 	2	6
<b>«</b>	引用	• 参孝	<b>学</b> 文献	» ······		 	 		 	 	 	 	2	7
				<i>//</i> 										

# 挿図目次

第 1 図	国道 17 号南長岡拡幅範囲と遺跡の位置	第11図	掘立柱建物の分布状況 16
第 2 図	確認調査トレンチ位置と本発掘範囲 2	第 12 図	長岡市中潟館跡・奈良崎遺跡の
第 3 図	周辺の地形分類図と段丘対比図	1	掘立柱建物 22
第 4 図	周辺の遺跡(縄文時代)(	第13図	長岡市三貫梨遺跡・ソデクネ遺跡、
第 5 図	周辺の遺跡(中世)	3	十日町市伊達八幡館跡外郭の掘立柱建物 … 23
第 6 図	明治36年の地籍図と平成5年の	第 14 図	十日町市伊達八幡館跡
	空撮写真10	)	主郭・副郭の掘立柱建物24
第 7 図	グリッドの設定1	第 15 図	見附市坂井遺跡の掘立柱建物 25
第 8 図	基本層序	第 16 図	掘立柱建物の面積25
第 9 図	遺構の平面・断面形態、堆積状況の分類 … 14	1	
第 10 図	ピット覆土の分類 14	1	
	表	目 次	
<b>数 1 主</b>	上中 防汗光中 腔	2	<b>松 1 购</b> 份 四 <b>の 1</b> 上山 上 石 珪
弗 I 衣	土器・陶磁器一覧	3 第2表	輸入陶磁器の 1 点出土面積 … 26
	図	版目次	
【図面図版	7]	図版 29	北堀完掘、土塁検出状況・断面、基本層序
図版 1	全体図	図版 30	遺構検出状況
図版 2	分割図 1	図版 31	遺構完掘
図版 3	個別図 1	図版 32	遺跡近景
図版 4	分割図 2	図版 33	遺構完掘
図版 5	個別図 2	図版 34	遺構完掘、井戸(1)SE60・319
図版 6	分割図 3	図版 35	井戸 (2) SE320・335・362・364
図版 7	個別図 3	図版 36	井戸 (3) SE374・468・469・360・417
図版 8	分割図 4	図版 37	土坑 (1) SK2·20·22·37
図版 9	個別図 4	図版 38	土坑 (2) SK38·47·69·70
図版 10	分割図 5	図版 39	土坑 (3) SK71·72·76·87
図版 11	個別図 5	図版 40	土坑(4)SK93·94·95·104·136
図版 12	分割図 6	図版 41	土坑 (5) SK119·226·292、P115~
図版 13	個別図 6	,,,_,	$118 \cdot 178 \cdot 224 \cdot 225 \cdot 247$
図版 14		図版 42	土坑 (6) SK293·310·311·323·324
図版 15	個別図 7	図版 43	土坑 (7) SK343·347·357·333·365、
図版 16	個別図 8 SB1 · 2 · 5		SD344
図版 17	個別図 9 SB3·4·6·8	図版 44	土坑 (8) SK372·379·380·390
図版 18	個別図 10 SB7·9·13	図版 45	土坑(9)SK391·392·394·393、P437
図版 19	個別図 11 SB10·11	図版 46	土坑(10)SK418・426・453・454、
図版 20	個別図 12 SB12·14	,,,_,	P425 · 430
図版 21	個別図 13 SB14 · 15 · 16	図版 47	溝(1)SD252·286·317·355·356·
図版 22	個別図 14 SB17·18·19·20·21		376, SK318
図版 23	個別図 15 SB22 · 23 · 24 · 25 · 27	図版 48	溝(2)·掘立柱建物(1) SD344·358·
図版 24	個別図 16 SB26 · 28 · 29 · 30	<u>ы</u> лых 10	367 · 481 · 483, SX62, SB2 · 9
図版 25	土器・陶磁器1	図版 49	掘立柱建物 (2) SB4・8・10・11・12
図版 26	土器・陶磁器 2、石器 1	図版 50	掘立柱建物 (3) SB12·14
図版 27	石器 2、木器、金属器	図版 51	掘立柱建物(4)SB15·16·17·20·24
【写真図版		図版 52	土器・陶磁器、石器 1
図版 28	遺跡近景、北堀断面	図版 53	石器 2、木器、金属器

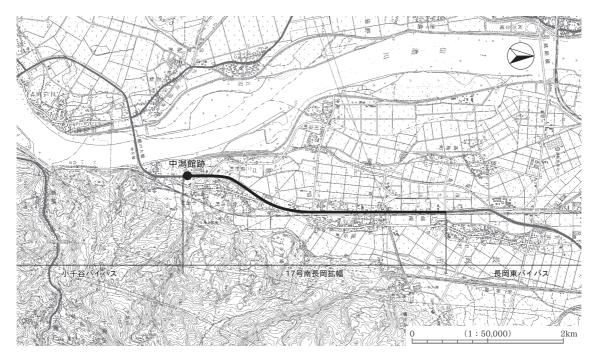
# 第1章 序 説

# 1 調査に至る経緯

一般国道 17 号は、関越自動車道とともに関東方面と新潟県域を結ぶ主要幹線道路である。また、地元においては、日常活動圏である長岡市中心部への重要な生活道路としての役割を担ってきた。しかし、交通量の増加は通勤・通学時間帯を中心に慢性的な渋滞を引き起こし、さらに除雪余裕幅もなく冬季交通確保に支障をきたしていた。建設省(現国土交通省、以下、国交省とする)はそのような状況を踏まえて、長岡〜小千谷地区の交通混雑の解消と幹線ネットワークの充実・強化を目的に、南長岡拡幅道路(長岡市妙見町〜同市十日町に至る 3.6km)の建設を 1986 年に事業化、1988 年に用地取得に着手した。なお、これに接続する長岡市十日町〜同市(旧中之島町)五百刈間の延長 17.0km は長岡東バイパス、長岡市妙見町〜小千谷市木津間の延長 7.4km は小千谷バイパスとしてそれぞれ 1972 年・1976 年に事業化し、1973 年・1979 年に用地取得・工事に着手している。

1985年に協議を行った時点では遺跡の明確な地点は把握されていなかったこともあり、1992年6月から工事が開始されていたが、工事範囲に遺跡が存在するかもしれないという情報が入ったことから、県教委は急遽現地踏査を行い、遺跡が存在する可能性が極めて高いと判断した。これを受けて、国交省と県教委、埋文事業団は取り扱いについて協議を重ね、年度内に確認調査、翌年度(1993年)に本発掘調査を実施することとした。

なお、本発掘調査を行った時点ではこの区間の事業名は南長岡拡幅であったが、現在は小千谷市薭生~ 長岡市十日町に至る延長 11.0km の小千谷バイパスとして扱われている。



第1図 国道17号南長岡拡幅範囲と遺跡の位置 (国土地理院「片貝」「小千谷」1:25,000 を改変)

# 2 調査と整理作業

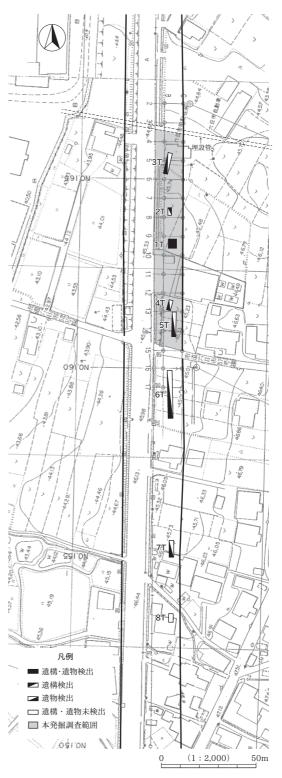
### A確認調査

### 調査の経過

国交省から依頼を受けた県教委は、埋文事業団 に当該地区の確認調査を委託し、1992年12月に 調査を実施した。用地内に試掘坑(トレンチ、以下 T) を任意に8か所設定し、重機(バックフォー)及 び人力による掘削・精査を行い、遺構・遺物の有無 を確認した。調査対象範囲は2,717m2、実質調査 面積は90m<sup>2</sup>で確認率は3.3%である。その結果、 3Tからは堀を検出し、 $1\cdot 4\sim 7T$ では土坑や溝・ ピットを検出した。また、遺物はわずかであったが、 中世の陶磁器のほか、1Tからは縄文土器が出土し た。6Tからは近世陶磁器2点のみ、7Tからはピッ トのみで遺物は出土しなかったことから本発掘調査 対象から除外し、1,225m<sup>2</sup>について本発掘調査が 必要と判断した。なお、3Tより北側及び5Tと6T 間の市道下については同日程で確認調査を実施する ことができなかった。

### 調査の体制

期間	1992年(平成4)年12月8・9日
調査主体	新潟県教育委員会 (教育長 本間栄三郎)
調査	財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団 (理事長 本間栄三郎)
総 括	藍原 直木(事務局長)
管 理	渡辺 耕吉 (総務課長)
庶 務	藤田 守彦 (総務課 主事)
調査総括	茂田井信彦 (調査課長)
調査指導	戸根与八郎(調査課 埋蔵文化財第1係長)
調査担当	小田由美子(調査課 専門員)
調査職員	木村 孝一(調査課 嘱託員)



第2図 確認調査トレンチ位置と本発掘調査範囲

### B 本発掘調査

### 調査の経過

1993 年 4 月 5 日から事前準備、13 日から表土掘削を開始した。表土は、調査員立会いのもと重機により掘削し、16 日に完了した。19 日からは作業員を投入して包含層掘削を開始し、23 日からは一部遺構精査に着手し、遺構検出・遺構掘削を順次進めた。5 月 22 日には地域の住民を対象に遺跡説明会を実施し、約 50 名の参加があった。6 月 4 ~ 10 日に測量、7・8 日には空撮を行った。11 日に現地調査を完了し、撤収した。なお、調査範囲は南北に若干延長されたことから、面積は 1,700 $\mathrm{m}^2$ となった。

### 調査の体制

期 間 1993年(平成5)年4月12日~6月11日 調査主体 新潟県教育委員会 (教育長 本間栄三郎) 調 査 財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団 (理事長 本間栄三郎) 総 括 藍原 直木 (事務局長) 管 理 渡辺 耕吉 (総務課長) 庶 務 藤田 守彦 (総務課 主事) 調査総括 茂田井信彦 (調査課長) 調査指導 戸根与八郎 (調査課 埋蔵文化財第1係長) 調査職員 羽賀 信幸 (調査課 専門員)・江口 友子 (同 嘱託員)		
調查       財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団 (理事長 本間栄三郎)         総括       藍原 直木 (事務局長)         管理       渡辺 耕吉 (総務課長)         庶務       藤田 守彦 (総務課 主事)         調査総括       茂田井信彦 (調査課長)         調査指導       戸根与八郎 (調査課 埋蔵文化財第1係長)         調査担当       小田由美子 (調査課 専門員)	期間	1993年 (平成 5) 年 4 月 12 日~ 6 月 11 日
総 括 藍原 直木 (事務局長) 管 理 渡辺 耕吉 (総務課長) 庶 務 藤田 守彦 (総務課 主事) 調査総括 茂田井信彦 (調査課長) 調査指導 戸根与八郎 (調査課 埋蔵文化財第 1 係長) 調査担当 小田由美子 (調査課 専門員)	調査主体	新潟県教育委員会 (教育長 本間栄三郎)
<ul> <li>管 理 渡辺 耕吉 (総務課長)</li> <li>庶 務 藤田 守彦 (総務課 主事)</li> <li>調査総括 茂田井信彦 (調査課長)</li> <li>調査指導 戸根与八郎 (調査課 埋蔵文化財第1係長)</li> <li>調査担当 小田由美子 (調査課 専門員)</li> </ul>	調査	財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団 (理事長 本間栄三郎)
庶 務 藤田 守彦 (総務課 主事) 調査総括 茂田井信彦 (調査課長) 調査指導 戸根与八郎 (調査課 埋蔵文化財第1係長) 調査担当 小田由美子 (調査課 専門員)	総 括	藍原 直木(事務局長)
調査総括 茂田井信彦 (調査課長) 調査指導 戸根与八郎 (調査課 埋蔵文化財第 1 係長) 調査担当 小田由美子 (調査課 専門員)	管 理	渡辺 耕吉 (総務課長)
調查指導 戸根与八郎(調査課 埋蔵文化財第1係長) 調査担当 小田由美子(調査課 専門員)	庶 務	藤田 守彦 (総務課 主事)
調査担当 小田由美子(調査課 専門員)	調査総括	茂田井信彦(調査課長)
	調査指導	戸根与八郎(調査課 埋蔵文化財第1係長)
調査職員 羽賀 信幸(調査課 専門員)・江口 友子(同 嘱託員)	調査担当	小田由美子(調査課 専門員)
	調査職員	羽賀 信幸 (調査課 専門員)・江口 友子 (同 嘱託員)

### C整理作業

### 整理作業の経過

遺物の水洗などの基礎的な作業は、本発掘調査と並行して進めた。本格的な整理作業は 2014 年 4 月から開始し、編集まで行った。 2016 年 3 月に印刷・刊行した。

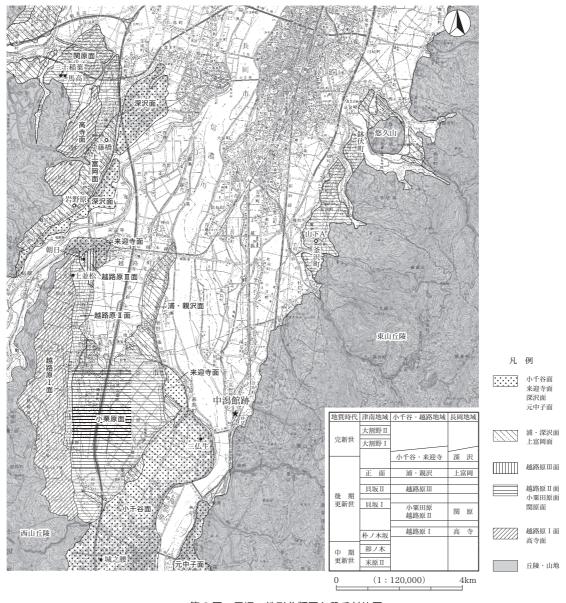
### 整理作業の体制(平成26年度)

期間	2014年(平成 26)年4月1日~2015(平成 27)年3月31日
整理主体	新潟県教育委員会 (教育長 高井 盛雄)
整 理	公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団 (理事長 高井 盛雄)
総 括	土肥 茂 (事務局長)
管 理	熊倉 宏二 (総務課長)
庶 務	仲川 国博(総務課 班長)
整理総括	高橋 保 (調査課長)
整理担当	春日 真実(調査課 整理担当課長代理)
作 業	田辺恵美子 伏見 敦子(調査課 嘱託員)

# 第Ⅱ章 遺跡の位置と環境

# 1 地理的環境

中潟館跡が所在する長岡市は、新潟県のほぼ中央、新潟平野の南端に位置する。東西 42.6km、南北 59.3km で 890.91km²の面積を有する。長岡市は、2005 年 4 月に周辺の 4 町 1 村(旧中之島町・旧越路町・旧三島町・旧山古志村・旧小国町)、2006 年 1 月に 1 市 2 町 1 村を(旧栃尾市・旧寺泊町・旧与板町・旧和島村)と合併し、広大な市域を有することとなった。さらに 2010 年 3 月には飛び地ながら川口町が合併し、最終的に 2 市 6 町 2 村の合併という、「平成の大合併」の象徴とも言える例となった。周囲を新潟市・出雲崎町・燕市・見附市・小千谷市・魚沼市・柏崎市と接する。



第3図 周辺の地形分類図と段丘対比図

(国土地理院地形図「長岡」「小千谷」1:50,000、[小林 $_{\text{ほか}}$ 1991] [新潟県農地部 1977] より作成)

長岡市を縦断する信濃川は、南佐久郡の山岳部(甲武信が岳)に源を発し、長野県を経由して新潟市から日本海に注ぐ、全長 367km の国内最長の河川である。長岡市域の南端(旧川口町を除く)は、信濃川が丘陵から平野部へと流入する変換点にあたり、新潟平野の南端でもある。この地点から北側では両岸に沖積平野が広がり、市街地や水田が形成されている。平野の西側は東頸城丘陵の北東部にあたり、通称西山丘陵と呼ばれる標高 200 ~ 300m 前後の低平な丘陵からなる。一方、平野の東側は魚沼丘陵の北部にあたり、通称東山丘陵と呼ばれる標高 700m 以上の山が連なる急峻な山地からなる。

平野の周縁には河岸段丘が発達しており、特に西側(左岸)で顕著であるが、上流の津南地域に比較して緩やかで不明瞭である。これらの地形の基盤には鮮新世後期~更新世(約300万年前~30万年前頃)にかけて形成された魚沼層群が堆積しており、最大厚は3,000m以上におよぶ。河岸段丘は、後期更新世に形成されたもので、渋海川左岸では高寺面、関原面、上宮岡面、深沢面の4面、渋海川右岸のうち小千谷市北部では越路原 I・II・III面、小粟田原面、浦・親沢面、来迎寺面、小千谷面から構成される。これらの段丘のうち深沢面・来迎寺面・小千谷面は完新世に形成された比較的新しい段丘とされていたが、近年の研究により1.3万年前よりも古いということが明らかになり、後期更新世に訂正された[越路町1998a]。

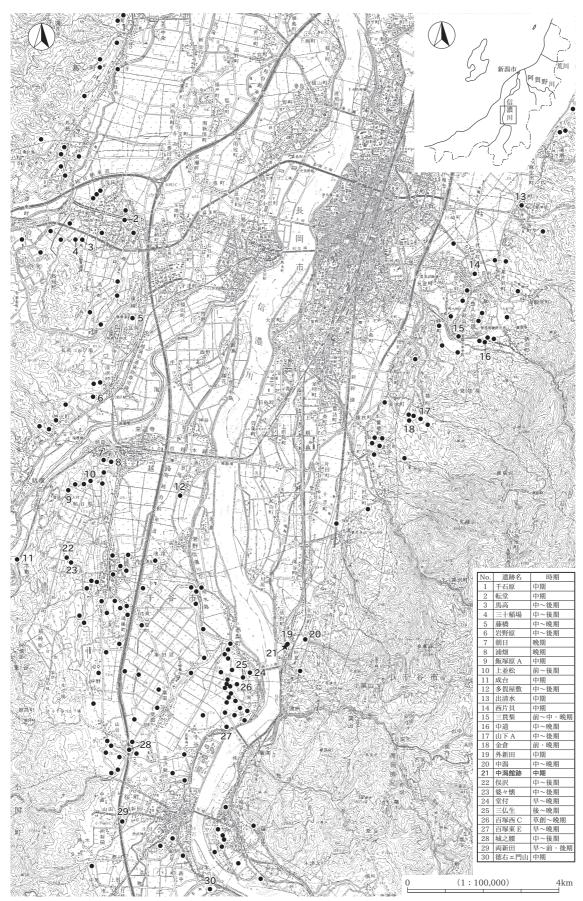
遺跡は主に段丘上とそれに接する丘陵上に分布しており、特に縄文時代は顕著である。第3図に主な遺跡を示した。本遺跡の立地する信濃川右岸では、段丘は悠久山の裾部と鉢伏町から釜沢町にかけての丘陵裾にわずかに認められる程度である。本遺跡は、信濃川からわずか300mの沖積低地に立地するが、前述したように平野の南端でもあるため、丘陵からも約500mの距離である。現況は宅地・畑・道路であり、標高は約45mである。

# 2 歷史的環境

本項では、本遺跡に関連する縄文時代と中世の遺跡について概観する。

#### 縄 文 時 代

草創期~前期の遺跡は少ないが、中期に入ると急激に増加する。山下 A 遺跡 (17) では中期初頭から中葉にかけての土器変遷が注目される。初頭から前葉にかけては新保・新崎式土器が卓越するが、徐々に大木式の影響が強まり、一方、勝坂式土器がかなりまとまって出土した。中葉においては、東北・北陸・関東地方などの文様要素が複雑に融合した個性の強い在地系の土器が、火焔型土器の古相を示す土器とともに少量ではあるが出土しており、火炎土器様式の成立過程を示す良好な資料とされている [長岡市 1992]。中期中葉は火炎土器様式が盛行する段階である。火炎土器様式は、在地の様相に大木式土器など周辺地域の影響を受けて成立したもので、地域的特性が強い。信濃川中流域を中心に濃密な分布を示しており、長岡・小千谷地域はまさに中心域に含まれる。馬高遺跡 (3) は「火焔土器」が出土した遺跡として全国的に著名であり、隣接する三十稲場遺跡 (4) とともに国史跡に指定されている。発掘調査により、馬蹄形状に展開する集落が2群検出された。土器のほか、大型土偶・耳飾・三角形土版・三角壔土製品など多様な土製品や石器も多数出土した [長岡市 1992]。中期中葉から後葉にかけては遺跡数が最も多く、馬高遺跡のほか山下 A 遺跡・中道遺跡 (16)・転堂遺跡 (2)・岩野原遺跡 (6)・外新田遺跡 (19)・徳右エ門山遺跡 (30) などが挙げられる。外新田遺跡は本遺跡と隣接しており、その距離はわずか 200mであ



第4図 周辺の遺跡 (縄文時代) (国土地理院地形図「長岡」「小千谷」1:50,000 を改変)

る。主体は中期中葉であるが、縄文後期・平安時代・中世の遺物が出土している。打製石斧が多数出土 し、石材を同じくする石核や剥片も多く出土していることから、生産が行われていたと判断された [駒形 1998]。また、三脚石器と三角形土版が他遺跡と比較して突出していることが特徴的である。本遺跡から も中期の遺物が出土していることから、何らかの関連性があると推測される。

岩野原遺跡は遺跡全域が発掘調査された貴重な事例で、集落の様相が明らかになった。遺跡の範囲は東西 300m、南北 150m に及ぶ。中期から後期全般という長期にわたる集落で、中期は舌状台地の先端、後期は台地の奥に位置する。いずれも中央の広場を中心に住居や貯蔵穴などが環状にめぐる典型的な縄文集落である。中期の集落では竪穴住居 82 棟、貯蔵穴 60 基、墓穴と考えられる多数の土坑が確認され、集落の中央にのびる小さな沢には膨大な量の遺物が廃棄されていた [駒形ほか 1981]。集落の継続により遺物の変遷が明らかとなり、火焔土器様式の変遷をとらえる上で重要な資料となっている。そのほか、硬玉製の大珠が墓穴と見られる土坑から出土した。後期の集落では竪穴住居 77 棟、貯蔵穴や多数のピット群のほか、掘立柱建物や敷石住居が検出された。後期は初頭~前葉が主体であり、三十稲場式から南三十稲場式に至る良好な資料となっている。

中期後葉以降、遺跡数は減少するが、後期初頭には再び増加する。この時期の主な遺跡としては三十稲 場遺跡(4)・城之腰遺跡(29)・多賀屋敷遺跡(12)・上並松遺跡(10)が挙げられる。

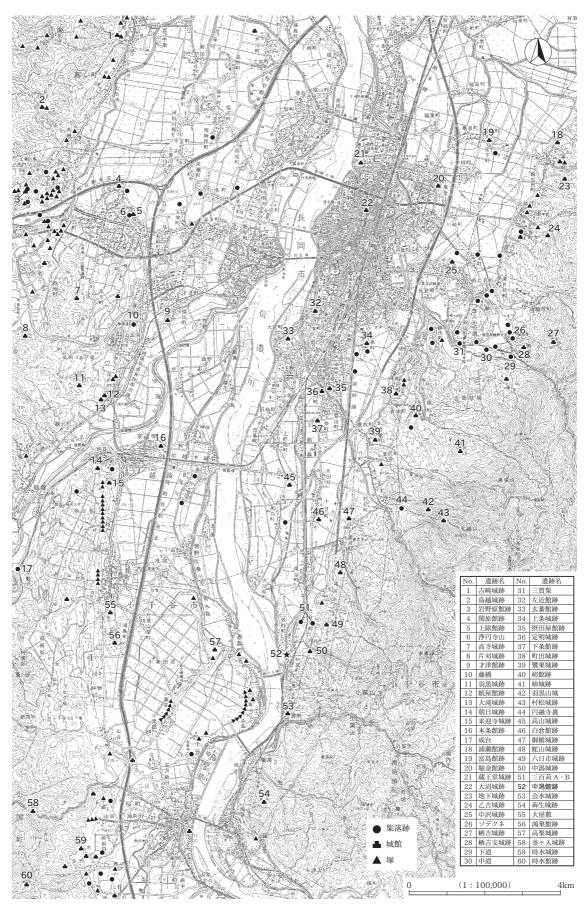
三十稲場遺跡は、前述したように馬高遺跡と隣接しており、後期初頭の三十稲場式の標識遺跡で、在地色の強い土器群であり刺突文と蓋形土器の存在を特徴とする。三十稲場式に後続するとされる南三十稲場式は、遺跡内の南東側から出土した一群から型式設定されたものであるが、三十稲場式とは器形・文様・施文手法などが大きく異なり、口縁部の縁帯文と胴部の集合沈線を特徴とする。いずれの型式も成立と消滅の過程に不明な部分が多く、2つの型式は共存するという論もあり、未だ見解の一致をみていない。なお、遺跡の全容は不明であるが、多数の石組炉や柱穴が検出されていることから、大規模な集落と推測される[長岡市 1992]。

城之腰遺跡は後期初頭を主体とする大規模な集落跡で、83 軒もの竪穴住居が検出された [藤巻ほか1991]。多賀屋敷遺跡・上並松遺跡は三十稲場式の成立前後の資料がまとまって出土しており、地域編年を考えるうえで重要な資料となっている。そのほか本遺跡の南西 2km 付近には、堂付遺跡(24)・百塚西 C 遺跡(26)・百塚東 E 遺跡(27)など、小千谷パイバス建設に伴い発掘調査された遺跡が集中して分布している。この中には後期中葉の標識遺跡、三仏生遺跡(25)も存在する。後期後半以降は遺跡数が激減し、晩期に至る。

藤橋遺跡(5)は晩期全般にわたる大規模な集落跡で、多数の柱穴群と掘立柱建物が確認された。竪穴住居が発見されておらず、掘立柱建物のみで集落を構成していた可能性が高い[駒形<sub>ほか</sub>1977]。土器・石器のほか、未成品を含む多数の玉類が出土しており、玉作遺跡としての性格も注目される。なお、1978年に国史跡に指定されている。

### 中 世

11世紀半ば以降、全国的に荘園が増加していき、12世紀半ばの鳥羽院政期には在地領主制を媒介として成立した寄進地系荘園の確立期とされている。本遺跡周辺は志度野岐荘に属し、史料上の所見は吾妻鏡文治二(1186)年三月二十日条「二位大納言領志度野岐庄」である。二位大納言が誰かは明らかになっていないが、源定房、平頼盛とする説のほか、藤原定房とする説、藤原兼房とする諸説がある。「志度野岐」



第5図 周辺の遺跡(中世)(国土地理院地形図「長岡」「小千谷」1:50,000を改変)

については、後に志土岐・槌脱・槌貫・褥抜と様々な漢字が使われた。当初は「しとのき」と呼ばれていたが、そのうちに「しとぬき」が一般的となったらしい。志度野岐荘は二位大納言領の後、宮家領、親王領を経て南北朝期以降は守護領となり、上杉家の家臣に分与されていった。荘域は長岡市摂田屋から小千谷市南荷頃にかけての地域で、上条と下条に分かれる。上条は小千谷市南荷頃から長岡市妙見町周辺、下条は長岡市摂田屋から釜沢町周辺で、下条町の名は現在も残っている。

1185 (文治元) 年、源頼朝は後白河上皇から全国に守護・地頭を設置する勅許を得る。越後は源頼朝の知行国となり、執権北条氏が国守として采配をふるうことになる。これは鎌倉時代末まで続いた。

1338 (延元3) 年に足利尊氏が征夷大将軍となり室町幕府が成立し、1341 (暦応4) 年には上杉憲顕が越後国守護となる。1349 (貞和5) 年には足利氏の内紛が勃発する (観応の擾乱)。南北朝期には、古志地域周辺の勢力は南朝方であったが、観応の擾乱の際には尊氏と対立する直義方と南朝方が結んだことから、かつての南朝方も分裂して戦いが繰り広げられた。尊氏方の阿賀北の武士と池氏、多劫氏、石坂氏が蔵王堂の地で越後守率いる南朝方と戦ったとの記載があるが [長岡市 1996]、石坂氏とは志度野岐荘上条を拠点とする武士で、後に中潟館を居館としたという伝承がある。

内紛がおさまり、一時守護職を離れていた上杉憲顕が復帰し関東管領にも任じられると、越後守護は息子に相続させ、以降分家として独立した形となった。その上杉家を補佐したのが守護代の長尾氏である。長尾氏は室町時代を通じて、守護代の家を軸に各地に住み着き支配の核を作っていった。長尾景春は、上杉憲顕の守護代であった景忠の甥であるが、彼が古志郡に入り拠点を蔵王堂の町に置いたことから古志長尾氏と呼ばれるようになる。その後、15世紀末から16世紀初頭頃に本拠地は蔵王堂城(21)から栖吉城(27)へと移された。

16世紀前半まで守護上杉氏、守護代長尾氏による越後国支配の体制が存続するが、1507 (永正 4) 年、守護代長尾為景が上杉房能を追放し、守護に上杉氏一族の上条定実を擁立する。ここから越後の戦国時代は幕を開ける。

為景の子、景虎(上杉謙信)が生まれた 1530 (享禄3)年の頃は、越後は守護方と守護代方に分かれて 反目しあい、あちこちで戦が繰り広げられていた。なお、景虎の母は古志長尾氏の出身である。景虎は 14歳で古志郡司の権限を与えられ、栃尾城へ入る。反乱を鎮め家中での名声を高めると景虎擁立を望む 声が出始め、家中分裂の危機を迎えたが、兄・晴景は 1548 (天文17)年、景虎に家督を譲り隠退する。 1550 (天文19)年、守護上杉定実が亡くなり、後継ぎがいなかったことから越後守護上杉家は断絶した。この直後に景虎は朝廷より国主待遇を許可される。1557 (弘治3)年、関東管領上杉憲政が越後に亡命し、景虎に関東管領の官職と上杉氏の名跡を譲る。景虎は上杉政虎、輝虎と名乗り改めた後、1570 (元亀元)年に謙信と称するようになった。

一方、古志長尾氏については、謙信が 1559 (永禄 2) 年に上洛した際見いだした河田長親を後継ぎとし、前領主長尾景信は上杉の姓を与えられ上杉十郎景信となった。これに伴い家臣団が新たに編成され、長親の家臣団は「栖吉衆」と呼ばれるようになる。一方、引き続き景信に従った家臣達は「古志衆」と呼ばれた。 1578 (天正 6) 年 3 月、謙信の急死により家督争いが勃発し、越後を二分する大きな戦となった。御館の乱である。景勝が上田長尾氏出身であることから、古志長尾氏は対抗上、景虎の支持に回った。景虎側は栖吉城・蔵王堂城・栃尾城から三条城にかけての地域に多く、景勝側は魚沼と阿賀北地域で支持を集めた。 1579 (天正 7) 年 3 月に景虎が自害し、景勝は上杉家の当主となったが、景虎側の抵抗は続き、最終的に争乱が収束するまでに 2 年以上の歳月を要した。なお、長岡市域に存在する高津谷城・三島谷城・片刈城

(8)・左近館 (32)・摂田屋館 (35)・柿城 (41) は、御館の乱で景虎側につき落城したと言い伝えられている。 御館の乱以降、景勝の支配方針転換により、新潟ー三条-蔵王堂-魚沼のラインが重視され、栖吉城よりも再び蔵王堂城が古志郡支配の拠点として認められるようになる。1594 (文禄3) 年の上杉家「定納員数目録」によると、栖吉城将の定納高が324石であるのに対し蔵王堂城将は1,600石であり、この数値は城の格も反映されていると判断できる。

1598 (慶長3) 年1月、上杉家は会津への国替えを命じられ、戦国時代は終焉に近づいていく。

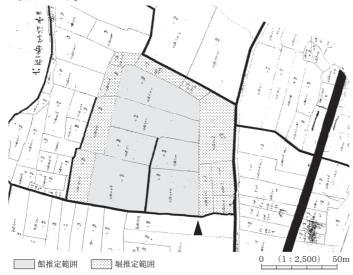
#### 集落谱跡

主な分布域は東山丘陵及び西山丘陵沿いであるが、信濃川左岸の段丘上にも分布が認められる。少量の陶磁器類が出土、あるいは採集されている遺跡は多数存在するが、広範囲に及ぶ発掘調査例はわずかである。三貫梨遺跡(31)では、東側に館跡が検出され、約100mの距離を置いて墳墓群を検出した。館跡は堀に挟まれて掘立柱建物と井戸などがあり、15世紀の遺物が出土している。このほか、下道遺跡(29)からは約1万枚の古銭が入った木製容器が出土した。14世紀中頃から後半にかけて埋蔵されたと推測されている。また、渋海川右岸の段丘上に位置する成台遺跡(17)は、縄文時代・古代~中世の複合遺跡で、素掘りの井戸とピット群が検出されている。

#### 城 館

長岡市域は古志長尾氏の拠点となったこともあり、文献に残る城館跡も存在する一方で、築城時期や城主が全く不明な城跡も多い。先に述べたように戦国時代、古志長尾氏の支配と御館の乱に関連して蔵王堂城跡(21)・栖吉城跡(27) 薭生城跡(54)・片刈城跡(8) が挙げられる。中潟館跡(52) は志度野岐荘上条に在地する石坂氏の居館との言い伝えがあり、地元では「館」「館の内」と呼ばれている。『温故の栞』五篇に「五十間四方塘壕を構へし旧跡あり、今は耕地となり館の内と称す」との記述があるが、国道17号や住宅により遺構の大半が消失している。明治36年の地籍図から、本館跡は東西約70m、南北90mのやや縦長の規模で、周囲に土塁や堀を巡らせた方形単郭式の館と推測されている(第6図)。

中潟館跡の南 1.6km に位置する会水城 (53) は石坂氏の要害と考えられている。会水城が立地する東山丘陵に信濃川が接しており、尾根上から眼下に信濃川をおさめることができることから、軍事交通上の要地でもあったと考えられる。築城時期は不明であるが、遺構や伝承から戦国時代以前に築かれたと推測されている。





第6図 明治36年の地籍図と平成5年の空撮写真

# 第Ⅲ章 遺 跡

# 1 グリッドの設定

グリッドは、国交省の打設した杭 No.160 と No.166 を結んだ線を基準として設定した。この方向は真北と一致する。南北方向をアラビア数字、東西方向をアルファベットで表した 10m の方眼を大グリッド、大グリッドを 25 分割した 2m の方眼を小グリッドとし(第 7 図)、10B25 のように呼称した。杭 No.160 は 16B、杭 No.166 は 6B の西側延長線上に位置する。座標(旧測地)は 6B が X149647.1453・ Y29444.3812、<math>16B が  $X149537.1556 \cdot Y29445.8155$  である。

# 2 基本層序

調査区の基本層序は以下のとおりである。後世の撹乱により基本層序が残っていない地点も存在した。 なお調査区の地形は北から南に向かって高くなっている。

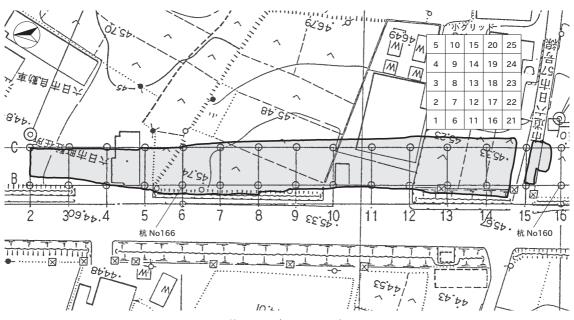
I 層(表土・耕作土) 茶褐色土

Ⅲ層 黒褐色土 しまりやや弱い。地山粒(径2~5mm)、地山ブロック(径約2cm)少量含む。中世の 遺物包含層。

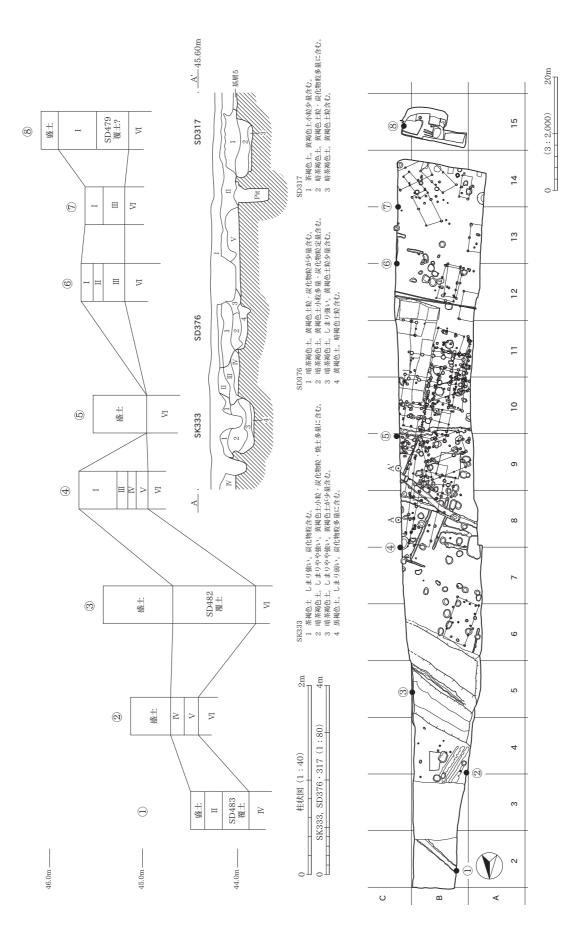
IV層 茶褐色土 しまり強い。炭化物・焼土ごく少量混じる。縄文時代の遺物包含層か。

V層 明茶褐色土 IV層とVI層の漸移層。

VI層(地山) 黄褐色土



第7図 グリッドの設定



第8図 基本層序

# 第Ⅳ章 遺 構

### 1 概 要

第Ⅱ章2で述べたように中潟館跡は東西約70m、南北約90mのやや縦長の方形単郭式の館と推測する。 三方に巡る堀の規模も含めると東西・南北とも100m強である。平面形は、北縁が大きく北に、西縁は わずかに東、東縁はわずかにかに西、南縁はわずかに北に振れている略台形であるが、方1町の区画を 意識して作られた館である可能性が高い(第6図)。調査区は館の中央やや東寄りを南北に縦断する。

遺構は掘立柱建物 30、井戸 11、土坑 65、溝 14、不明遺構 4、ピット多数を検出した。遺構の年代は中世のものが大半を占めるが、土坑やピットには縄文時代のものも存在すると考えている。

遺構種別の略号は、掘立柱建物:SB、井戸:SE、土坑:SK、溝:SD、ピット:P、不明遺構:SXとした。 遺構番号は井戸・土坑・不明遺構・ピットは連番としたが、掘立柱建物は整理時に図上復元したものが大 半であり、井戸・土坑・溝・不明遺構・ピットとは別に連番とした。本文・観察表における平面形・断面 形・土層堆積状況の記載は第9図、ピットの堆積状況は第10図に準拠する。

### 2 各 説

### 溝 · 土 塁

北堀(図版  $4\cdot 5\cdot 28\cdot 29$ )  $4\cdot 5$ AB にある幅約 6.5m、深さ約 1.3m の大規模な溝。館の北側の堀と考えている。方向は N-62°-E である。断面形は台形状、覆土はレンズ状堆積である。北堀の北側上端と館の南端の溝と推測する SD479 の南側上端の距離は約 103m である。

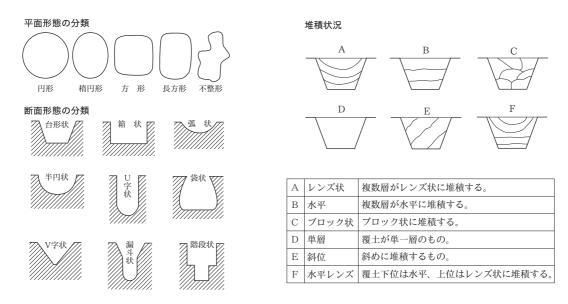
SD482 (図版 4・5・28) 5B にある幅約 1m、深さ 48cm の溝。北堀の南側に隣接して存在し、北堀と平行する。北掘との切り合い関係は不明であるが土塁構築以前の遺構である可能性がある。

土塁 (図版 4・5・29) 幅は 9.4m で、SD482 の南側に並行して構築されている。中世の遺物包含層であるⅢ層の上面から盛土が行われている。後世の削平により、調査で確認できた盛土厚は約 40cm であったが本来はもっと高かったものと考えている。

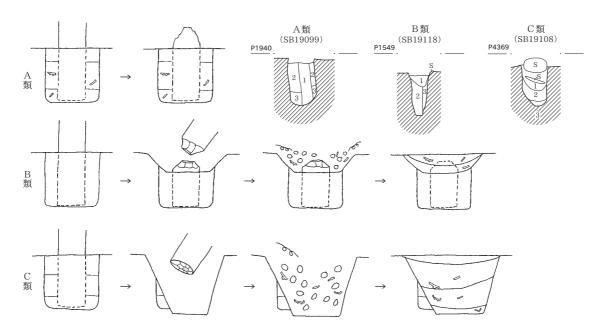
SD479 (図版 14・15・34) 15B にある幅 45cm、深さ 12cm の溝。館の南端を区画する溝と考える。上部を撹乱により壊されており、本来はこれより規模の大きい溝であったと推測できるが、SD479 の遺構底面の標高が約 44.5m で、14B の遺構検出面の標高が 14.7 ~ 14.9m であることを考えると、SD482 のような大規模な溝ではなかった可能性が高い。明治 36 年の地籍図 (第6図) で館南端の堀と推測される落ち込みが未確認なこともこのことを裏付けている。

**SD252** (図版 8・9・47) 10ABC・11ABC の境界付近にある東西方向の溝。北堀北側上端と SD479 南側上端の中間付近に位置し、距離は約 50m である。青磁鉢 (図版 25 5)、瀬戸焼・美濃焼天目椀 (図版 25 7・8) などが出土した。

**SD317・376** (図版 8・9・30・31・47) 8ABC・9BC にある西北西 - 東南東方向の溝。SD317 が



第9図 遺構の平面・断面形態、堆積状況の分類(春日ほか2012を転載)



分類	特徴	形成過程(案)	出土遺物	備考
A類	柱根(痕)がピットの 検出面付近から確認で きる。	柱が立ち腐れるか、検出面 より上位で切断される。	掘形内の遺物は建物構築以前、柱 痕内の遺物は建物廃絶後に含まれ たもので、建物機能時の遺物が含 まれている可能性もある。	B類の上部が後世に削平され たものも含まれる。
B類	上部がレンズ状堆積で、 下部に柱根(痕)が確 認できる。	検出面より下位、柱底面より上位で柱を切断する。根 腐れ部分で柱を切断した可 能性などが考えられる。	掘形内の遺物は建物構築以前、上 部と柱痕内の建物は建物廃絶後に 含まれたもので、建物機能時の遺 物が含まれている可能性もある。	柱根(痕)が斜めに入っている場合、A類をB類と誤認する可能性がある。
C類	柱根(痕)が確認できない。	柱底面まで掘り下げ柱を完全に抜き取る。抜き取り時 に生じた穴が埋没する。	ピット内の遺物は基本的に建物廃 絶後に含まれたもの。	セクション図の位置によって は、セクションに柱根 (痕) が係らずA・B類をC類と誤 認する場合がある。

第 10 図 ピット覆土の分類 (春日ほか 2012 を転載)

SD376より新しい。SD317はSK318・SE320より古く、SD286・3227と直行する。SD376はSD355・356・367と平行し、SD358・368と直行する。SD252とSD317・376の方向が異なるのは、SD317・3767が北堀の方向に規制されたのに対し、SD252は館の東・西・南縁の形状に規制された結果と推測する。SD317は瀬戸焼・美濃焼瓶子(図版 25 11)、珠洲焼壺 R 種(図版 25 21)などが出土した。

### 掘立柱建物

SB2 (図版  $8\cdot 9\cdot 48$ )  $8\cdot 9BC$  にある  $1\times 6$  間の南北棟建物。主軸方位は $\Pi$ 類、桁行平均寸法 B 類である。 SB5 (主軸方位 $\Pi$ 類・平均桁行寸法 A類)、SB6・7 (主軸方位  $\Pi$  類)、SB29 (主軸方位 $\Pi$ 類・平均桁行寸法 B 類) などと重複する。

SB10・11 (図版 10・19・49) SB10 は 9・10BC にある東西棟建物、SB11 は 9・10・11BC に所在する南北棟建物である。P163 (SB10) と P164 (SB11) は重複し、P163 (SB10) が古い。

SB10 は観察表では梁間 2 間としたが、P250 が棟持柱の可能性もある。主軸方位は $\Pi$ 類、平均桁行寸法は A 類である。SB11 のほかに SB8・9(ともに主軸方位 $\Pi$ 類・平均桁行寸法 B 類)と重複する。

SB11 は、P154・284 を壁芯棟持柱と考えたが、梁間 2 間の建物の可能性もある。主軸方位は $\Pi$ 類、平均桁行寸法は B 類である。面積は  $58.1 \text{m}^2$  で、今回の調査で全形の明らかとなった建物の中では最も規模が大きい。SB8・9、SB14(主軸方位 $\Pi$ 類)と重複する。P272 からは瀬戸瓶子(図版 25 11)

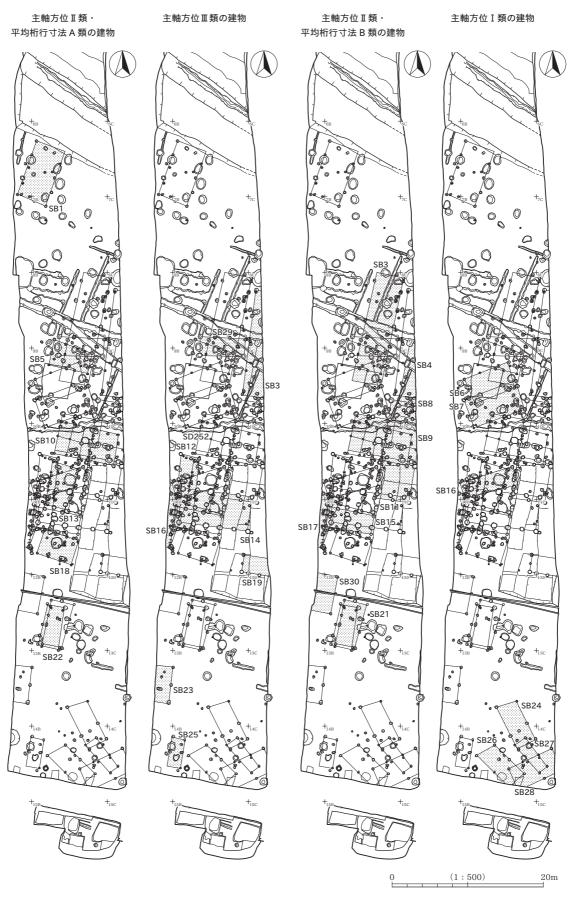
SB14・20 (図版 10・20・21・50) 10・11BC にある桁行 5 間の棟持柱建物。柱穴の位置から P409 は棟持柱と判断した。主軸方位はⅢ類、平均桁行寸法は A 類である。SB14 の P171 は P1030 (SB20) と重複しており、P171 が古い。

SB20 は主軸方位 I 類の建物である。SB20 のほか SB11・15・17(主軸方位 I 類・平均桁行寸法 B 類)、SB12(主軸方位 II類・平均桁行寸法 B 類)、SB13(主軸方位 II類・平均桁行寸法 A 類)などと重複する。P126からは珠洲焼片口鉢(図版 2522)が出土した

SB16・17 (図版 10・21・22・51) ともに 10・11AB にある南北棟建物。P398A (SB17) と P398B (SB16) が重複し、P398B (SB16) が古い。SB16 は主軸方位Ⅲ類、平均桁行寸法 B 類であり、SB17 のほかに SB15 (主軸方位Ⅱ類・平均桁行寸法 B 類)、SB20 (主軸方位Ⅰ類) などと重複する。

SB17 は主軸方位Ⅱ類、平均桁行寸法 B 類であり、SB16 のほかに SB12(主軸方位Ⅲ類・平均桁行寸法 B 類)、SB15・20 などと重複する。

掘立柱建物 (のピット) の切り合い関係をまとめると、主軸方位Ⅱ類・平均桁行寸法 A 類 (SB10) が主軸方向Ⅱ類・平均桁行寸法 B 類 (SB11) より古い事例、主軸方向Ⅲ類 (SB14) が、主軸方向Ⅰ類 (SB20)



第 11 図 掘立柱建物の分布状況

より古い事例、主軸方向Ⅲ類 (SB16) が主軸方向Ⅱ類・平均桁行寸法 B 類 (SB17) より古い事例がある。 主軸方位や平均桁行寸法の近似した建物が、時期的にまとまりがあるという確証はないが、主軸方向Ⅱ類・ 平均桁行寸法 A 類の建物および主軸方向Ⅲ類の建物は相対的に古い時期、主軸方向Ⅱ類・平均桁行寸法 B 類の建物および主軸方向Ⅰ類の建物は相対的に新しい時期の建物の可能性がある。

### 井 戸

11 基検出したがすべて素掘りである。覆土の堆積状況はレンズ状が多い。分布状況は 7・8BC に比較的多く(5 基) 確認できるが、9B(SE319)・10A(SE417)、13C(SE60) にも点在し、北堀の北側 3・4B(SE468・469) にも確認できる。SE335 (図版 12・13・35) は青磁小椀 (図版 25 2)、SE469 (図版 2・3・36) は珠洲焼甕 (図版 26 25) が出土した。また、SE374 (図版 6・7・36) は珠洲焼片口鉢 (図版 25 15) が出土したほか、底面から大型の礫が出土した。

#### 土 坑

6B・8B・12B・14Bで特に多く確認できる。平面形は円形、断面形は弧状、堆積状況はレンズ状のものが多い。時期は大半が中世と考えるが、縄文時代のものも存在する可能性がある。

SK76 (図版 12・13・39) からは珠洲焼片口鉢 (図版 2516)、SK311 (図版 8・9・42) からは白磁椀 (図版 25 6)、SK365 (図版 8・9・43) からは珠洲焼片口鉢 (図版 25 14)・甕 (図版 26 23)、SK379 (図版 6・7・44) からは珠洲焼片口鉢 (図版 25 15)、SK418 (図版 8・9・46) からは珠洲焼甕 (図版 26 25)、SK426 (図版 8・9・46) からは青磁鉢 (図版 25 5) が出土した。また、SK95 (図版 12・13・40) は人頭大かこれより大型の礫で充填されていた。SK69 (図版 12・13・38) は拳大の礫が多数出土した。

SK292(図版 8・9)は縄文土器深鉢(図版 26 26)が出土しており、中世の土器・陶磁器は出土していない。また、SK315(図版 8)・SK427(図版 6)・SK428(図版 6)からも縄文土器以外の土器・陶磁器は出土していない。これらの遺構は縄文時代の遺構である可能性がある。

#### ピット

ピットは館内部の  $6 \sim 14$ ABC で多数検出した。特に  $9 \cdot 10$ BC は多くのピットが存在する。柱痕があるが建物として復元できなかったピットも少なくない。

また、北堀より北の 3・4B (図版 2)、館の南限を示す溝 SD479 より南の 15B (図版 14) でもピットを検出した。3・4B にはピットのほか井戸 (SE468・469)、土坑 (SK453・454) も確認できる。自明のことであるかもしれないが、館の外側が耕地や荒地ばかりではなく、集落 (居住域) が存在したことが推測できる。

# 第V章 遺物

# 1 概 要

遺物には土器・陶磁器、石器、金属製品、木製品がある。出土量は土器・陶磁器が平箱(内法 54cm×幅 34cm×深さ10cm)で3箱、石製品・土製品2箱、木器1箱、金属製品(鉄滓含む)が0.5箱である。 土器・陶磁器、石器・石製品、木製品、金属製品の順に報告する。

### 2 土器・陶磁器

### A 概 要

土器・陶磁器は中世のものが多いが(131点)、縄文時代のものも定量あり(64点)、古代のもの(15点) も少量確認できる。28点図示した(図版  $25 \cdot 26$  1  $\sim$  28)。

中世の土陶・磁器には土師質土器・輸入陶磁器 (青磁・白磁)・瀬戸焼・美濃焼・瓦器・瓷器系陶器・珠洲焼などがある。土師質土器の分類は、水澤などの論考 [水澤 2005] に従った。輸入陶磁器は山本 (大宰府) [2000・2010]・上田 [1982]・森田 [1982] の分類、瀬戸焼・美濃焼 (大窯含む) は藤澤 [1993・2008] の分類・編年、珠洲焼は吉岡 [1994・2003] の分類・編年を用いる。

### B 各 節

1 は手づくね整形の土師質土器皿で水澤分類 [水澤 2005] の T2 類である。口縁端部をわずかに上方につまむ。15 世紀中葉以降増加するものである。

2~5は青磁。2は無紋で内彎する口縁となる小椀である。上田分類 [上田 1982] の E 類であり 14世紀後半から 15世紀前半のものである。SE335から出土した。3は小椀の底部破片で大宰府分類 [山本 2000] のⅢ類である。外面に鎬蓮弁紋がある。13世紀後半を中心とする時期のものである。4は椀の底部破片で無紋である。上田分類の D Ⅲ類もしくは E Ⅲ類であり 14世紀後半から 15世紀前半のものである。5は口径が 20cm を超えることから鉢とした。口縁端部付近が屈曲する。外面に鎬蓮弁紋があり、内面にも文様がある。大宰府分類・上田分類に無い器種である。鎬蓮弁紋があることから 13~14世紀のものと考える。SK426・SD252 などから出土している。

6 は白磁椀。口端端部が外反する。森田分類 [森田 1982] の E 群であり、15 世紀後半のものである。 SK311 から出土した。

7~11 は瀬戸焼もしくは美濃焼。7・8 は天目椀で同一個体の可能性が高い。ともに黒褐色の釉薬が掛かる。古瀬戸後期様式(14世紀

種類	器種	残存率	破片数
縄文土器	深鉢	7	64
土師器	無台椀		2
土師器	有×無台椀		1
土師器	長胴甕		5
土師器	長胴甕×鍋		5
須恵器	甕		1
須恵器	小片		1
土師質	Ш.	8	3
青磁	小椀・椀	4	5
青磁	鉢	3	5
青磁	香炉	0.5	1
自磁	椀	0.5	1
瀬戸・美濃	天目椀	2	4
瀬戸・美濃	端反皿		1
瀬戸・美濃	直縁大皿	5	3
瀬戸・美濃	花瓶		1
瀬戸・美濃	瓶子		15
瓦器	風炉など	3	14
瓷器系陶器	擂鉢	0.5	1
瓷器系陶器	甕×壺		1
珠洲	片口鉢	27	22
珠洲	壺R種		2
珠洲	壺T種	6	1
珠洲	甕	2	5
珠洲	甕×壺T種		46
合	計	68.5	210
## 1 ±		724 00	<b>E</b> ⊏

第1表 土器・陶磁器一覧

後半~15世紀末)のものと考える。7は SD252 から出土した。9・10 は直縁大皿としたが椀形鉢の可能性がある。ともに灰釉が掛かる。口縁部の破片のみで詳細な時期は不明だが古瀬戸後期様式煮物の可能性が高い。9は SD481 から出土した。11 は瓶子であり、灰釉が掛かる。口縁部を欠くため細かな時期を確定することができないが古瀬戸後期様式の $\Pi$ ~ $\Pi$ 期(14世紀末~15世紀前半)のものと考える。

 $12 \cdot 13$  は瓦器。ともに風炉と考える。13 はスタンプによる雷文がある。年代は、15 世紀を中心とするものと考える。

 $14\sim21\cdot23\sim26$  は珠洲焼。 $14\sim19$  は片口鉢で  $14\cdot15$  は吉岡編年 [吉岡 1994] のIV期(13 世紀末~14 世紀)、16 はV期(15 世紀後半)、17 はV期(15 世紀前半)のものである。14 は SK365、15 は SK379・SD358・SE374、16 は SK76 から出土した。 $18\cdot19$  は底部の破片で卸目の様子から 18 はV期以降、19 はIV期以前のものである。20 は壺 T種でIV~V期のものと考える。20 は壺 R種の底部破片である。外面は静止糸切りで I 期(12 世紀後半)ではなく、それ以降のものである。 $23\sim26$  は甕。 $23\cdot24$  は口縁端部の形状からIV 3 期~V期(14 世紀後半~15 世紀前半)のものである。 $25\cdot26$  は底部の破片である。23 は SK365、25 は SE469、26 は SK418 から出土した。

22 は越前焼きの擂鉢である。口縁部の形状から 15 世紀後半から 16 世紀のものと考える。

27・28 は縄文土器深鉢。27 は波状口縁で、口縁端部付近は無紋、胴部には LR 縄文を施す。28 は無紋である。ともに中期後葉~後期初頭のものであろう。

### 3 石 器

石器には縄文時代のものと中世のものがある。剥片なども含め 38 点出土しており、10 点図示した(図版  $26\cdot 27 - 29 \sim 38$ )。

 $29\sim31\cdot33$  は砥石。29 は上面に切断痕がある。30 は上下端を欠損する。31 は右側縁が弧状となる特異な形状である。33 は重さ 8kg を超える大型の砥石である。正面に細かな傷が見られ、金属器の砥石として使用したことがわかる。石材は $29\cdot30$  が凝灰岩、 $31\cdot33$  が砂岩である。4 点とも中世の砥石と考える。

32 は石臼の上臼。石材は花崗岩である。調査区東側の畑地からの採集品で、中世よりも新しい時期のものの可能性がある。

 $34 \cdot 35$  は磨石類で、石材は 2 点とも安山岩である。34 は SD317 から出土した。SD317 は中世の遺構であり、34 も中世の遺物の可能性がある。

36 は頁岩の剥片を素材としている。右側縁には自然面が残る。縄文時代の三脚石器の可能性がある。

37・38 は打製石斧。37 は薄手で石材は粘板岩、38 は厚手で下部を欠損ずる。石材は無斑晶質安山岩である。2 点ともに自然面が一部に残存し、38 は主要剥離面が確認できない。2 点とも縄文時代の石器である。

### 4 木 器

木器は主に井戸から出土した。すべて中世のものと考えている。10 点図化した(図版  $27~39 \sim 48$ )。 39 は SE469 から出土した曲物である。底板には 3 か所(以上)の木釘があり、木取りは柾目である。  $40\cdot41$  は SE60 から出土した。40 は指物の側板で一部が炭化する。右側縁とした側縁に木釘が 2 か所ずつある。41 は柾目の板材である。

 $42 \sim 48$  は SE320 から出土した。44 は折敷の可能性がある。 $46 \cdot 47$  は心去りの棒状木製品で、柄杓の柄の可能性が高い。48 は曲物の側板である。

### 5 金 属 製 品

銭貨を3点、釘6点を図化した(図版27 49~57)。

 $49 \sim 51$  は銭貨。いずれも北宋銭である。50 は SK311 から出土した。SK311 からはもう 1 点銭貨が出土しているが、遺存状態が悪く文字を判読できない。このほか 11B7 から元豊通寶(北宋 初鋳 1078年)が出土した。

 $52 \sim 57$  は釘。ピットからの出土が多い。52 は SB7 の P255、54 は SB9 の P232、55 は SB20 の P472 から出土した。図化したもののほか、SK365・SD376・P378 (9B19) からも出土している。観察表では頂部の幅を「幅 1」、断面図の幅を「幅 2」とした。

釘以外では SK67 から鍬 (鋤) 先の小片、SE364・SD252 から板状の鉄片が出土した。鉄滓・フイゴ 羽口も少量だが出土している。

# 第Ⅵ章 ま と め

# 1 中世の掘立柱建物について

中潟館跡では多数のピットが検出され、30 棟の掘立柱建物を復元した。掘立柱建物の大半は棟持柱建物を含む梁間1間の建物であり、他の建物(総柱建物など)は少ない(第12 図上段)。館跡から出土した中世の土器・陶磁器は上限が13世紀、下限が15世紀末~16世紀初頭で主体を占めるのは14世紀後半から15世紀である。建物の年代も14世紀後半から15世紀を中心とし、13世紀~16世紀初頭の中に収るものが大半と考える。近隣(新潟県中越地区)の近接した時期の遺跡から検出された建物と比較し、当期に梁間1間の建物が一般的であることを確認する。

長岡市奈良崎遺跡 [春日<sub>ほか</sub>2002] は長岡市西部、海岸付近の丘陵上に所在する遺跡である。南北朝の 争乱を契機に造成した山城跡で、削平段・大型の溝などが確認され、削平段を中心に掘立柱建物を 33 棟 検出した。遺物の主体は 15 世紀で、建物のほとんどが棟持柱建物を含む梁間 1 間の建物である (第 12 図下段)。

三貫梨遺跡 [駒形 1987] は長岡市栖吉町に所在する遺跡で、中潟館の北西約 9km に位置する (8p 第 5 図 31)。15 世紀前半を中心とする遺跡で、長軸 13m・短軸 6.3m で 4m × 1.4m の張り出しを持つ建物を検出した (第 13 図左上)。この建物は 3 × 7 間の総柱建物の可能性もあるが、下屋もしくは縁がある桁行 7 間の棟持柱建物と解釈することも可能であろう。

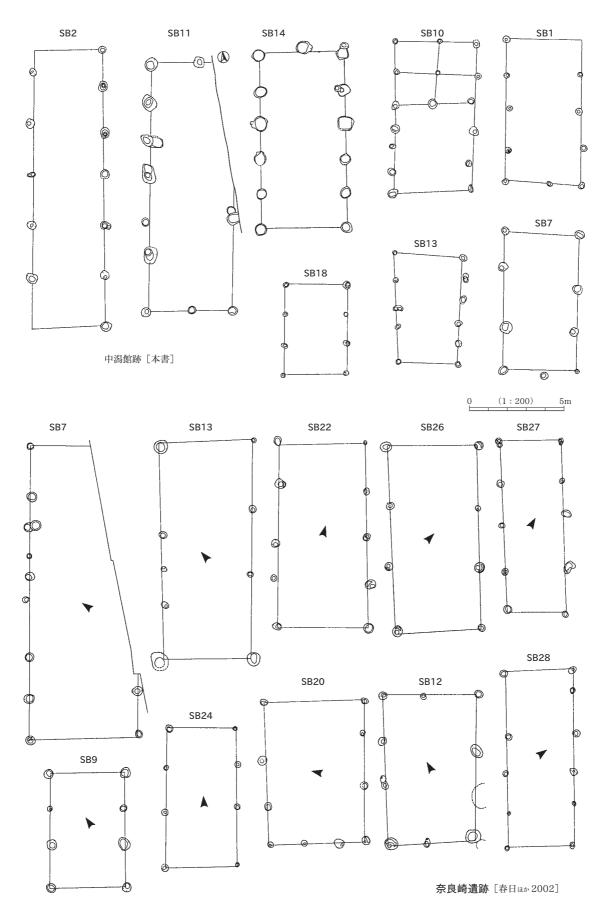
ソデクネ遺跡 [駒形 2003] も長岡市栖吉町に所在する遺跡で、中潟館跡の北西約 10.5km、三貫梨遺跡とは直線距離で 1.5km である (8p 第 5 図 26)。遺跡の年代は 15 世紀後半~ 16 世紀前半を中心とする。掘立柱建物を 8 棟検出した (第 13 図右上)。 40m² 以下の小規模な建物が大半を占めるが、建物のほとんどが棟持柱建物を含む梁間 1 間の建物である。

十日町市伊達八幡館跡 [菅沼<sub>ほか</sub>2006] は十日町市大字伊達に所在し、信濃川右岸の河岸段丘上に位置する。中世の土器・陶磁器は12~16世紀のものが確認できるが、主体を占めるのは15世紀から16世紀前半である。銅製の仏具が5点出土している。報告書では中世の有力氏族鳥山氏との関連が指摘されている。主郭・副郭・郭外合わせて49棟の掘立柱建物を検出した(第13図下・第14図)。掘立柱建物には主郭建物13のように総柱建物も確認できるが、棟持柱建物を含む梁間1間の建物である。

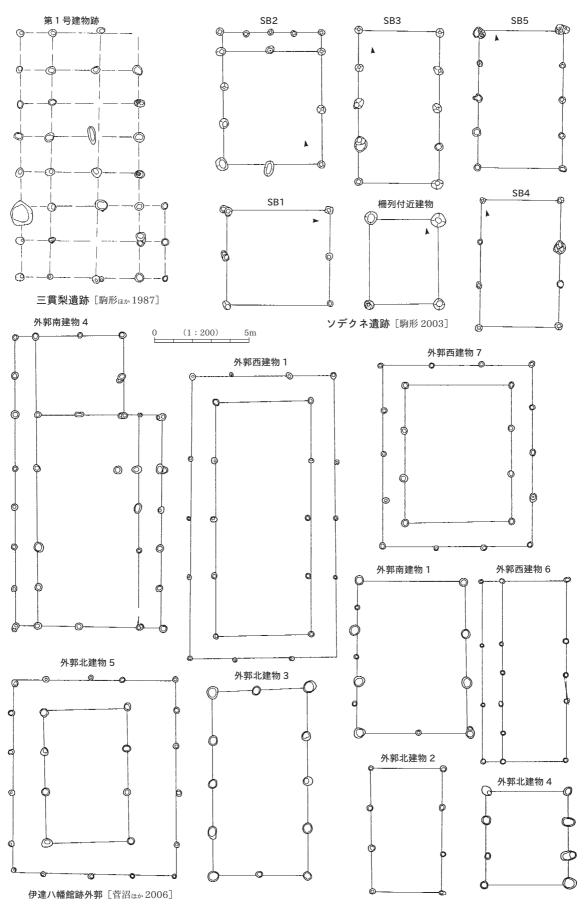
見附市坂井遺跡 [小田ほか2006] は刈谷田川右岸の沖積地微高地上に位置する遺跡で見附市坂井字下屋敷ほかに所在する。中世の土器・陶磁器は13世紀~15世紀のものが出土しているが、主体を占めるのは14世紀後半から15世紀である。掘立柱建物は15棟検出した。30m²以下の小規模な建物が多く、梁間1間のものが大半である(第15図)。

以上のように、新潟県中越地区の14世紀後半~15世紀の掘立柱建物は、長岡市三貫梨遺跡1号建物跡や十日町市伊達八幡館跡主郭建物13のように総柱建物となるものが存在するがこれらは少数派で、棟持柱建物を含む梁間1間建物が主体を占める。中潟館跡で検出した掘立柱建物は中越地域の14世紀後半~15世紀の掘立柱建物の形態としては一般的なものである。

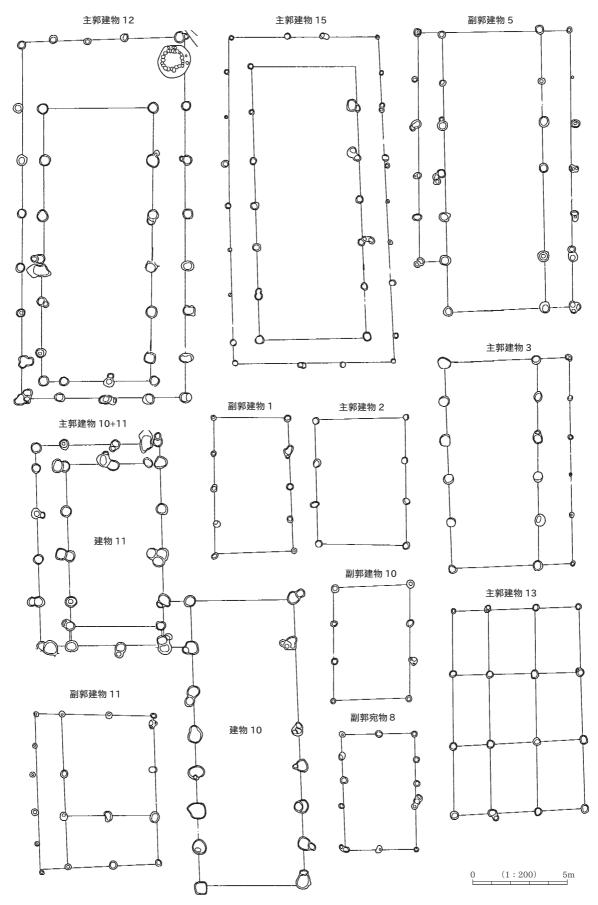
なお、富山県では中世前期(12世紀後半~13世紀)では掘立柱建物の80%を総柱建物が占め、中世中



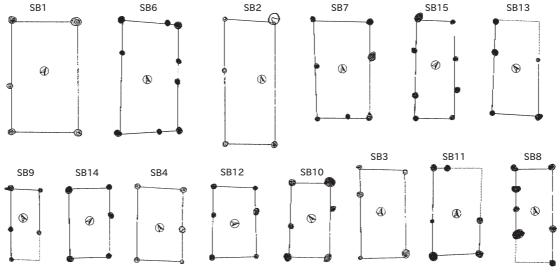
第12 図 長岡市中潟館跡・奈良崎遺跡の掘立柱建物



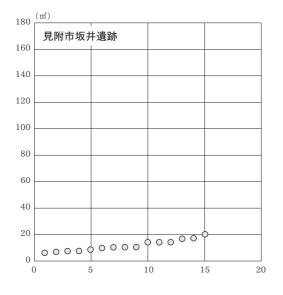
第13図 長岡市三貫梨遺跡・ソデクネ遺跡、十日町市伊達八幡館跡外郭の掘立柱建物

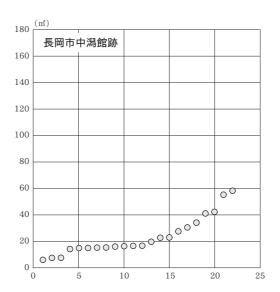


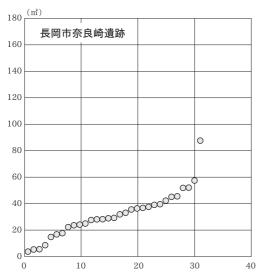
第14図 十日町市伊達八幡館跡主郭・副郭[菅沼ほか 2005]の掘立柱建物

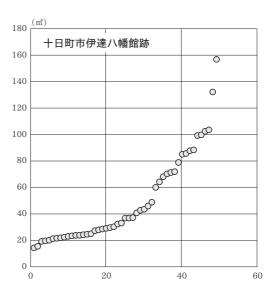


第15図 見附市坂井遺跡 [小田ほか2006] の掘立柱建物









第16図 掘立柱建物の面積

期 (14~15世紀) でも掘立柱建物の約 50% を総柱建物が占めるという指摘がある [高梨 2004]。新潟県中越地域ではより早く総柱建物が減少し、梁間 1 間の建物が定着した可能性がある。また、新潟県北部の村上市田屋道遺跡 [大島<sub>ほか</sub> 2008] は 13~14世紀を中心とする遺跡であるが、総柱建物は少なく、梁間 1 間の建物が多い。総柱建物の多寡や梁間 1 間の建物の定着時期は越後内部でも地域差があった可能性がある。

# 2 中潟館跡と石坂氏

建物の規模と輸入陶磁器の1点出土面積(調査面積÷出土輸入陶磁器点数)[山本2010] について検討し、 中潟館跡の性格について考える。また、中潟館は石坂氏の居館とする伝承があるが、石坂氏との関連についても触れる。

第16 図に、見附市坂井遺跡 [小田 2006]、長岡市中潟館跡 [本書]、同市奈良崎遺跡 [春日ほか 2002]、十日町市伊達八幡館跡 [菅沼ほか 2005] で検出された建物の面積をグラフで示した。建物の面積 は下屋もしくは縁と考える施設を含んだ面積である。

見附市坂井遺跡は  $18.9\text{m}^2$  以下の建物が大半で  $19\sim39.9\text{m}^2$  の建物は 1 棟のみである。中潟館跡は  $13.9\text{m}^2$  以下が 3 棟、 $14\sim18.9\text{m}^2$  が 8 棟、 $19\sim39.9\text{m}^2$  が 7 棟、 $40\sim58.9\text{m}^2$  が 4 棟 確認できる。長岡市奈良崎遺跡は  $13.9\text{m}^2$  以下が 2 棟、 $14\sim18.9\text{m}^2$  が 3 棟、 $19\sim39.9\text{m}^2$  が 17 棟、 $40\sim58.9\text{m}^2$  が 6 棟、 $80\text{m}^2$  以上が 1 棟確認できる。十日町市伊達八幡遺跡は  $13.9\text{m}^2$  以下が 1 棟、 $14\sim18.9\text{m}^2$  が 2 棟、 $19\sim39.9\text{m}^2$  が 24 棟、 $40\sim59.9\text{m}^2$  が 4 棟、 $59\sim79.9\text{m}^2$  が 7 棟、 $80\text{m}^2$  以上が 10 棟確認できる。

次に輸入陶磁器の1点出土面積を確認する。見附市坂井遺跡が384m²、中潟館跡が142m²、奈良崎遺跡が86m²、伊達八幡館跡が76m²である。建物の面積と輸入陶磁器の1点出土面積の検討結果は概ね調和的である。このことから、中潟館跡は坂井遺跡より上位で、奈良崎遺跡・伊達八幡館跡より下位の遺跡と評価することもできる。

文明一五年(1483)の長尾・飯沼氏等知行検地帳(長岡市史資料編2164)によると、中潟館跡が所在する志度野岐荘には料所や多くの家臣・寺社給分があり、その合計は53万余刈であったが、そのうち石坂氏分は約20万刈であった[竹内編1989]。中潟館を居館としたという石坂氏は志度野岐荘のなかでも屈指の有力氏族と推測でき、建物規模や輸入陶磁器の1点出土面積の検討結果は、石坂氏の居館としては

やや物足りない印象を受ける。ただし、今回の調査範囲は限定的である。堀も含めるとほぼ方1町となる館の規模は決して小規模ではない。出土遺物には瓦器風炉や古瀬戸瓶子などの優品も存在する。調査区外に石坂氏の居館に見合った施設が存在している可能性があり、上記の検討結果は、中潟館が石坂氏の居館でなかったことを示すものとはならない。

遺跡名ほか	調査面積 (㎡)	輸入陶磁 点数(点)	1点出土 面積(㎡)
ソデクネ遺跡	9,220	24	384
坂井遺跡	7,650	20	383
中潟館跡	1,700	12	142
奈良崎遺跡	17,580	205	86
伊達八幡館跡	12,000	158	76
三貫梨遺跡(二次)	1,550	109	14

第2表 輸入陶磁器の1点出土面積

# 引用・参考文献

上田秀夫 1982 「14~16世紀の青磁椀の分類について」『貿易陶磁研究』No.2 日本貿易陶磁研究会

江口友子ほか 1999 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 92 集 金塚遺跡・三仏生遺跡・割目 A 遺跡』 新潟県教育委員会・

財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

遠藤孝司ほか 1996 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 71 集 堂付遺跡・百塚東 E 遺跡・百塚西 C 遺跡・割目 B 遺跡』

新潟県教育委員会·財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

越路町 1998a 『越路町史』別編1 自然

越路町 1998b 『越路町史』資料編1 原始・古代・中世

越路町 2001 『越路町史』通史編 上巻

大島英俊ほか 2008 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 181 集 田屋道遺跡 I 宮の越遺跡 I 』 新潟県教育委員会・財

団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

小田由美子ほか 2008 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 169 集 坂井遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵

文化財調查事業団

小林巖雄ほか 1991 『地域地質研究報告 長岡地域の地質』 通商産業省工業技術院地質調査所

春日真実ほか 2002 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 116 集 奈良崎遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵

文化財調査事業団

春日真実はか 2012 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 228 集 山岸遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文

化財調査事業団

駒形敏朗 1987 『三貫梨遺跡-第2次発掘調査-』

駒形敏朗 1998a 『外新田遺跡』 長岡市教育委員会

駒形敏朗 2003 『ソデクネ遺跡』 長岡市教育委員会

駒形敏朗ほか 1977 『藤橋遺跡』 長岡市藤橋遺跡等発掘調査委員会

駒形敏朗ほか 1981 『岩野原遺跡』 長岡市教育委員会

駒形敏朗gan 1994 「2 妙見館跡」『長岡市内遺跡発掘調査報告書』 長岡市教育委員会

駒形敏朗ほか 1998 『中道遺跡』 長岡市教育委員会

品田髙志 1999 「越後における中世後期の土師器Ⅲ—京都系土師器第2波の流入と展開—」『中世土師器の基礎

研究』XIV 日本中世土器研究会

菅沼 亘th 2008 『十日町市埋蔵文化財調査報告書第 26 集 伊達八幡館跡発掘調査報告書』 十日町市教育委員会

高梨清志 2004 「越中(富山県)の様相」『掘立柱建物から礎石建物へ』 北陸中世考古学研究会

竹内理三編 1989 「支度野岐荘」『角川地名大辞典 15 新潟県』 角川出版

高野裕子 2004 「越後の様相」『掘立柱建物から礎石建物へ』 北陸中世考古学研究会

鶴巻康志ほか 1999 「第5章 中近世 第2節B 中世後期」『新潟県の考古学』 高志書院

長岡市 1992 『長岡市史』資料編1 考古

長岡市 1993 『長岡市史』資料編2 古代・中世・近世1

長岡市 1996 『長岡市史』通史編 上巻

新潟県農地部農地整備課編 1977 『土地分類基本調査 小千谷』

新潟県 1986 『新潟県史』通史編1 原始·古代

新潟県 1987 『新潟県史』通史編2 中世

新潟県教育委員会 1987 『新潟県中世城館跡等分布調査報告書』

新潟第四紀グループ編 1993 『越路の大地』上巻 越路町教育委員会

新田康則 2011 『浦畑遺跡Ⅱ』 新潟県長岡市教育委員会

新田康則·石坂圭介 2011 『多賀屋敷遺跡IV』 新潟県長岡市教育委員会

藤澤良祐 1993 『瀬戸市史 陶磁史編四』 愛知県瀬戸市 藤澤良祐 2008 『中世瀬戸窯の研究』 高志書院 藤巻正信はか 1991 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 29 集 城之腰遺跡』 新潟県教育委員会 水澤幸一 2005 「越後の中世土器」『新潟考古』第 16 号 新潟考古学会 宮田進一 1994 「第IV章 まとめ 2 掘立柱建物」『梅原護摩堂遺跡発掘調査報告書(遺構編)』 財団法人富山県 文化振興財団 宮本長二郎 1999 「日本中世住居の形成と発展」『建築史の空間ー関口欣也先生退官記念論文集ー』 関口欣也先生 退官記念論文集刊行会編 中央公論美術出版 宮本長二郎 2002 「古代末から中世の住居建築」『秋田県埋蔵文化財センター 研究紀要』第 16 号 財団法人秋田 県埋蔵文化財センター 森田 勉 1982 「14 ~ 16 世紀の白磁の分類と編年」『貿易陶磁研究』No.2 日本貿易陶磁研究会 横山勝米ほか 1987 『新潟県中世城館跡等分布調査報告書』 新潟県教育委員会

山本信夫 2000 『大宰府条坊跡 XV - 陶磁器分類編-』太宰府市の文化財第 49 集 太宰府市教育委員会 山本信夫 2010 「貿易陶磁の分類・編年研究の現状と課題」『貿易陶磁研究』No.30 日本貿易陶磁研究会 吉岡康暢 1994 『中世須恵器の研究』 吉川弘文館

吉岡康暢 2003 「珠洲燒概論」『珠洲燒概論』平成 15 年度埋蔵文化財専門職員実務研修資料集 新潟県教育庁文 化行政課

#### 

#### 遺構観察表

- ・長軸・短軸・深さ・桁行・梁間などの数値の後ろに付されている「+」は欠損や調査区外に伸びているなどの理由で、 実際の規模が記入された数値よりも大きくなる可能性があることを表している。
- ・出土土器・陶磁器などに記入されている「×」は「または」と同義である。
- ・グリッドは主要なものを記入しており、網羅的ではない。
- ・分割図は主要なものを記入しており、網羅的ではない。
- ・長軸・短軸・深さは最大値を示した。
- ・出土土器・陶磁器の()内の番号は遺物の報告番号に一致する。
- ・備考には遺構の切り合い関係や、棟持柱と判断したピット名などを記入した。遺構の切り合い関係は、溝・土坑や建物との切り合い関係を主に記入し、建物を構成しないピットとの切り合い関係は省略したものもある。
- ・掘立柱建物の桁行・梁間の数値は、図上の天地・左右で間数が異なる場合は多い方を記入した
- ・棟持柱建物の梁間は1間とした。
- ・ 梁間 2 間の掘立柱建物か壁芯棟持柱建物かの判断は、ピットの規模などを考慮し判断したが、恣意的な部分が無いとは言えない。
- ・ 掘立柱建物の平均桁行寸法は長さ÷桁行(間数)、平均梁間寸法は幅÷梁間(間数)によって得られた数値である。
- ・ 掘立柱建物の面積は、長さと幅の積により求めた。ただし建物を構成するピットを結んだ線が正方形・長方形とならない場合は、長さと幅の積が面積と一致しないものがある。
- ・ピット・土坑・井戸・溝の平面形・断面形・堆積状況は第9・10図の分類に一致する。

### 遺物観察表

- ・石器・木器・金属器の長・幅・厚は現存値を記入した。
- ・金属器(釘)観察表の幅1は頂部の幅、幅2は断面図の幅を記入した。

#### 掘立柱建物観察表

建物名	個別図	分割図	グリッド	長軸 (m)	短軸 (m)	桁行	梁間	平均桁 行寸法 (m)	平均梁 間寸法 (m)	主軸方位	面積 (㎡)	出土土器・陶磁器	備考
SB1	図版16	図版6	6AB 7AB	7.4	4.1	4	1	1.9	4.1	N-23° -E	30.3	珠洲甕×壺T	SD317・376、SK365との切り 合い不明
SB2	図版16	図版8	8BC 9BC	14.5	3.8	6	1	2.4	3.8	N-13° -E	55.1		
SB3	図版17	図版8	8 · 9C	13.9	-	4	1?	3.5	-	N-5°-E	_	珠洲甕×壺T	P1004は棟持柱か
SB4	図版17	図版8	9C	8.6	2.4+	3	1?	2.9	_	N-6°-E	20.6+	縄文深鉢	SD286・317・376との切り合 い不明、P283は棟持柱か
SB5	図版16	図版8	8 · 9C	5.3	3.4	3	2	1.8	1.7	N-71°-W	16.2		
SB6	図版17	図版8	9B	6.2	3.5	3	1	2.1	3.5	N-69°-E	5.9		
SB7	図版18	図版8	9·10B	7.2	3.8	3	1?	2.4	3.8	N-69°-E	27.4		
SB8	図版17	図版10	9BC 10BC	2.2+	3.9	1+	1	-	3.9	N-70° -E	8.6+	珠洲片口鉢・甕× 壺T	P424は棟持柱か
SB9	図版18	図版10	9BC 10BC	8.6+	4.9	3+	1	2.2	4.9	N-75° -W	42.1	縄文深鉢、土師小 片	SB11より新
SB10	図版19	図版10	9BC 10BC	8	4.3	6	2	1.3	2.2	N-75° -W	34.0		SB11より古い、中柱あり
SB11	図版19	図版10	9BC 10BC 11BC	13.2	4.4	6	1	2.2	4.4	N-15° -E	58.1	瀬戸瓶子(11)、 珠洲甕×壺T	SB10より新、P154・284は棟 持柱と考えた
SB12	図版20	図版10	10·11B	9.6	2.4	3	1	3.2	2.4	N-10° -E	22.6		SB14との切り合い不明
SB13	図版18	図版10	10·11B	6.7	3.6	4	1	1.7	3.4	N-14°-E	22.8		SK119との切り合い不明
SB14	図版20· 21	図版10	10BC 11BC	9.3	4.4	5	1?	1.9	3.4	N-82° -W	40.9	珠洲片口鉢(22)	SB1・SK1682との切り合い不 明、P409は棟持柱と考えた
SB15	図版21	図版10	11B	6.3	2.6	3	1	2.1	2.6	N-70° -W	16.4	瓦器風炉	
SB16	図版21	図版10	10AB 11AB	8.6	-	4	_	2.2	-	N-10° -E	_		SB17より古
SB17	図版22	図版10	10AB 11AB	6.9	2.3	3	1	2.3	2.3	N-19°-E	15.9		SB16より新
SB18	図版22	図版10	11B	4.8	3.3	3	1	1.6	3.3	N-70° -W			
SB19	図版22	図版10	11BC	2.4+	2.2	1+	1	2.4	2.2	N-78° -W	5.3+		P1029は棟持柱と考えた
SB20	図版22	図版10	10AB	6.9	2.3	3	1	2.3	2.3	N-72° -W	15.2		
SB21	図版21	図版12	12B	5.9	3	3	1	2.0	3.0	N-13°-E	16.5		P84は棟持柱と考えた
SB22	図版22	図版12	12B	5.6	2.7	3	1	1.9	2.5	N-15°-E	14.0		
SB23	図版22	図版12	13A	4.8	_	2	-	2.4	-	N-9°-E	-		
SB24	図版22	図版12	13 · 14B	6	2.6	2	1?	3.0	2.6	N-29°-W	15.1		
SB25	図版22	図版14	14AB	3.9	1.9	2	1	2.0	1.9	N-10°-E	7.4		
SB26	図版24	図版14	14B	6.1	2.6	2	1	3.1	1.6	N-40° -W	14.8		
SB27	図版22	図版14	14BC	4.9	1.6	3	1	1.6	1.5	N-38° -W	7.4		
SB28	図版24	図版14	14BC	6.3	3.1	3	1	2.1	3.1	N-65°-E	19.5		
SB29	図版24	図版8	8 · 9B	5.9	2.5	3	1	2.0	2.5	N-82° -W	14.8		SD317との切り合い不明
SB30	図版24	図版12	12AB	5	2.6+	2	_	2.5	_	N-13°-E	13.0+		

### 掘立柱を構成するピット観察表(1)

建物	ピット	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	底面標高 (m)	覆土堆積	断面図・写真	出土土器・陶磁器	備考
В1	P448	6B6	45	40	44	44.16				
В1	P447	6B11	35	30	64	43.95				
В1	P446	6A20	35	30	51	44.05				
В1	P442	6A25	35	30	75	43.93				
В1	P441	6A25	35	30	54	44.13				
В1	P437	6B12	30	25	40	44.03				SK393との切り合い不明
В1	P436	6B17	40	35	_	_				
B1	P435	6B22	35	35	45	44.29				
B1	P433	7B1	40	30	62	44.13				
SB1	P431	7B1	30	30	51	44.19				
SB2	P352	8B4	45	35	18	44.66			珠洲甕×壺T	
B2	P360	8B8 · 9	60	50	67	44.18				
B2	P1001	8B13	45	30	15	44.45				SD376との切り合い不明
B2	P1002	8B23	55	45	_	_				
B2	P312	8B2·3	65	50	66	44.20	A類	図版16E・48		
B2	P349	8C1	40+	40	54	44.45				SK365との切り合い不明
B2	P342	8B10/8C6	55	45	41	44.57				
B2	P337	8B15	60	50	_	44.47				
B2	P331	8B20	50	45+	27	44.60				SD376との切り合い不明
B2	P318	8B25	60	45+	42	44.30				SD317との切り合い不明
B2	P1003	9B9·10	55	45+	45	44.46				
B2	P280	9B14	65	50	74	44.17				
B3	P346	8C6	55	45+	36	44.62				P345との切り合い不明
В3	P332	8C11	50	50	26	44.64				
В3	P326	8C21	45	40	60	44.26				
B3	P288	9B10	35	30	61	44.36			and November	
B3	P287	9B15 · 20	50	35	62	44.36			珠洲甕×壺T	
SB3	P1004	9C16	50	45	33	44.72				
B4	P354	8C21	95	80	34	44.53	C類	図版17C	縄文深鉢	SD376との切り合い不明
B4	P1005	9C1 · 6	95	65	69	44.34	C類	図版17D		SD317との切り合い不明
SB4	P285	9C11	80	55	75	44.27	A類	図版17E		SD286との切り合い不明
SB4	P276	9B20	70	55	28	44.78	A類	図版17F・49		SD286との切り合い不明
SB4	P283	9C16 · 21	80+	40+	51	44.58		図版49		
SB5	P1006	9B7	30	25	36	44.30				
SB5	P387	9B8	35	35	61	44.15				
SB5	P325	9B8	35	30	63	44.25				
SB5	P1007	9B9	35	30	37	44.57				
SB5	P316	8B22	40	35	48	44.25				
SB5	P309	8B23	35	30		_				
SB5	P302	9B4 · 5	55	35	38	44.52				SK304との切り合い不明
SB5	P1008	9B5	55	50	63	44.27				
SB5	P474	9B4 · 5	55	45	52	44.55				
SB5	P1009	9B9	45	40	42	44.50				
SB6	P298	9B4 · 9	50	35	42	44.52				
SB6	P388	9B8	35	35	36	44.47				
BB6		9B7	25	20	24	44.37				1
SB6		9B6 · 11	40	35	26	44.46				
B6	P290	9B14	30	25	29	44.32				
B6	P1012		35	30	37	44.53				
B7	P1013		50	45	51	44.42				
B7	P1014	9B13	50	45	32	44.58				
B7	P1015	9B12 · 17	65	60	43	44.18				
B7	P422	9B16	55	45	57	44.20				
B7	P475	9B20 · 25	55	45	48	44.52				
B7	P264	9B23 · 24	75	45	29	44.68				DOEG Is O STAN A STAN
B7	P255	9B22	45	45+	43	44.34				P256との切り合い不明
B7	-	10B1	25	20	13	44.38				SD252掘削後に検出
B7	P424	9B21	45	45	37	44.41	A West	NO 161 1570 40	THE MILL HOLD SHELL SHOW	
B8	P224	10B9 · 10	85	75	57	44.37	A類	図版17D·49	珠洲片口鉢・甕×壺T	D000 k /) ***
B8	P221	10C6	55	45	82	44.14	C類	図版17E・49		P223より新
B8	P1017	9B25	90	45	43	44.62				
B8	P281	9C21	60	45	36	44.73				
SB9	P415	10B8 · 13	55	55	57	44.33	OFT.	ETHEA OF	AM L. MAN.	
SB9	P232	10B14 · 15	50	45	57	44.35	C類	図版18D · 48	縄文深鉢、土師小片	
SB9	P220	10C11	100	65	50	44.47				D000 (07::)
SB9	P169	10C11	45+	45	58	44.39				P209 (SB11) より新
SB9	P261	9B22 · 23	65	55	36	44.54				
SB9	P265	9B24	55	50	64	44.36				
SB9	P1019		45	35	47	44.33				SD286との切り合い不明

# 掘立柱を構成するピット観察表(2)

)/EL 27 (1-	T & 14914	K9 る L ツ ト #			2001.2				T	
建物	ピット	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	底面標高 (m)	覆土堆積	断面図・写真	出土土器・陶磁器	備考
SB10	P203	10B7·12	30	25	26	44.46				
SB10	P198	10B13	30	30	48	44.32				
SB10	P237	10B14	50	35	77	44.14				
SB10	P163	10B14	50	45	78	44.70	A類	図版19G · 49		P164 (SB11) より古
SB10		10B15	40	25	20	44.70				
SB10		10B15	45	35	74	44.26				
SB10		10C11	60	50	63	44.38	C類	図版19H		
SB10		10B2	30	25	25	44.46				
SB10		10B8	30	25	42	44.35				CV22Cトの知り入いて明
SB10 SB10	P256	10B9 9B22 · 23	50	45 35	58 33	44.32				SK226との切り合い不明
		9B22 · 23 9B23/10B3	35+ 40	30+	37	44.38 44.50				
SB10	P1021	10B4	35	35	47	44.22				
SB10	P253B	10B4 10B5	55	40	57	44.30				P253A (SB11) より新
		10B5								1 20011 (0211) 3, 7,51
SB10	P229	10C1	35	35	41	44.56				
SB10	P228	10C1	40	25	32	44.70				
SB11	P272	9B20	70	65	62	44.38	C類	図版19E	瀬戸瓶子(11)	
SB11	P267	9B25	80	70	85	44.13				SD286との切り合い不明
	P253A	10B4·5	75	55	50	44.33	A類	図版19F・49		P253B (SB10) より新
SB11	P225	10B9·10	100	70	97	43.96	C類	図版19G·49		SK226との切り合い不明
SB11	P164	10B14	90	70	105	43.92	A類	図版19H·49		P163 (SB10) より新
SB11	P162	10B19	105	75	101	43.95	C類	図版19I		CYT4 00 1 11 11 11 11
SB11	P168	10B24	60	50	67	44.26	C類	図版11F		SK168より新
SB11	P209	10C11	45	35+	22	44.76	C類	図版19J	rdi Mitzde v	
SB11	P208	10C12	60+	55	46	44.48	C類	図版19J	珠洲甕×壺T	
SB11	P152	11C1	60	60	39	44.74				
_	P284	9C16	55	50	32	44.74				
	P154	11B5	50	45	52	44.31	A Word	MILEOOD EO		
_	P194	10B6 · 11	50	50	51	44.20	A類	図版20E・50		
	P1023 P1024	10B16	50	50	25	44.51				P409 (SB14) との切り合い不明
SB12		11B1 10B12	55 50	45	56 71	44.21				P409 (SB14) との切り合い不明
SB12		11A10/11B6	45	40	73	44.00	B類	図版20F·49		
SB12		10B17 · 22	55	45	26	44.59	DAR	四/版201 45		
	P1025	11B2	55	55	33	44.51				
SB12		11B7 · 12	50	40	81	43.88	C類	図版20G・50		
	P1026	10B12	30	20	35	44.39	C AX	MAZEUG 90		
	P192	10B17	30	30	37	44.44				
SB13	P244	10B17	50	30+	38	44.45				
SB13	P214	10B22	30	20	30	44.47				
SB13	P138B	11B1	30	25	49	44.32				
SB13	P204	10B14·19	45	30	32	44.60				P205との切り合い不明
SB13	P179	10B19	30+	30	46	44.45				
SB13	P137	10B23	40+	35	58	44.34				P241との切り合い不明
SB13	P169	10B23	40	35	86	44.00				
SB13	P117	11B3	40	35	30	44.31				SK119との切り合い不明
SB13		11B3	35	30	27	44.30				SK119との切り合い不明
SB14		11B6	75	60	43	44.38	C類	図版20F·50		
SB14		11B7	75	60	58	44.23	A類	図版20G・50		
SB14		11B8	90	80	70	44.12	C類	図版20H		
SB14		11B8·9	75	65	51	44.34	C類	図版20I·50	珠洲片口鉢(22)	
SB14		11B10 · 15	55	50	23	44.43	A類	図版20J・50		
SB14		11B10/11C6	65	60	29	44.66				
	P414	10B21	105	60	46	44.31	C類	図版20K·50		
SB14		10B22	70	65	64	44.19	C類	図版21L·50		
SB14		10B23	85	80	65	44.22	A類	図版21M		077100 k (0.51)) A
SB14		10B24	65	60	70	44.24	A類	図版21N·50		SK168との切り合い不明
SB14		10B25	65	55 55	30	44.34	C類	図版910 - 50		
SB14 SB14		10C21	65	55 70	46 20	44.48 44.59	し根	図版210 · 50		
SB14 SB15		11B1	80 70		79	44.59				
	P429 P106A	11A10 11B6·11	70 65	45 40+	51	44.26		図版51		
SB15		11B0.11	70	35	63	44.26		四版訂		
	P133	11B12	50	30	58	44.17				
	P125	11B13	30	30	17	44.71				
		11B14 11B1	50	45	54	44.71	B類	図版21E・51	瓦器風炉	
	P130				0.1	11.20	2000	MANUAL OI	2 GH /244/9	
SB15 SB15		11B1 · 3	50	45	_	_	C類	図版21F · 51		

# 掘立柱を構成するピット観察表(3)

1889   1979	7年4.		X9 る L ツ ト ti	助水北	(5)						
SMISH   PH   10816	建物	ピット	グリッド					覆土堆積	断面図·写真	出土土器・陶磁器	備考
SMIS   PAID   1012	CD16	D/10	10D16	-							
SHIG   Prop.   IAIA   ILB     S							_				
SHIF   PORM   1											
SHIS   PIGAN   PIGAN			-					0.00	LINKETD OT		
SMIT   PLAY   DACES   68											P398A (SB17) より古
SMIT   Pigo   1811 - 6	SB17	P1027	10A25								
SHIP   1935	SB17	P140	10B21/11B1	60	50	64	44.16				
SEIT   PIGAS   A   LAZOVILBIG   70   55   70   44.40   70   70   70   70   70   70   70	SB17	P129	11B1 · 6	45	40	61	44.20	A類	図版22C · 51		
SRIS   P102   11817   29   25   68   44.16	SB17	P135	11B6·11	50	40	22	44.54				
SRIS   Prop   11817   28   25   82   44.16	SB17	P398A	11A20/11B16	70	55	19	44.49	C類	図版22D		P398B (SB16) より新
SBIS P89 11922 35 25 35 43.96	SB18	P103	11B16	30	25	58	44.15				
SHIS   POB   11823	SB18	P102	11B17	25	25	62	44.16				
SRIS   P144   IBB1			11B22								
SRIS   1928   1813   40   40   47   43.92   A版   1812   40   44.40											
SRIS PLOSS 11B14											
SBIS P123							_	A類	図版22E		
SB19   141   11825	_										
SB19   9956   11C21/12C1   45   35   1											
SB19   1044   11820						37	44.56				
SB19   1029   11C25   30   30   76   44.05   MR   MR22E - 51   10814   10814   35   30   49   44.05   MR   MR22E - 51   10813   45   30   40   44.46   10825   10817   30   20   15   44.64   10825   10817   30   20   15   44.64   10823   35   30   33   32   44.40   10823   10823   35   30   33   32   44.40   10823   10823   35   30   33   32   44.60   10825   10817   35   35   35   74   44.03   10825   10817   35   35   35   74   44.03   10825   12817   35   30   35   36   44   44.09   10825   10821   12817   35   30   36   44.04   10825   10821   12817   35   30   36   44.03   10825   10821   12812   40   30   36   44.03   10825   10821   12812   40   35   72   44.03   10825   12818   12812   40   35   72   44.03   10825   12818   12812   40   35   72   44.03   10825   12818   12812   40   35   72   44.03   10825   12818   12812   40   35   72   44.03   10825   12818   12812   40   35   72   44.03   10825   12818   12812   40   35   72   44.03   10825   12818   12818   35   30   25   34.35   34   34   34   34   34   34   34						95	11.59				
SEND   1844   0814											
SB20   P466   OB13								A類	図版22日・51		
SE2D 2466 0817 30 20 15 44.64								- 1/24	MANUAL OI		
SEZO P416 10A290/10B16 30 30 30 44.60 P137 (SB13) との切り合い不明 SEZO P410 10B23 35 30+ 33 44.60 P137 (SB13) との切り合い不明 SEZO P472 10B21/11B1 35 35 74 44.03 P171 (SB14) 보り術 SEZO P472 10B21/11B1 35 35 74 44.03 P171 (SB14) 보り術 SEZO P472 10B21/11B1 35 35 74 44.03 P171 (SB14) 보り術 SEZO P472 10B21/11B1 35 35 74 44.03 P171 (SB14) 보り術 SEZO P472 10B21/11B1 35 35 74 44.03 P171 (SB14) 보り術 SEZO P472 10B21/11B1 35 35 74 44.03 P171 (SB14) 보り術 SEZO P472 10B21/11B1 35 35 74 44.03 P171 (SB14) 보り術 SEZO P471 (SB16) P472 10B21											
SR2D P421 10923 35 30 44.60 P137 (SB13) 209일 수(不明) SR2D P472 1082/11B1 35 35 72 44.03 P171 (SB14) 19新 SR2D P472 1082/11B1 35 35 74 44.03 P171 (SB14) 19新 SR2D P472 1082/11B1 35 30 51 44.30 P171 (SB14) 19新 SR2D P472 12B7 35 30 51 44.30 P174 12B16-17 35 30+ 56 44.24 P174 12B16-17 35 30+ 56 44.24 P174 12B16-17 35 30+ 56 44.24 P174 12B16-17 35 30+ 36 44.43 P174 12B16-17 30+ 36 44.57 P174 12B16-17											
SR2D   P472   10821   1181   35   35   74   44.09											P137 (SB13) との切り合い不明
SB21   P92   12B7	SB20	P1030	10B22	30	30	72	44.09				
SB21   P81   12B12	SB20	P472	10B21/11B1		35	74	44.03				
SB21   P74   12B16 - 17   35   30   36   44.43	SB21	P92	12B7	35	30	51	44.30				
SB21   P484   12B7-8   45	SB21	P81	12B12	40	30	56	44.24				
SB21   P84   12B7-8	SB21	P74	12B16 · 17	35	30+	36	44.43				
Recommendary	SB21	P1031	12B21	40	35	72	44.03				
SB21   P78	SB21	P84	12B7 · 8	45	40	28	44.57				
Region   P43											
SB21   P89								C類	図版22F		P79より古
SB22   P90								O W.T	EUFC O O		
SB22   P75											
SB22   P1032   12B16・21   40   30   58   44.16								A類	図版23 E		
SB22   P1033   12B21   45   35 + 46   44.29											
SB22   P83											
SB22   P88   12B22/13B2   35+ 30   58   44.25   C類   図版23G   図版23G   SB23   P414   13A10/13B6   40   35   42   44.25   SB23   P52   13A15   45   40   25   44.41   SB23   P51   13A20   65   50   54   44.14   SB24   P55   13B18   40   35   12   44.69   SB24   P55   13B18   40   35   12   44.69   SB24   P43   14B4   50   40   20   44.66   SB24   P1   14B9   35+ 30   63   44.26   A類   図版23E · 51   SB24   P56   13B19   30   30   19   44.65   SB24   P57   13B25   45   30   31   44.60   SB24   P57   13B25   45   30   31   44.60   SB24   P14   14B5   40   35   33   44.56   SB25   P39   14A5/14B1   45   40   47   44.19   SB25   P36   14B10   50   35   40   44.33   C類   Ø\ SB25   P26   14B6   50   30   21   44.56   SB25   P26   14B6   50   30   21   44.56   SB25   P26   14B6   11   35   30   29   44.53   SB25   P26   14B6   11   35   30   29   44.53   SB25   P26   P25   14B6   11   35   30   29   44.53   SB25   P26   P25   14B6   11   35   30   29   44.53   SB25   P26   P26   P26   P26   P26   P26   P26   P26   P26   P27								C箱	図肥53上		
SB23       P414       13A10/13B6       40       35       42       44.25       — </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td>									-		
SB23   P52   13A15											
SB23   P51   13A20   65   50   54   44.14											
SB24         P55         13B18         40         35         12         44.69											
SB24         P43         14B4         50         40         20         44.66	_										
SB24 P56       13B19       30       30       19       44.65   44.60  <	SB24	P43	14B4	50	40	20	44.66				
SB24       P57       13B25       45       30       31       44.60       馬器風炉 (12)         SB24       P14       14B5       40       35       33       44.56       瓦器風炉 (12)         SB25       P39       14A5/14B1       45       40       47       44.19                 SB25       P36       14B10       50       35       40       44.33       C類       図版23F         SB25       P28       14B1       40       20       44       44.29       A×C類       図版23G         SB25       P26       14B6       50       30       21       44.56	SB24	P1	14B9	35+	30	63	44.26	A類	図版23E・51		
SB24       P14       14B5       40       35       33       44.56       瓦器風炉 (12)         SB25       P39       14A5/14B1       45       40       47       44.19   <						19	_				
SB25     P39     14A5/14B1     45     40     47     44.19     Mark       SB25     P36     14B10     50     35     40     44.33     C類     図版23F       SB25     P28     14B1     40     20     44     44.29     A×C類     図版23G       SB25     P26     14B6     50     30     21     44.56     44.58       SB26     P25     14B6·11     35     30     29     44.53       SB26     P25     14B6·11     35     30     29     44.53       SB26     P24     14B8     35     20     31     44.55       SB26     P24     14B8     35     35     62     44.23     A×C類     図版24E       SB26     P18     14B9·14     40     35     41     44.50     44.50       SB27     P4     14B9     25     20     43     44.43     44.43       SB27     P5     14C16     30     25     28     44.68     44.68       SB27     P16     14B5     40     25     21     44.65       SB27     P16     14B5     40     25     21     44.69       SB27     P13     14C11     25											
SB25     P36     14B10     50     35     40     44.33     C類     図版23F       SB25     P28     14B1     40     20     44     44.29     A×C類     図版23G       SB25     P26     14B6     50     30     21     44.56     —       SB25     P30     14B11     25     25     20     44.58     —       SB26     P25     14B6·11     35     30     29     44.53     —       SB26     P34     14B13·18     35     20     31     44.55     —       SB26     P24     14B8     35     35     62     44.23     A×C類     図版24E       SB26     P18     14B9·14     40     35     41     44.50     —       SB26     P12     14B15     30     30     26     44.72     —       SB27     P4     14B9     25     20     43     44.43     —       SB27     P5     14C16     30     25     28     44.68     —       SB27     P16     14B5     40     25     21     44.65     —       SB27     P16     14B5     40     25     21     44.69     —       SB										瓦器風炉(12)	
SB25     P28     14B1     40     20     44     44.29     A×C類     図版23G       SB25     P26     14B6     50     30     21     44.56     —       SB25     P30     14B11     25     25     20     44.58     —       SB26     P25     14B6·11     35     30     29     44.53     —       SB26     P34     14B13·18     35     20     31     44.55     —       SB26     P24     14B8     35     35     62     44.23     A×C類     図版24E       SB26     P18     14B9·14     40     35     41     44.50     —       SB26     P12     14B15     30     30     26     44.72     —       SB27     P44     14B9     25     20     43     44.43     —       SB27     P5     14C16     30     25     50     44.47     C類     図版23E       SB27     P16     14B5     40     25     21     44.65       SB27     P16     14B5     40     25     21     44.65       SB27     P1034     14B10     30     25     27     44.65       SB27     P13     14C11 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>_</td> <td>- West</td> <td></td> <td></td> <td></td>							_	- West			
SB25     P26     14B6     50     30     21     44.56        SB25     P30     14B11     25     25     20     44.58        SB26     P25     14B6·11     35     30     29     44.53        SB26     P34     14B13·18     35     20     31     44.55        SB26     P24     14B8     35     35     62     44.23     A×C類     図版24E       SB26     P18     14B9·14     40     35     41     44.50        SB26     P12     14B15     30     30     26     44.72        SB27     P44     14B9     25     20     43     44.43       SB27     P7     14B15     30     25     28     44.68       SB27     P5     14C16     30     25     50     44.47     C類     図版23E       SB27     P16     14B5     40     25     21     44.65       SB27     P1034     14B10     30     25     21     44.69       SB27     P13     14C11     25     25     27     44.65											
SB25     P30     14B11     25     25     20     44.58        SB26     P25     14B6·11     35     30     29     44.53        SB26     P34     14B13·18     35     20     31     44.55       SB26     P24     14B8     35     35     62     44.23     A×C類     図版24E       SB26     P18     14B9·14     40     35     41     44.50        SB26     P12     14B15     30     30     26     44.72        SB27     P44     14B9     25     20     43     44.43        SB27     P7     14B15     30     25     28     44.68        SB27     P5     14C16     30     25     50     44.47     C類     図版23E       SB27     P16     14B5     40     25     21     44.65       SB27     P1034     14B10     30     25     21     44.69       SB27     P13     14C11     25     25     27     44.65							_	A×C類	図版23G		
SB26     P25     14B6·11     35     30     29     44.53        SB26     P34     14B13·18     35     20     31     44.55        SB26     P24     14B8     35     35     62     44.23     A×C類     図版24E       SB26     P18     14B9·14     40     35     41     44.50       SB26     P12     14B15     30     30     26     44.72       SB27     P44     14B9     25     20     43     44.43       SB27     P7     14B15     30     25     28     44.68       SB27     P5     14C16     30     25     50     44.47     C類     図版23E       SB27     P16     14B5     40     25     21     44.69       SB27     P1034     14B10     30     25     21     44.69       SB27     P13     14C11     25     25     27     44.65											
SB26     P34     14B13·18     35     20     31     44.55     □       SB26     P24     14B8     35     35     62     44.23     A×C類     図版24E       SB26     P18     14B9·14     40     35     41     44.50       SB26     P12     14B15     30     30     26     44.72       SB27     P44     14B9     25     20     43     44.43       SB27     P7     14B15     30     25     28     44.68       SB27     P5     14C16     30     25     50     44.47     C類     図版23E       SB27     P16     14B5     40     25     21     44.65       SB27     P1034     14B10     30     25     21     44.69       SB27     P13     14C11     25     25     27     44.65											
SB26     P24     14B8     35     35     62     44.23     A×C類     図版24E       SB26     P18     14B9·14     40     35     41     44.50     —       SB26     P12     14B15     30     30     26     44.72     —       SB27     P44     14B9     25     20     43     44.43     —       SB27     P7     14B15     30     25     28     44.68     —       SB27     P5     14C16     30     25     50     44.47     C類     図版23E       SB27     P16     14B5     40     25     21     44.65     —       SB27     P13     14C11     25     25     27     44.65     —											
SB26     P18     14B9·14     40     35     41     44.50     (a)     (b)     (c)     (								A×C類	図版24E		
SB26     P12     14B15     30     30     26     44.72        SB27     P44     14B9     25     20     43     44.43        SB27     P7     14B15     30     25     28     44.68       SB27     P5     14C16     30     25     50     44.47     C類     図版23E       SB27     P16     14B5     40     25     21     44.65       SB27     P1034     14B10     30     25     21     44.69       SB27     P13     14C11     25     25     27     44.65								-1			
SB27     P44     14B9     25     20     43     44.43        SB27     P7     14B15     30     25     28     44.68        SB27     P5     14C16     30     25     50     44.47     C類     図版23E       SB27     P16     14B5     40     25     21     44.65       SB27     P1034     14B10     30     25     21     44.69       SB27     P13     14C11     25     25     27     44.65							_				
SB27     P7     14B15     30     25     28     44.68         SB27     P5     14C16     30     25     50     44.47     C類     図版23E       SB27     P16     14B5     40     25     21     44.65       SB27     P1034     14B10     30     25     21     44.69       SB27     P13     14C11     25     25     27     44.65											
SB27     P5     14C16     30     25     50     44.47     C類     図版23E       SB27     P16     14B5     40     25     21     44.65       SB27     P1034     14B10     30     25     21     44.69       SB27     P13     14C11     25     25     27     44.65											
SB27     P16     14B5     40     25     21     44.65       SB27     P1034     14B10     30     25     21     44.69       SB27     P13     14C11     25     25     27     44.65							_	C類	図版23E		
SB27 P13 14C11 25 25 27 44.65											
					25		_				
SB27 P6   14C11   30   25   34   44.61	SB27	P13	14C11	25	25	27	44.65				
	SB27	P6	14C11	30	25	34	44.61				

# 掘立柱を構成するピット観察表(4)

建物	ピット	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	底面標高 (m)	覆土堆積	断面図·写真	出土土器・陶磁器	備考
SB28	Р3	14C6 · 7	45	40	55	44.43				
SB28	P11	14C6	30	25	45	44.48	A×C類	図版24C		
SB28	P8	14B15	20	20	18	44.77				
SB28	P17	14B14	35	35	23	44.71	C類	図版24D		
SB28	P4	14C16	30	25	42	44.58	C類	図版24E		
SB29	P473	9B2	85	65	43	44.40				
SB29	P299	9B3 · 4	85	60	60	44.27	C類	図版24E		
SB29	P1035	9B5	65	65	64	44.28				SD317との切り合い不明
SB29	P308	8B22	60	55	72	44.24				
SB29	P316	8B23	55	55	60	44.41				
SB29	P1036	8B24	40	35	63	44.42				SD317との切り合い不明
SB29	P328	8B25	40	35	29	44.77				
SB30	P114	12B1	45	35	73	43.92	C類	図版24B		
SB30	P386	12B6	30	15+	58	44.24				
SB30	P82	12B11	35	30	47	44.31	C類	図版24C		

# 土坑・井戸・溝等観察表(1)

振州  連帯   少リッド   天神   短神   深き   下端形   新祖氏及   平面部   新祖氏及   平面部   = =================================	土坊	- 坑・井戸・溝等観察表(1)												
SK         20         14B15         74         68         10         P形         張吹         レンズ状         回版14         回版15         回版37           SK         31         14B11         72         68         37         月形         動状         レンズ状         回版14         回版15         回版37            日本         日本 <th></th> <th></th> <th>グリッド</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>平面形</th> <th>断面形</th> <th>堆積状況</th> <th>平面図</th> <th>断面図</th> <th>写真</th> <th>出土土器・陶磁器</th> <th>備考</th>			グリッド				平面形	断面形	堆積状況	平面図	断面図	写真	出土土器・陶磁器	備考
SK         22         1488         78         66         21         円形         郵款         レンス状         図版14         図版15         図版23         14811         72         68         37         月形         前款         レンス状         図版14         回路15         一         一         回版14         回路15         日本	SK	2	14B10	82	78	11	円形	弧状	レンズ状	図版14	図版15E	図版37		
SK   31   14811   72   68   37   円形   箱状   レンズ状   図版14   図版15C   一	SK	20	14B15	74	68	10	円形	弧状	レンズ状	図版14	図版15F	図版37		
SK         32         14B11         75         55+         25         門形         ー         一         関数14         同数14         同数15         同数24         日本	SK		-		66	21		弧状		図版14	図版15D	図版37		
SK         37         14B6         102         64         20         不整形 衛柱         レンズ状         関版14         関版37         (日本)         日本公本         日本の本	SK	31	14B11	72	68	37		箱状	レンズ状	図版14	図版15C	_		
SK         38         14A10         114         98         31         不整形         延秋         レンズ状         回版14         回版14         回版38         円限           SK         47         14C16         100         98         69         円別         連載         中層所         回版14         回版15         回版38         日本         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         2         1         1         2         1         1         2         1         1         2         1         1         2         1         1         2         1         1         2         1         1         2         1         1         2         1         1         2         1         1         4         1         1         4         1         2         2         4         4         4         2         2         4         1         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4         4	_				55+	25			_	図版14	_	_		
SK         47         14C16         100         98         69         円形         塩炊         車層?         図版14         図版15G         図版38         上部小片           SK         60         13C12         104         102         265         円形         ビナ状         一 図版12         図版33         日本         15	-	-	-	-			-							
SE         60         13C12         104         102         285         円形         U字状         一         國版12         國版13         國版34         土前小片           SX         62         135         296         62         13         一         型株         レンズ状         図版13         一           SK         63         13B8         116         112         39         円形         塩水         一         図版12         一         一           SK         63         13B8         116         112         39         円形         塩水         一         図版12         図版33              以大状         図版12         図版13         図版38         小         小碟多数出土           小碟多数出土          小碟多数出土	<u> </u>					31								
SX         61         13C11         156+         83         17         一 V字状 レンズ状 図版12         図版13 M         一         一 V字状 レンズ状 図版12         図版13 M         一         一 V字状 レンズ状 図版12         一         一 人         日本	_	47							単層?					
SX         62         13B5         296         62         13         一 弧状         レンズ状         図版12         四版12         一 図版12         一 図版12         日 図版12         日 図版12         日 図版12         日 図版12         日 図版13         一 図版12         日 図版13         一 図版12         日 図版13         日 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図	_								-			図版34	土師小片	
18	-	-										_		
SK         69         12B25         72         54         49         楕円形         単小米         APC         図版12         図版13HI         図版38         小礫多数出土           SK         70         12B18         118         95         26         楕円形         如果         科位         図版12         図版13J         図版39           SK         71         12B19         148         120         26         万形         弧状         レンズ状         図版12         図版13D         図版39           SK         72         12B19         148         120         26         万形         延状         レンズ状         図版12         図版13D         図版39         乗滑片口鉢(16)           SK         78         12B21         130         102         45         楕円形         台野校         レンズ状         図版12         図版13C         図版39         乗滑片口鉢(16)           SK         93         12B18         148+         104         45         楕円形         台野校         レンズ状         図版12         図版13C         図版40         P437±り方         日本	-	-							レンズ状		図版13L			
SK         70         12B18         118         95         26         楕円形         張大         斜位         図版12         図版13J         図版38          日本の	_			-					-		-	_		I wild be with the I
SK         71         12824         148         118         27         円形         額休         郵位         図版12         図版19         図版39            SK         72         12819         148         120         26         方形         銀大         レンズ状         図版130         図版39         珠洲片口鉢(16)           SK         76         12820         122         88         79         楕円形         華中状         レンズ状         図版130         図版39            SK         93         12818         148+         104         45         楕円形         台形状         レンズ状         図版130         図版40         P437より古           SK         94         12819         202         120         41         楕円形 台形状         レンズ状         図版130         図版40         P437より古           SK         95         1287         132         128         38         円形         台形状         レンズ状         図版10         図版40         P437より前           SK         104         11812         164         156         6         形形         レンズ状         図版10         図版11         図版40         無         ####################################	F-						-							小礫多数出土
SK         72         12B19         148         120         26         方形         張林         レンズ林         図版12         図版13D         図版39         珠洲片口鉢(16)           SK         76         12B20         122         88         79         楕円形         半円秋         レンズ林         図版13G         図版39         珠洲片口鉢(16)           SK         87         12B21         130         102         45         楕円形         台形状         レンズ林         図版13G         図版39            SK         93         12B18         148+         104         45         楕円形         台形状         レンズ林         図版13C         図版40         P437より古           SK         94         12B19         202         120         41         楕円形         台形状         レンズ林         図版12         図版13C         図版40         P437より前         大型標券項           大型標券項            大型標券項	_							-						
SK         76         12B20         122         88         79         楕円形         半円状         レンズ状         図版12         図版13G         図版39         珠洲片口鉢(16)           SK         87         12B21         130         102         45         楕円形         箱型         レンズ状         図版12         図版18         図版40         P437より古           SK         93         12B18         148+         104         45         楕円形         台形状         レンズ状         図版12         図版40         P437より新           SK         94         12B19         202         141         楕円形         台形状         レンズ状         図版12         図版13AB         図版40         P437より新           SK         195         12B7         132         128         38         円形         半円状         レンズ状         図版10         図版40         大型機が出         有限         大型機が出         大型機が出         大型機が出         大型機が出         大型機が出	_	_		-										
SK         87         12B21         130         102         45         楕円形         箱型         レンズ状         図版12         図版13F         図版39         P437より古           SK         94         12B19         202         120         41         楕円形         台形状         レンズ状         図版12         図版40         P437より前           SK         94         12B19         202         120         41         楕円形         台形状         レンズ状         図版12         図版13C         図版40         P437より前           SK         95         12B7         132         128         38         円形         台形状         レンズ状         図版12         図版13AB         図版40         大型機会長           SK         104         11B12         164         156         36         円形         台形状         レンズ状         図版11B         図版40         棚文深珠 (27)、土 前無台梯・長金×錦           SK         119         11B3         194         172         33         不整形         台形状         レンズ状         図版11B         図版40         棚文深珠 (27)、土 前無台梯・長金米錦           SK         119         11B3         194         172         33         不整形         シンズ状         図版10         図版41         瀬本         アイ         日本	F-						_						Thatte - At (4.0)	
SK         93         12B18         148+         104         45         楕円形         台形状         レンズ状         図版12         図版13         図版40         P437より吉           SK         94         12B19         202         120         41         楕形形         台形状         レンズ状         図版12         図版13AB         図版40         P437より新           SK         95         12B7         132         128         38         円形         半円状         車層         図版12         図版13AB         図版40         大型礫充填           SK         104         11B12         164         156         36         円形         台形状         レンズ状         図版10         図版11CD         図版40         調査2         (27)、土         申解: 台形状         レンズ状         図版10         図版41													珠洲片口鉢(16)	
SK         94         12B19         202         12O         41         楕円形         台形状         レンズ状         図版12         図版13C         図版40         P437まり新           SK         95         12B7         132         128         38         円形         半円状         単層         図版12         図版13AB         図版40         大型礫充填           SK         104         11B12         164         156         36         円形         台形状         レンズ状         図版10         図版11E         図版40         大型礫充填           SK         109         13C2         448+         28+         21         一級状         レンズ状         図版10         図版11CD         図版41            SK         136         10B18         156         154         29         円形         箱状         レンズ状         図版10         図版11CD         図版41         瀬戸平椀           SK         136         10B18         156         154         29         円形         カンズ状         図版10         図版11F         一         P167 (SB11) より古         フトンズ状         図版10         図版11F         一         フトロインスは         フトロインスは         図版10         図版11F         ー         フトロインスは         図版2         国版47         フトロインスは <t< td=""><td>_</td><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>D405 b 1) d</td></t<>	_	-												D405 b 1) d
SK         95         12B7         132         12B         38         円形         半円状         単層         図版12         図版13AB         図版40         大型礫充填           SK         104         11B12         164         156         36         円形         台形状         レンズ状         図版11E         図版40         機文深鉢(27)、土 筒部合物・長途×錦           SK         109         13C2         448+         28+         21         -         弧状         レンズ状         図版10         図版41         師信台袖・長途×錦           SK         119         11B3         194         172         33         不整形 台形状         レンズ状         図版10         図版41         標子中楠            SK         136         10B18         156         154         29         円形         箱状         レンズ状         図版10         図版40         瀬戸平楠         P         P167 (SB11) より古           SK         18         18         216         80+         25         楕円形         レンズ状         図版10         回版11F         -         -         P167 (SB11) より古           P167 (SB11) より古	$\vdash$					_	_							
SK     104     11B12     164     156     36     円形     台形状     レンズ状     図版10     図版11E     図版40     概文深鉢(27)、主師無台権・長金×鏑       SX     109     13C2     448+     28+     21     - 弧状     レンズ状     図版10     図版13M     -       SK     119     11B3     194     172     33     不整形     台形状     レンズ状     図版10     図版11CD     図版41       SK     136     10B18     156     154     29     円形     箱状     レンズ状     図版10     図版11F     -     P167 (SB11) より古       SK     168     11B4     216     80+     25     楕円形     -     レンズ状     図版10     -     -     P225 (SB11) と27 (SB11) より古       SK     226     10B9     131     94     10     楕円形     -     -     図版10     -     -     P225 (SB11) と27 (SB10) との切り合い不明       SK     226     10B9     131     94     10     楕円形     弧状     レンズ状     図版8     図版9PQ     図版47     青磁体(5), 瀬戸 天目館(7・8)     東一西方向的、SD286との切り合い不明       SK     226     10BD     10     42     20     -     弧状     レンズ状     図版8     図版9M     -     縄文深鉢(26)       SK     293     9BD     108	$\vdash$													
SK   104   11B12   164   150   36   円形   日形水   レンズ状   図版10   図版11   図版40   餘無台椀・長金×鍋     SK   109   13C2   448 + 28 + 21   - 弧状   レンズ状   図版10   図版11   図版40     SK   119   11B3   194   172   33   不整形   台形状   レンズ状   図版10   図版11   図版40   瀬戸平椀     SK   136   10B18   156   154   29   円形   箱状   レンズ状   図版10   図版11   図版40   瀬戸平椀     SK   136   10B18   156   154   29   円形   箱状   レンズ状   図版10   図版11   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	SK	95	12B7	132	128	38	円形	半円状	<b></b>	図版12	図版13AB	凶版40	## -L /# AL (OF)	大型傑允琪
SK     119     1183     194     172     33     不整形 台形状 レンズ状 図版10 図版11CD 図版41       SK     136     10818     156     154     29     円形 箱状 レンズ状 図版10 図版11B 図版40 瀬戸平椀       SK     168     1184     216     80+     25     楕円形 一 レンズ状 図版10 図版11F 一     P167 (SB11) より古       SK     213     10C21     160     95     26     楕円形 一 一 図版10 一 一     一 図版10 一 一     P225 (SB11) ・227 (SB10) との切り合い不明       SK     226     1089     131     94     10     楕円形 弧状 単層 図版10 一 一 図版8 図版9PQ 図版47 天目椀 (7・8)     青磁体 (5), 瀬戸 東 西方向、SD286との切り合い不明       SD     252     10ABC 一 42     20 一 弧状 レンズ状 図版8 図版9M ー 図版4     図版47     SD482に直行、SD252との切り合い不明       SK     292     989     108     96     19 円形 台形状 レンズ状 図版8 図版9M ー 超交深鉢 (26)     超交深鉢 (26)       SK     304     983     110     100     20 不整形 ー 回版8 ー 日図版8 ー 日経版 (6), 縄文深鉢 図版4     国版42 日経版 (6), 縄文深鉢 図版4       SK     311     981     126     118     28     円形 臨政状 レンズ状 図版8 図版9D 図版42 宗縁     国版40 (6), 縄文深鉢 図版4 (6), 縄文深鉢 空間 (11), 珠 空間 (11), 珠 空間 (12), 褒文 会別 (12), ②       SK     318     8818     110+ 80+ 22 円形 台形状 プロック状 図版8 図版9A ー 日経 (21), ②     国版60 (21), 第四 全別 (21), ②     SD317より新 (58317よりま       SK     319     9818     152     122				-										
SK     136     10B18     156     154     29     円形     箱状     レンズ状     図版10     図版11B     図版40     瀬戸平椀       SK     168     11B4     216     80+     25     楕円形     -     レンズ状     図版10     四版11F     -     P167 (SB11) より古       SK     213     10C21     160     95     26     楕円形     -     -     図版10     -     -       SK     226     10B9     131     94     10     楕円形     弧状     単層     図版10     -     -     P225 (SB11) · 227 (SB10) との切り合い不明       SD     252     10ABC     -     102     25     -     弧状     レンズ状     図版8     図版9PQ     図版47 天目椀 (7・8)     東一西方向、SD286との切り合い不明       SD     286     9BC     -     42     20     -     弧状     -     図版8     図版9M     -     縄文深鉢 (26)       SK     292     9B9     108     96     19     円形     台形状     レンズ状     図版8     図版9L     図版42        SK     293     9B10     132     106     32     長方形     台形状     レンズ状     図版8     図版9L     図版42     珠洲甕×壺T        SK     310     8B22     102     98     34	-			-				-			-			
SK     168     1184     216     80+     25     楕円形     一     レンズ状     図版10     図版11F     一     P167 (SB11) より古       SK     213     10C21     160     95     26     楕円形     一     一     図版10     一     一       SK     226     10B9     131     94     10     楕円形     弧状     単層     図版10     一     一     P225 (SB11)・227 (SB10) との切り合い不明       SD     252     10ABC     一     102     25     一     弧状     レンズ状     図版8     図版9PQ     図版47 青磁体(5), 瀬戸 天目椀(7・8)     東一西方向、SD286との切り合い不明       SD     286     9BC     一     42     20     一     弧状     レンズ状     図版8     図版9PQ     図版47     青磁体(7・8)     SD482に直行、SD252との切り合い不明       SK     292     9B9     108     96     19     円形     台形状     レンズ状     図版8     図版9D     図版42       SK     293     9B10     132     106     32     長方形     台形状     レンズ状     図版8     図版9D     図版42       SK     310     8B22     102     98     34     円形     階段状     レンズ状     図版8     図版9D     図版42     母磁(6), 繩文       SK     315     8B22     95     60     31 </td <td><u> </u></td> <td></td> <td>-</td> <td></td>	<u> </u>		-											
SK     213     10C21     160     95     26     楕円形     -     -     図版10     -     -     -     P225 (SB11)・227 (SB10) との切り合い不明       SK     226     10B9     131     94     10     楕円形     弧状     単層     図版10     -     -     P225 (SB11)・227 (SB10) との切り合い不明       SD     252     10ABC     -     102     25     -     弧状     レンズ状     図版8     図版9PQ     図版47     青磁鉢 (5), 瀬戸 長上椀 (7・8)     東一西方向、SD286との切り合い不明       SD     286     9BC     -     42     20     -     弧状     -     図版8     -     図版47     天 植椀 (7・8)     万とおとの切り合い不明 合い不明       SK     292     9B9     108     96     19     円形     台形状 レンズ状     図版8     図版9M     -     縄文深鉢 (26)       SK     293     9B10     132     106     32     長方形 台形状 レンズ状     図版8     図版9D     図版42     -	<u> </u>						,					図版40	瀬戸平椀	
SK     226     10B9     131     94     10     楕円形     弧状     単層     図版10     -     -     P225 (SB11)・227 (SB10) との切り合い不明       SD     252     10ABC     -     102     25     -     弧状     レンズ状     図版8     図版9PQ     図版47     東-西方向、SD286との切り合い不明       SD     286     9BC     -     42     20     -     弧状     -     図版8     -     図版47     SD482に直行、SD252との切り合い不明       SK     292     9B9     108     96     19     円形     台形状 レンズ状     図版8     図版9M     -     縄文深鉢     (26)       SK     293     9B10     132     106     32     長方形     台形状 レンズ状     図版8     図版9L     図版42       SK     304     9B3     110     100     20     不整形     -     -     回版8     -     -       SK     310     8B22     102     98     34     円形     階段状     レンズ状     図版8     図版9E     図版42     深鉢       SK     311     9B1     126     118     28     円形     弧状     レンズ状     図版8     図版9E     図版42     深鉢     四位     2     2     2     2     2     2     2     2     2     2	-										-	_		P167 (SB11) より古
SK     226     10B9     131     94     10     桐刊形     弧状     単層     図版10     一     一     「SB10) との切り合い不明       SD     252     10ABC     -     102     25     -     弧状     レンズ状     図版8     図版9PQ     図版47     東一西方向、SD286との切り合い不明合い不明       SD     286     9BC     -     42     20     -     弧状     -     図版8     -     図版47     SD482に直行、SD252との切り合い不明       SK     292     9B9     108     96     19     円形     台形状 レンズ状     図版8     図版9M     -     縄文深鉢     (26)       SK     293     9B10     132     106     32     長方形     台形状 レンズ状     図版8     図版9L     図版42       SK     310     8B22     102     98     34     円形     階段状     レンズ状     図版8     図版9D     図版42     探謝養・壺T       SK     311     9B1     126     118     28     円形     弧状     レンズ状     図版8     図版9E     図版42     深鉢     P1009との切り合い不明       SK     315     8B22     95     60     31     楕円     -     図版8     図版9A     図版47     瀬戸瀬子(11)、珠     公園子(11)、東     公園子(11)、東     公園子(11)、東     公園子(11)、東     公園子(11)、東     公園子(11)、東	SK	213	10C21	160	95	26	楕円形	_	_	図版10	_	_		
SD 252 10ABC - 102 25 - 弧状 レンズ状 図版8 図版9PQ 図版47 天目椀 (7・8)   合い不明   合い不明   合い不明   SD 286 9BC - 42 20 - 弧状 - 図版8 - 図版47   図版47   SD 252との切り合い不明   SK 292 9B9 108 96 19 円形 合形状 レンズ状 図版8 図版9M - 縄文深鉢 (26)   一	SK	226	10B9	131	94	10	楕円形	弧状	単層	図版10	-	_		(SB10) との切り合い不明
SN 286 9BC     - 42     20 - 34次 - 図版8 - 図版47     り合い不明       SK 292 9B9 108 96 19 円形 台形状 レンズ状 図版8 図版9M - 縄文深鉢 (26)     - 縄文深鉢 (26)       SK 293 9B10 132 106 32 長方形 台形状 レンズ状 図版8 図版9L 図版42     図版9L 図版42       SK 304 9B3 110 100 20 不整形 - 図版8 - 図版8 図版8 図版8 図版8 図版8 図版42       SK 310 8B22 102 98 34 円形 階段状 レンズ状 図版8 図版9D 図版42 珠洲甕×壺T       SK 311 9B1 126 118 28 円形 弧状 レンズ状 図版8 図版9E 図版9E 図版42 深鉢       SK 315 8B22 95 60 31 楕円 図版8 図版8 個文深鉢       SD 317 8AB - 9BC - 108 38 - 台形状 レンズ状 図版8 図版9AO 図版47 遠面子 (11), 珠洲壺R(21),・甕×笠子(21),・甕×笠子(21),・甕木(21),・窓へ	SD	252	10ABC	-	102	25	-	弧状	レンズ状	図版8	図版9PQ	図版47		
SK     293     9B10     132     106     32     長方形 台形状 レンズ状     図版8     図版9L     図版42       SK     304     9B3     110     100     20     不整形 図版8 図版8 図版8     図版8     図版8     図版42       SK     310     8B22     102     98     34     円形 階段状 レンズ状 図版8     図版9D     図版42     珠洲養×壺丁       SK     311     9B1     126     118     28     円形 弧状 レンズ状 図版8     図版9E     図版42     白磁椀 (6), 縄文深鉢       SK     315     8B22     95     60     31     楕円 図版8 郷文深鉢     郷戸瓶子 (11), 珠 洲壺麻 (21), ・ ※ ※ 宮376より新、SK318・SE320より古       SD     317     8AB・ 9BC     - 108     38     - 台形状 レンズ状 図版8     図版9AO     図版47     瀬戸瓶子 (11), 珠 ※ SD376より新、SK318・SE320より古       SK     318     8B18     110+ 80+ 22     円形 台形状 ブロック状 図版8     図版9A     - 図版9A     - SD317より新       SE     319     9B18     152     122     252     円形 編斗状 単層 図版8     図版9N     図版4     珠洲養※壺丁	SD	286	9BC	-	42	20	_	弧状	-	図版8	_	図版47		SD482に直行、SD252との切 り合い不明
SK 304 9B3 110 100 20 不整形 図版8 図版8 図版8 310 8B22 102 98 34 円形 階段状 レンズ状 図版8 図版9D 図版42 珠洲養×壺丁       SK 311 9B1 126 118 28 円形 弧状 レンズ状 図版8 図版9E 図版9E 図版42 完練       SK 315 8B22 95 60 31 楕円 図版8 縄文深鉢       SD 317 8AB・9BC - 108 38 - 台形状 レンズ状 図版8 図版9AO 図版47 完確 (21),・甕× 室丁       SK 318 8B18 110+ 80+ 22 円形 台形状 ブロック状 図版8 図版9A - SE 319 9B18 152 122 252 円形 漏斗状 単層 図版8 図版9N 図版34 珠洲養×壺丁       SE 320 8B11 172 138 312 接近形 算針	SK	292	9B9	108	96	19	円形	台形状	レンズ状	図版8	図版9M	-	縄文深鉢 (26)	
SK     310     8B22     102     98     34     円形     階段状     レンズ状     図版8     図版9D     図版42     珠洲養×壺丁       SK     311     9B1     126     118     28     円形     弧状     レンズ状     図版8     図版9E     図版42     白磁椀 (6), 縄文深鉢       SK     315     8B22     95     60     31     楕円     -     -     図版8     -     4     東文深鉢       SD     317     8AB・ 9BC     -     108     38     -     台形状     レンズ状     図版8     図版9AO     図版47     瀬戸瓶子 (11), 珠 瀬壺取 (21), ・甕× 壺丁     SB376より新、SK318 ・SE320より古       SK     318     8B18     110+     80+     22     円形     台形状     プロック状     図版9     四版9     本洲養×壺丁       SE     319     9B18     152     122     252     円形     編斗状     車層     図版8     図版9N     図版34     珠洲養×壺丁       SE     220     8B11     172     138     312     終日本     中     同居9     -     同居9     -     同居9     -     同居9     -     日本     SD317 比上	SK	293	9B10	132	106	32	長方形	台形状	レンズ状	図版8	図版9L	図版42		
SK     311     9B1     126     118     28     円形     弧状     レンズ状     図版8     図版9E     図版42     白磁椀 (6), 縄文深鉢     P1009との切り合い不明       SK     315     8B22     95     60     31     楕円     -     -     図版8     -     縄文深鉢       SD     317     8AB・9BC     -     108     38     -     台形状     レンズ状     図版8     図版9AO     図版47     瀬戸瓶子 (11), 珠 洲壺 (21),・甕× 空T     SE320より古       SK     318     8B18     110+     80+     22     円形     台形状     プロック状     図版9A     -     SD317より新       SE     319     9B18     152     122     252     円形     編斗状     単層     図版8     図版9N     図版34     珠洲養×壺T       SE     220     8B11     172     138     312     終田影     金田     -     原居9     -     原居9     -     原居9     -     原居9     -     80     -     -     80     -	SK	304	9B3	110	100	20	不整形	_	_	図版8	-	-		
SK     311     9B1     126     118     28     円形     弧状     レンス状     図版8     図版9E     図版42     深鉢     P10092の切り合い不明       SK     315     8B22     95     60     31     楕円     -     -     図版8     -     細文深鉢       SD     317     8AB・9BC     -     108     38     -     台形状     レンズ状     図版8     図版9AO     図版47     瀬戸瓶子(11),珠 満壺R(21),・遼× 壺T       SK     318     8B18     110+     80+     22     円形     台形状     プロック状     図版9     四版9     -     SD317より新       SE     319     9B18     152     122     252     円形     編斗状     車層     図版8     図版9N     図版34     珠洲養×壺T       SE     220     8B11     172     138     312     接出形     金里     -     図版58     -     原版68     日本	SK	310	8B22	102	98	34	円形	階段状	レンズ状	図版8	図版9D	図版42	珠洲甕×壺T	
SD 317 8AB・ 9BC - 108 38 - 台形状 レンズ状 図版8 図版9AO 図版47 溯壺R (21),・甕× 壺T       SK 318 8B18 110+ 80+ 22 円形 台形状 ブロック状 図版8 図版9A - SE 319 9B18 152 122 252 円形 漏斗状 単層 図版8 図版9N 図版34 珠洲甕×壺T       SE 320 8B11 172 138 312 接回形 算針	SK	311	9B1	126	118	28	円形	弧状	レンズ状	図版8	図版9E	図版42		P1009との切り合い不明
SD 317 9BC - 108 38 - 台形状 レンズ状 図版8 図版9AO 図版47 洲壺R (21),・甕× 壺T       SK 318 8B18 110+ 80+ 22 円形 台形状 ブロック状 図版8 図版9A - SE 319 9B18 152 122 252 円形 漏斗状 単層 図版8 図版9N 図版34 珠洲甕×壺T       SE 320 8B11 172 138 312 接回形 築井 - 図版9 - 図版58 青磁椀龍Ⅱり,珠洲 SD3.75よりまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	SK	315	8B22	95	60	31	楕円	_	-	図版8	_	_	縄文深鉢	
SE     319     9B18     152     122     252     円形     漏斗状     单層     図版8     図版9N     図版34     珠洲夔×壺T       SF     320     8B11     172     138     312     接田形     毎米     _     図版9     _     図版95     青磁椀龍Ⅱb,珠洲     SD317上以去	SD	317		-	108	38	-	台形状	レンズ状	図版8	図版9AO	図版47	洲壺R (21), · 甕×	
SF 320 8B11 172 138 312 接口形 역사 - 図版8 - 図版95 青磁椀龍Ⅱb, 珠洲 SD317上0 士	SK	318	8B18	110+	80+	22	円形	台形状	ブロック状	図版8	図版9A	_		SD317より新
	SE	319	9B18	152	122	252	円形	漏斗状	単層	図版8	図版9N	図版34	珠洲甕×壺T	
	SE	320	8B11	172	138	312	楕円形	箱状	-	図版8	-	図版35		SD317より古

土坑・井戸・溝等観察表(2)

土功	ι· <del>ፓ</del>	F戸・溝	等觀察	<b>表表(</b> 2	2)								
遺構 略号	遺構 番号	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	平面形	断面形	堆積状況	平面図	断面図	写真	出土土器・陶磁器	備考
SD	322	8B17	-	58	12	-	弧状	レンズ状	図版8	図版9C	-		
SK	323	8B17	172	118	19	長方形	台形状	レンズ状	図版8	図版9B	図版42		
SK	324	8B16	120+	126	23	長方形	箱状	単層	図版8	図版9B	図版42	珠洲片口鉢	
SK	333	8C16	130+	42+	31	円形?	台形状	レンズ状	図版8	第8図 (13p)	_		
SK	334	8C11	102	70	55	楕円形	箱状	-	図版8	_	-		
SE	335	8C15	112	112	284	円形	箱状	レンズ状	図版8	図版9K	図版35	青磁小椀(5)土師 長釜×鍋、縄文深鉢	
SK	343	8B10	130	115	56	円形	台状状	レンズ状	図版6	図版7R	図版43		SD344より古
SD	344	7 · 8B	-	65	20	-	半円状	単層	図版8	図版7R	図版48		SK343より新
SK	347	8B5	110	65	26	不整形	箱状	レンズ状	図版8	図版9J	図版43		P348との切り合い不明
SD	355	7·8B	-	110	20	_	弧状	レンズ状	図版6	図版7J	図版47		SD482と平行、SX47 との切り合い不明
SD	356	8B	-	145	21	-	弧状	_	図版6	_	_		SD482と平行、 SD358に直行
SK	357	8B1	130	110	24	円形	箱状	レンズ状	図版6	図版7L	図版43		
SD	358	7 · 8B	-	60	10	-	弧状	単層?	図版8	-	図版48	珠洲片口鉢(15)	SD482に直行、SD317·376 との切り合い不明
SK	359	8B3	115	111	12	円形	弧状	レンズ状	図版6	図版7K	_		
SE	362	7B24	120	105	246	楕円形	箱状	レンズ状	図版6	図版7Q	図版35		
SK	363	7C21	85	60+	101	楕円形	U字状	斜位	図版8	図版9H	_		柱穴か
SE	364	7C16	145	115	254	楕円形	U字状	単層?	図版6	図版7M	図版35		
SK	365	8C1	235	120+	63	_	台状状	レンズ状	図版8	図版9I	図版43	珠洲片口鉢(14)· 甕(23)	井戸か
SE	366	7C11	120	60+	101	-	U字状	レンズ状	図版6	図版7M	図版36		
SD	367	7BC	-	30	8	-	弧状	単層	図版6	図版7P	図版48	縄文深鉢	SD482と平行、SE364との切 り合い不明
SK	370	7B15	125	85	12	不整形	弧状	斜位	図版6	図版70	_		
SK	372	7B9	130	90	30	楕円形	半円状	レンズ状	図版6	図版7N	図版44		
SK	373	7B8	105	65	16	楕円形	-	_	図版6	_	_		
SE	374	7B8	95	90	172	円形	箱状	レンズ状	図版6	図版7F	図版36	珠洲片口鉢(15)	
SK	375	7B17	135	130	24	円形	弧状	レンズ状	図版6	図版7H	_		
SD	376	8BC	-	110	10	_	台状状	レンズ状	図版8	図版90	図版47	珠洲甕×壺T, 土師 器長釜か鍋, 伊万里 椀	SD317より古
SK	379	7B21	115	105	58	円形	箱状	水平	図版6	図版7I	図版44	珠洲片口鉢(15)	
SK	380	7B6	105	95	18	円形	弧状	レンズ状	図版6	図版7G	図版44		底面に小ピット
SK	389	7B6	115	100	25	円形	_	_	図版6	-	_	珠洲甕×壺T	
SK	390	7A3	120	105	32	楕円形	箱状	レンズ状	図版6	図版7E	図版44		
SK	391	7B1	120	105	56	楕円形	箱状	水平レンズ	図版6	図版7D	図版45		
SK	392	6B22	145	120	18	楕円形	台状状	斜位	図版6	図版7C	図版45		
SK	393	6B12	155	95	32	楕円形	弧状	レンズ状	図版6	図版7B	図版45		P437との切り合い不明
SK	394	6B13	145	105	24	楕円形	弧状	レンズ状	図版6	図版7A	図版45		
SE		10A10	135	85+	148	円形	漏斗状弧状			図版11A 図版9G	図版36	74-MUSSE (OC)	P425・SK476との切り合い不
SI	410	9B11	145	125	22	円形	3/1/4/	レンズ状	図版8	図版9G	凶成40	珠洲甕 (26)	明
SK			120	110+	38	円形	箱状	斜位	図版8	図版9F	図版46	青磁鉢(5)	P430より古
SK	427	7A5	95	90	48	円形	— — —	-	図版6	_	_	縄文深鉢	
SK	428		110	80	22	楕円形	弧状	レンズ状	図版6	_	_	縄文深鉢	
SK	451	6A15	120	120	34	円形	台形状	単層	図版6	_	— ME 40		
SK			95	90	25	円形	台形状	単層	図版6	— —	図版48		
SK SK	453 454	3B23 4B8	130 195	125 150	38 42	円形 楕円形	弧状弧状	レンズ状 斜位	図版2	図版3A 図版3B	図版46	大窯端反皿	
SE	468	4B1	90	85	74	円形	箱状	レンズ状	図版2	図版3D	図版36	珠洲甕×壺T,縄文 深鉢	
SE	469	3B23	115	70+	274	楕円形	箱状	水平レンズ	図版2	図版3C	図版36	珠洲甕 (25)	
SK		8B6	110	95+	35	円形	半円状	小平レンス	図版8	MINX3C	区別及30	ØΝ//126 (ΔΟ)	SD317との切り合い不明
SX	471	7A25 8A5	425	225	23	長方形	箱状	-	図版6	_	_		
SK	476	9B11	90	55	38	楕円形	箱状	_	図版8	-	図版46	珠洲片口鉢	
SK	478	15B8	195+	140+	24	-	箱状	レンズ状	図版14	図版15H	図版34		
SD	479	15B9	-	45	12	-	弧状	単層	図版14	図版15I	図版34	越前すり鉢	
SD	481	6A	-		10	-	弧状	単層	図版6		図版48	瀬戸直縁大皿 (10), 須恵甕	SD482に直行、SK452との切 り合い不明
SD	482	5B	-	110	35	-	弧状	単層	図版4	図版5A	図版28		北堀との切り合い不明
SD	483	2B	-	132	34	_	台状状	レンズ状	図版2	_	図版48		北西-南東方向
SK	484	14A9	215+	112+	48	円形?	-	_	図版14	_	-		
北堀	1	4·5B	-	650	132	-	台状状		図版4	図版5A	図版 28·29		西北西 – 東南東方向、館北端 の堀
土塁	Ļ	5B	-			_	台状状	水平?	図版4	図版5A	図版29	珠洲甕×壺T	西北西-東南東方向

# 土器・陶磁器観察表

番号	種類	器種	グリッド	遺構	層位	口径 (mm)	底径 (mm)	色調	調整・分類など	備考
1	土師質	Ш	8A25		Ⅲ層			10YR5/4にぶい黄橙	外上・内ヨコナデ、外下不調整	
2	青磁	小椀	8B15	SE335			38	10Y6/2オリーブ灰	龍泉窯上田D類	被熱
3	青磁	小椀	10B5		Ш		34	7.5GY7/1明緑灰	龍泉窯Ⅲ類	被熱
4	青磁	椀	13B10		IV		50	10Y6/1灰	龍泉窯上田D×E類	
5	青磁	鉢	6B19 8A5 9B6 10B1 · 10C1	SK426 SD252	I 1・覆土 Ⅲ	230		5Y6/3オリーブ灰	外蓮弁文、内劃花文?	
6	白磁	椀	9B2	SK311	上層	158		10Y7/1灰白	森田E類	
7	瀬戸・美濃	天目椀	8B3	SD252		130		2.5GY3/1暗オリーブ灰	内外黒褐色釉	
8	瀬戸・美濃	天目椀	7B21		IV		32	2.5GY3/1暗オリーブ灰	外ロクロケズリ、内黒褐色釉	
9	瀬戸・美濃	直縁大皿		SD481	床付近	220		5Y6/2灰オリーブ	内外ロクロナデ、外上・内灰釉	
10	瀬戸・美濃	直縁大皿	10B16			300		5Y6/2灰オリーブ	内外ロクロナデ・灰釉	
11	瀬戸・美濃	瓶子	8A5 · 7, 9B18 8B6 9B10 9B20 10B12	SD317 P295 P272 P177	IV IV		96	10Y6/2オリーブ灰	内外ロクロナデ、外灰釉・沈線、 底外不調整	
12	瓦器	風炉	14C1	P14		190		10YR7/4にぶい黄橙	外凸带	
13	瓦器	風炉	10B16	P193				2.5Y7/3浅黄	外凸帯・雷文、透かしあり	
14	珠洲	片口鉢	8C1	SK365				10Y6/1灰	内外ロクロナデ、内卸目、底外静 止糸切り	
15	珠洲	片口鉢	7B21 · 8C1 8B12	SK379 SD358 SE374	覆土 上層	296		10YR6/3にぶい黄橙	内外ロクロナデ、内卸目	
16	珠洲	片口鉢	12B20	SK76	Ⅲ層	360		2.5GY5/1オリーブ灰	内外ロクロナデ、内卸目	内摩耗
17	珠洲	片口鉢	11C11	P126				10Y6/1灰	内外ロクロナデ、内卸目	内摩耗
18	珠洲	片口鉢	9B24		IV層			10YR7/3にぶい黄橙	内外ロクロナデ、内卸目、底外静 止糸切り	内摩耗
19	珠洲	片口鉢	10B10		IV		140	2.5Y6/2灰黄	内外ロクロナデ、内卸目、底外静 止糸切り	内·底外摩耗
20	珠洲	壺T種	8B8	P360	床付近	200		N5/灰	口ロクロナデ、外平行タタキ、 内無文当て具	
21	珠洲	壺R種	7A25 9B5	SD317	IV	100		N5/灰	内外ロクロナデ、底外静止糸切り	外面剝落
22	越前	擂鉢		SD479	床付近			10YR6/3にぶい黄橙	内外ナデ、内沈線・卸目	内摩耗
23	珠洲	甕	8C1	SK365				7.5Y6/1灰	口ロクロナデ、外平行タタキ、 内無文当て具	
24	珠洲	甕	14B2		Ш			10Y5/1灰	ロロクロナデ、外平行タタキ、 内無文当て具	
25	珠洲	甕	3B23	SE469	床付近		198	10Y5/1灰	外平行タタキ、内無文当て具、 底外不調整、砂付着	内面摩耗
26	珠洲	甕	9B11	SK418				7.5Y5/2灰オリーブ	外平行タタキ、底外不調整、砂付 着	内摩耗
27	縄文土器	深鉢	9B9	SK292		290		10YR7/4にぶい黄橙	LR縄文	
28	縄文土器	深鉢	11B12 11B17	SK104	1 IV		120	7.5YR6/6橙	内外面無文	

# 石器観察表

番号	器種	グリッド	遺構	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	石材	遺存状況	備考
29	砥石	8A5	SX471		338	406	267	57	凝灰岩	下欠	
30	砥石	8B12	SE320		902	291	200	49	凝灰岩	上下欠	
31	砥石	8C1	SK365		608	513	161	43	砂岩	上下左欠	右側縁が弧状
32	石臼	13B10	調査区東川畑地	表採	2,065	1,276	1,091	2,873	花崗岩	左欠	
33	砥石	8B11	SD317		2,997	1,678	1,271	8,100	砂岩	上欠	
34	魔石類	8B18	SD317		956	856	460	500	安山岩	略完	
35	魔石類	13B12		III	898	652	376	301	安山岩	略完	
36	三脚石器	11B22		Ш	668	772	253	25	硬質頁岩	略完	
37	打製石斧	4·5B	SD482	床	1,188	552	215	131	無斑晶質安山岩	略完	薄手
38	打製石斧	12A20		IV	990	528	386	217	無斑晶質安山岩	下欠	厚手

# 木器観察表

1	番号	器種	グリッド	遺構	層位	径 (mm)	高 (mm)	底板厚 (mm)	木取り	樹種 (目視)	備考
Г	39	曲物	3B23など	SE469		216	96	8	柾目	スギ	木釘3か所以上

番号	器種	グリッド	遺構	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	木取り	樹種 (目視)	遺存状況
40	指物側板	13C12	SE60	底部	158	59	10	追柾目	スギ	木釘跡、一部炭化
41	板材	13C12	SE60	底部	176	54	6	柾目	スギ	
42	板材	8B11 · 12	SE320	底部	137	47	3	柾目	スギ	
43	板材	8B11 · 12	SE320		88	31	3	柾目	スギ	
44	板材	8B11·12	SE320	底部	328	56	3	柾目	スギ	底板もしくは折敷か
45	部材	8B11 · 12	SE320		96	40	3.8	心持丸材	広葉樹?	
46	棒材	8B11 · 12	SE320		177	15	13	心去材	スギ	柄杓の柄か
47	棒材	8B11 · 12	SE320		190	16	15	心去材	スギ	柄杓の柄か
48	曲物側板	8B11 · 12	SE320		225	11	4	柾目	スギ	ケビキ痕あり

# 銭貨観察表

番号	材質	銭名	グリッド	遺構	層位	径 (mm)	重量 (g)	国名	初鋳年 (西暦)
49	銅	皇宋通寶	10B1			2.3	1.9	北宋	1039年
50	銅	宣和通寶	9B1·2	SK311	5層	2.4	2.4	北宋	1119年
51	銅	聖宋元寶	9B19	P378		2.3	2.6	北宋	1101年

# 金属器(釘)観察表

番号	材質	器種	グリッド	遺構	層位	長	幅1	幅2	重量
#7	初貝	加加里	7 9 7 F	起冊	/ 10.	(mm)	(mm)	(mm)	(g)
52	鉄	釘	10B9	P255 (SB7)		50	9	6	3.2
53	鉄	釘	10B5	P230		59	12	4	3.7
54	鉄	釘	10B5	P232 (SB9)		67	11	5	4.9
55	鉄	釘	10B21	P472 (SB20)		62	12	9	10.2
56	鉄	釘	14A10		Ⅲ層	63	12	6	9.6
57	鉄	釘	10B12	P177	1層	52+22	14	6	7.5

# 図 版

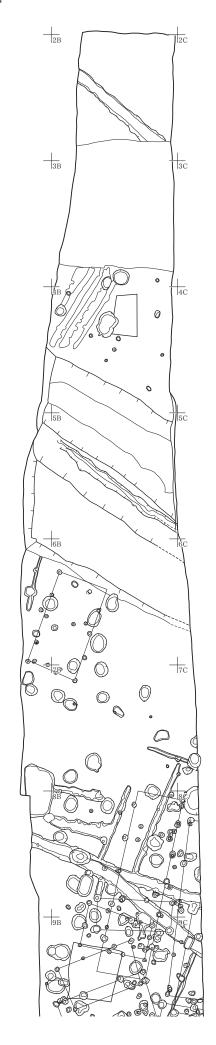
凡 例(断面図)

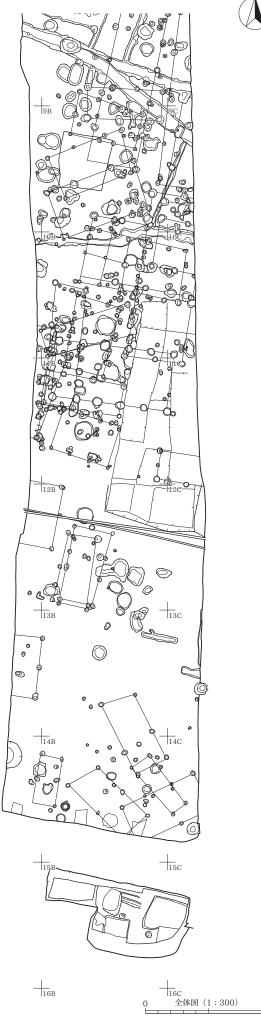
S:礫

P: 土器・陶磁器

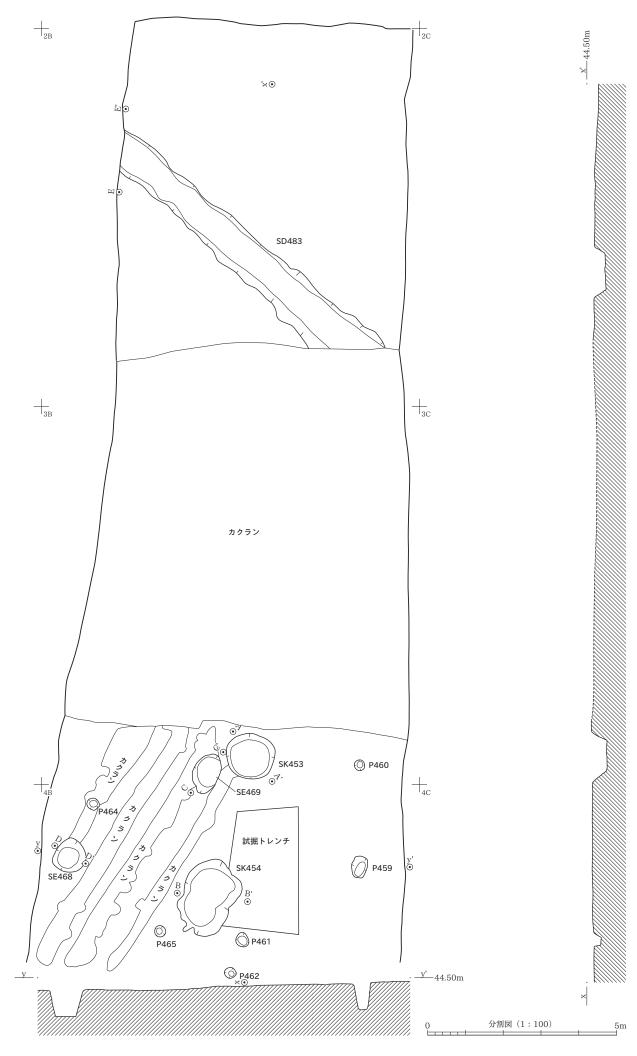
I ~V:基本層序の I ~V層



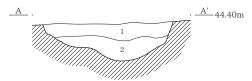






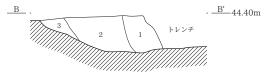


## SK453



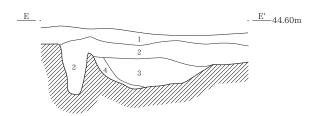
- 1 暗茶褐色土。黒褐色土・黄褐色土粒少量含む。 2 茶褐色土。しまり強い。黄褐色土粒含む。

## SK454



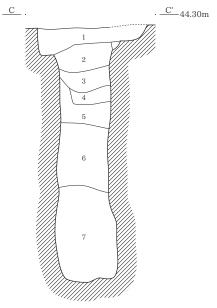
- 1 暗茶褐色土。しまり強い。 2 暗褐色土。しまり強い。 3 暗褐色土。黄褐色土粒少量含む。

## SD483



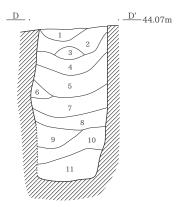
- 1 盛土。 2 茶褐色土。黄褐色粒・炭化物粒含む。基本層序田層か。 3 暗茶褐色土。黄褐色粒ブロック含む。 4 暗黄褐色土。茶褐色土粒含む。

## SE469



- 茶褐色土。しまり強い。 黄褐色土小粒・炭化物粒合む。カクラン 略茶褐色土。しまり強い。 黄褐色土小粒定量・炭化物粒少量含む。 暗茶褐色土。しまり弱い。 粘性やや強い。 黄褐色土が多量に含む。 黄褐色土。 暗褐色土粒含む。 黄褐色土。 間報色土粒含む。 黄褐色土。 酸茶褐色土。 しまり弱い。 黒褐色土・黄褐色土粒含む。 暗青灰色粘質土。 イネ科の植物遺体多量に含む。 珠洲焼・木材等が出土。

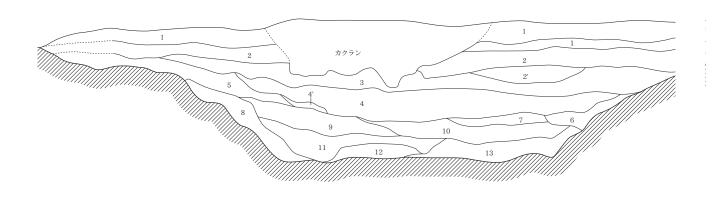
# SE468

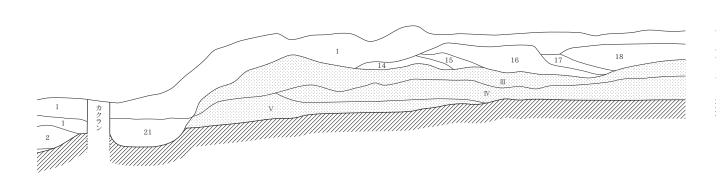


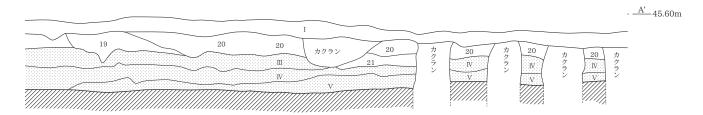
- 1 茶褐色土に黄褐色土が小粒で多量に含む。
  2 暗黄褐色土。黄褐色土小粒含む。
  3 明黄赤褐色土。 黄褐色土・黒褐色土粒少量含む。
  5 暗茶褐色土。 黄褐色土・黒褐色土粒少量含む。
  6 暗茶褐色土。 皮褐色土・黒褐色土粒少量含む。
  7 黒褐色土。 しまり弱い。
  8 黒褐色土。 しまり弱い。
  9 黒褐色土。 しまり弱い。
  10 黒褐色土。 しまり弱い。
  11 黒褐色土。 しまり弱い。



\_A\_ .

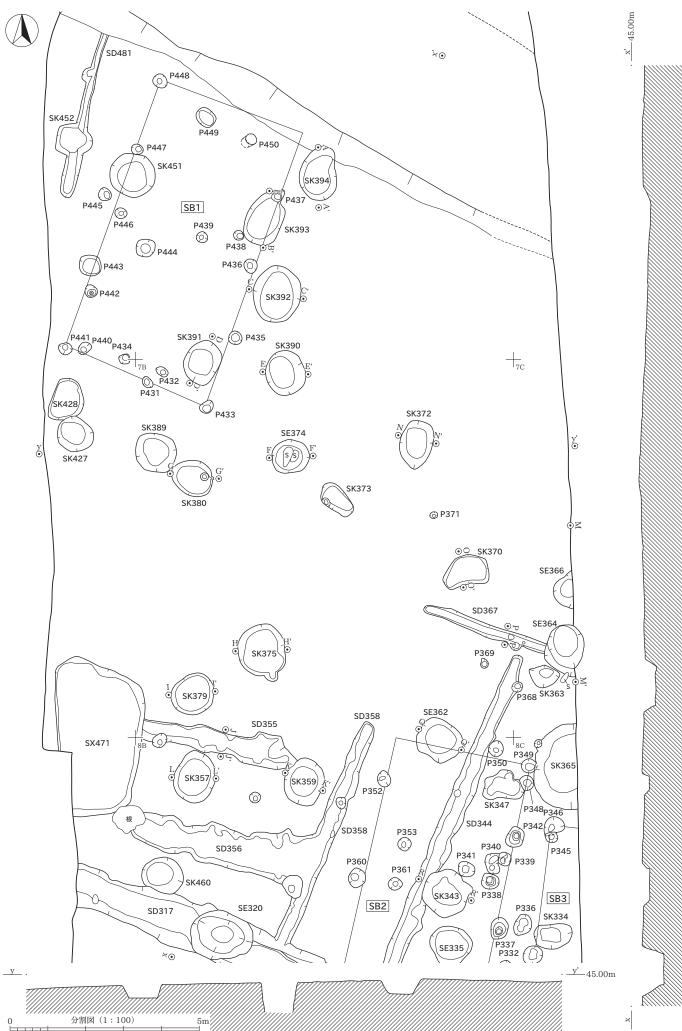




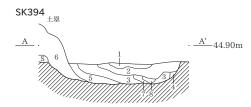


1 明茶褐色土、灰白色小粒含む。
2 茶褐色土、灰白色土粒・黄褐色土粒・炭化物粒含む。
2 茶褐色土、灰白色土粒・黄褐色土粒が多い。
3 明茶褐色土、夏湯し黄褐色土粒が多い。
3 明茶褐色土、黄褐色土和乾多量に含む。
4 暗茶褐色土、黄褐色土粒・炭化物粒が少量含む。
4 暗茶褐色土、黄褐色土粒・炭化物粒が少量含む。
5 黄茶褐色土、黄褐色土粒多量合む。
6 暗褐色土、黄褐色土粒多量合む。
7 暗茶褐色土、黄褐色土粒多量合む。
9 茶褐色土、黄褐色土粒多量合む。
10 暗茶褐色土、黄褐色土粒多量合む。
11 黄茶褐色土、黄褐色土粒多量合む。
12 茶褐色土、黄褐色土粒多量合む。
12 茶褐色土、黄褐色土土粒多量合合。
14 灰黄褐色土、黄褐色土がラミナ状に堆積する。
14 灰黄褐色土、黄褐色土がラミナ状に堆積する。
15 茶褐色土、黄褐色土が巨含丸、暗褐色土粒少量含む。
16 明茶褐色土、皮黄褐色土、暗褐色土木 黄褐色土 地多金 哈利金土鱼 金色。
17 灰黄褐色土、皮毛刺色土 暗褐色土 地多金 哈利金土 北多山 東黄褐色土 北多山 東黄褐色土 北多山 東黄褐色土 北多山 東黄褐色土 北多山 東黄褐色土 北多山 東黄褐色土 北黄褐色土 黒褐色土粒含む。(SD482 覆土)

I 層 茶褐色土 (耕作土) Ⅲ層 晾茶褐色土。中世の遺物包含層。土塁下にしか良好な層は残っていない。あとはかなり工作の影響を受けているようだ。 Ⅳ層 茶褐色土。粘性弱い。縄文の遺物包含層と考えられるが、良好な層は土塁下のみで、これ以外はかなり耕作の影響を受けている。 Ⅴ層 浦移網



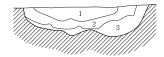
<u>N'</u>45.00m



- 褐色土。 明褐色土。褐色土粒多量に含む。 暗褐色土。 黄褐色土。 暗褐色土。 黄褐色土。 黄褐色土(黄褐色土小粒やや多量に含む。 黒褐色土(土塁盛土)。
- 灰褐色土。 黄褐色土

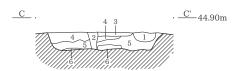
## SK393

<u>B</u>. · \_B'\_44.90m



- 暗褐色土。黄褐色土粒を少量含む。 明褐色土。黄褐色土粒多量に含む。 黄褐色土。褐色土粒多量に含む。

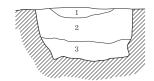
# SK392



- 暗褐色土。 褐色土。黄褐色土粒少量含む。 褐色土。黄褐色土粒少量含む。 明褐色土。黄褐色土粒少量含む。 新褐色土。黄褐色土粒多量に含む。 茶褐色土。

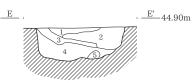
## SK391

\_D\_ \_D'\_44.90m



- 暗褐色土。黄褐色土粒。炭化物粒少量含む。 黒褐色土。黄褐色土粒・炭化物粒少量含む。 黒褐色土。

# SK390



明褐色土, 黄褐色土粒多量・黒色土粒少量含む。 暗褐色土。 しまりやや弱い。 黄褐色土粒少量含む。 茶褐色土。 しまりやや強い。 黄褐色土粒少量に含む。 暗褐色土。 黄褐色土粒少量含む。 茶褐色土。

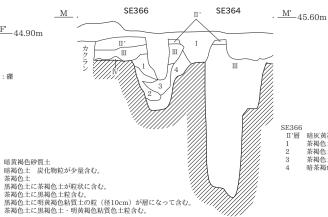
6

- SE374

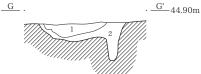
F

SE366 · 364

F' 44.90m

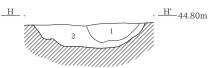


SK380



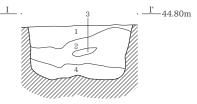
- 1 褐色土。 2 明褐色土。黄褐色土粒多量に含む。

#### SK375



- 明褐色土。黄褐色土粒多量に含む。
   暗褐色土。黄褐色土粒少量含む。

# SK379



- 明褐色土。黄褐色土粒多量・黒色土粒少量含む。 褐色土。黄褐色土粒少量含む。 茶褐色土。黄褐色土粒含む。 褐色土。黄褐色土粒・茶褐色土粒を少量含む。

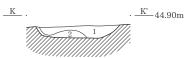
# SD355

<u>J</u> . · \_\_\_\_44.90m



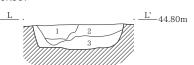
- 茶褐色土。 黄褐色土粒含む。 黄褐色土。 茶褐色土粒含む。

# SK359



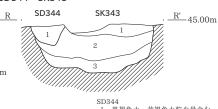
- 褐色土。しまり弱い。黄褐色土粒少量含む。 暗褐色土。黄褐色土塊少量含む。

# SK357



- 茶褐色土。 黄褐色土粒が多量に含む。 暗褐色土。 黄褐色土粒少量含む。 茶褐色土。 黄褐色土粒多量に含む。

# SD344 · SK343



- SD344 1 黒褐色土。黄褐色土粒少量含む。 SK343
- 343 褐色土。黄褐色土粒少量含む。 暗褐色土。黄褐色土粒定量含む。 茶褐色土。黄褐色粒少量含む。

- ES366 門 層 略灰黄褐色土 (土塁の崩れ) 1 茶褐色土。しまり弱い。黄褐色土粒含む。 2 茶褐色土。しまり弱い。黄褐色土和粒少量含む。 3 茶褐色土。黄褐色土和乾多量に含む。 4 略茶褐色土。黄褐色土粒含む。

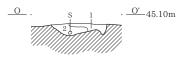




# SK370

SK372

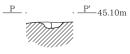
\_N\_



褐色土。しまり弱い。黄褐色土が少量含む。 暗褐色土 しまりやや弱い。黄褐色土粒少量含む。 黄褐色土 黄褐色土粒多量に含む。

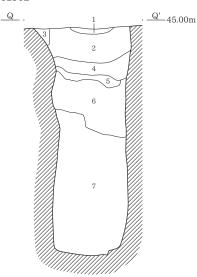
- 褐色土。黒色土粒少量含む。
   暗褐色土。黄褐色土粒少量含む。

# SD367



1 褐色土。黄褐色土粒多く含む。

# SE362



- 黒褐色土。黄褐色土・黒色土小粒少量含む。 褐色土。しまり弱い。黄褐色土小粒少量含む。 明褐色土。

- 明构也王。 黄褐色土粒。褐色土粒少量含む。 暗褐色土。 黄褐色土塊多量に含む。 褐色土。白色粘土塊・黄褐色土粒多量に含む。 白色粘土。黄褐色土小粒少量含む。



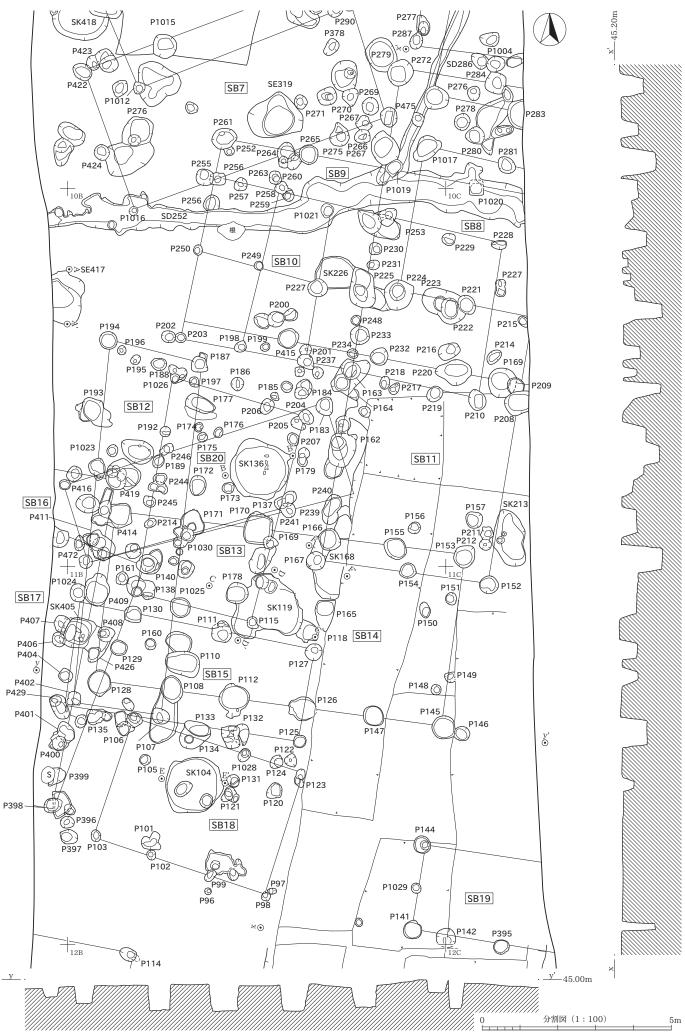
# SD317 · SK318 SK293 SD317 SK318 · <u>A'</u> 44.90m L <u>L'</u> 44.90m 2 10 暗褐色土。しまり強い。 暗褐色土。しまり強い。黄褐色土粒少量含む。 茶褐色土。黄褐色土粒多量に含む。 褐色土。しまりやや弱い。黄褐色土少量含む。 SK363 SD317 SD317 1 黒褐色土。 黄褐色土小粒・炭化物粒含む。 2 暗黄褐色土。暗褐色土粒含む。 3 暗褐色土。 茶褐色土・黄褐色土小粒多量に含む。 SKS18 1 暗褐色土。 黄褐色土粒含む。 2 暗褐色土。 黄褐色土粒多量に含む。 3 茶褐色土。 暗褐色土。 黄褐色土粒多量に含む。 4 暗褐色土。 黄褐色土粒多量に含む。 <u>H</u> . · <u>H'</u> 45.10m SK292 \_M\_ . <u>M'</u>44.90m 4 暗构巴工。 東荷巴工利多重に含む。 5 暗黄絶土。 6 暗褐色土。 黄褐色土粒多量に含む。 7 暗褐色土。 黄褐色土粒多量に含む。 9 暗褐色土。 黄褐色土粒多量に含む。 9 暗褐色土。 暗黄褐色土粒多量に含む。 10 黄褐色土。 黒褐色土少量含む。 暗褐色土。しまりやや強い。黄褐色塊少量含む。 褐色土 しまりやや弱い。黄褐色粒含む。 暗褐色土。黄褐色土粒を少量含む。 明褐色土。黄褐色土粒多量に含む。 黄褐色土 褐色土粒多量に含む。 黄褐色土丸。 暗褐色土丸。 黄褐色土松 SK324 · 323 SE319 SK324 SK323 <u>B</u>. <u>B'</u>44.80m N <u>N'</u> 45.00m 木の根 SK365 · <u>I'</u> 45.60m ONOCO 1 黒褐色土。しまり強い。黒色土・黄褐色土小粒少量含む。 2 褐色土。しまり強い。黄褐色土粒多量に含む。 SK924 2 褐色土。しまり強い。黄褐色粒少量含む。 2 褐色土。しまりやや強い。黄褐色粒少量含む。 SD322 · \_\_C'\_\_44.90m 撰乱、現代の畑の畝跡か。 基本層序 I 層: 表土 基本層序 I 層: 表土 基本層序 I 層: 表土 基本層序 I I 層 色土 灰褐色土。 日色貼土が食仓む。 白色貼土、 L まり・ 粘性強い。 暗褐色土。 黒色土・ 白色粘土粒少量含む。 暗褐色土。 黒色土・ 白色粘土粒少量含む。 黒褐色土。 黒色土・ 白色粘土粒少量なるむ。 2 3 4 5 6 7 8 暗褐色土 暗褐色土に黄褐色土粒含む。 茶褐色土に黄褐色土粒含む。 明茶褐色土。暗褐色土粒含む。 暗茶褐色土。黄褐色土小粒少量含む。 SD376 · 317 SK310 O . SD376 SD317 · <u>O'</u> 44.90m D'\_44.80m D SK347 $\cdot \underline{\hspace{0.2cm} J'} \hspace{-0.2cm} 45.10m$ 褐色土。しまり弱い。 不褐色土粒(径約5mm)含む。 暗褐色土。しまりやや強い。白色粘土粒少量含む。 褐色土。 不褐色土粒少量含む。 褐色土。 不褐色土 白色粘土粒少量含む。 暗褐色土。 砂椒少量含む。 褐色土。 黄褐色土粒少量含む。 明褐色土。 しまりやや弱い。 黄褐色土粒多量に含む。 褐色土。明褐色土粒少量含む。 明褐色土、黄褐色土粒少量含む。 明褐色土、黄褐色土粒定量含む(2より黄褐色土粒の量が多い)。 茶褐色土。黄褐色土粒多量に含む。 SD317 SD317 1 黒褐色土、黄褐色土小粒・炭化物粒含む。 1 黒褐色土、黄褐色土小粒多量に含む。 2 暗黄褐色土、暗褐色土粒含む。 3 暗褐色土、茶褐色土 黄褐色土小粒多量に含む。 SD376 1 茶褐色土、暗褐色土粒含む。 2 黄褐色土、茶褐色土粒含む。 SE335 SK311 \_K\_ . · <u>K'</u> 45.00m · <u>E'</u> 44.80m E SD252 P\_ · <u>P'</u> 45.00m 1 明褐色土。しまりやや強い。黒色土・黄褐色土粒少量含む。 2 褐色土。しまりやや強い。黄褐色土塊少量含む。 3 暗褐色土。しまり弱い。黄褐色土塊少量含む。 1 暗褐色土。黄褐色土粒・炭化物粒少量含む。 2 茶褐色土。黄褐色土粒含む。 P430 · SK426 SK426 P430 · <u>F'</u> 44.80m F SD252 Q. · \_Q'\_45.50m P: 土器 SK426 1 暗茶褐色土。しまりやや強い。炭化物粒を含む。 2 暗茶褐色土。黄褐色土粒多量に含む。 3 茶褐色土。 P430 1 黒褐色土。 2 暗黄褐色土。 SK418 時褐色土に黄褐色土の小粒・炭化物粒が含む。 黒色土 炭化物粒を多量に含む。黄褐色土の塊が含む。 黒褐色土 瞬褐色土に黄褐色土小粒含む。一部黄灰色砂質土が層状に含む。 黒褐色土 黒褐色土 黒褐色土。 <u>G'</u> 44.70m \_G\_ . 茶褐色土。基本層序Ⅱ層か? 暗茶褐色土。黄褐色土粒・炭化物粒が少量含む。 暗茶褐色土。黄褐色土小粒多量に含む。 茶褐色土。黄褐色土粒含む。基本層序Ⅳ層か? 暗茶褐色土 しまり強い。 黄褐色土が多量に含む。 暗褐色土 混じり少ない。 黒褐色土 炭化物粒・黄褐色土を含む。 黄褐色土に暗褐色土粒含む。

SK365 (I)·SE319 (N) 断面図 (1:80)

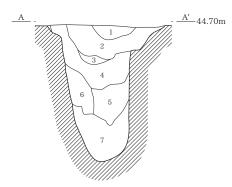
4m

その他 断面図 (1:40)

図 版 10 分割図 5

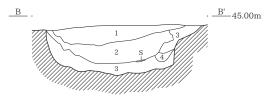


# SE417



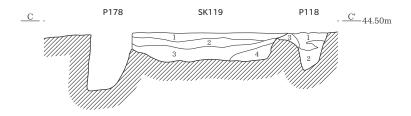
- 1 暗茶褐色土。しまり・粘性やや強い。炭化物粒含む。 2 暗茶褐色土。しまり・粘性やや強い。 3 黒褐色土。炭化物粒を含む。 6 暗茶褐色土。しまり弱い。黄褐色土小粒・炭化物粒少量含む。 6 暗茶褐色土。しまり弱い。黄褐色土粒多量に含む。 6 黒茶褐色土。しまり弱い。炭化物粒少量含む。 7 暗茶褐色土。黄褐色土粒多量に含む。

# SK136

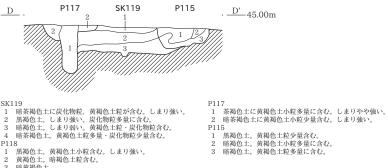


- 1 暗茶褐色土。しまり強い。黄褐色土粒・炭化物粒を含む。 2 黒色土。しまり弱い、炭化物粒多量に含む。 3 暗黄褐色土。しまり弱い。黄褐色土粒含む。 4 黄褐色土 (地山) 粒。

# SK119、P118 · 178

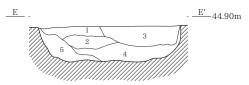


# SK119、P115·117



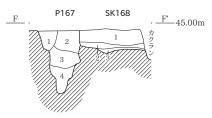
- SK119
  1 暗茶褐色土に炭化物粒、黄褐色土粒が含む。しまり強い。
  2 黒褐色土、しまり強い、炭化物粒多量に含む。
  3 暗褐色土、しまり助い、黄褐色土粒 炭化物粒含む。
  4 暗茶褐色土。黄褐色土粒含量・炭化物粒少量含む。
  P118
  1 黒褐色土。黄褐色土小粒含む。しまり強い。
  2 黄褐色土、暗褐色土粒含む。

#### SK104



- 黒褐色土。しまり・粘性やや強い。
   黒褐色土。黄褐色土粒含む。
   黒褐色土。黄褐色土粒含む。
   馬褐色土。黄褐色土松含む。
   暗茶褐色土。粘性強い。黄褐色土小粒含む。
   黒褐色土。黄褐色土粒多量に含む。

## SK168 · P167



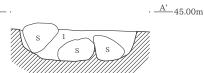
- P167
  1 暗褐色土。黄褐色土粒含む。
  2 暗褐色土。黄褐色土がラミナ状に堆積する。
  3 茶褐色土。黄褐色土小がラミナ状に堆積する。
  4 黄褐色土、黄褐色土小粒含む。
  4 黄褐色土、暗褐色土粒合む。
  KK168
  1 暗褐色土に炭化物粒・灰黄褐色土粒が少量含む。
  2 暗褐色土に炭褐色土粒が多量に含む。
  3 灰黄色粘質土

断面図(1:40)

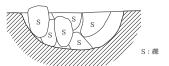


## SK95



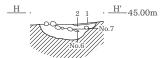


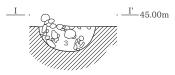




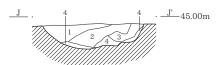
1 暗茶褐色土。しまり強。黄褐色土粒少量含む。

## SK69





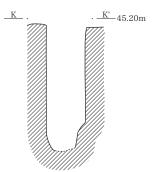
- 黒褐色土。しまりやや強い。炭化物粒少量含む。 暗褐色砂質土。しまり強い。 黒色土。しまり・粘性強い。



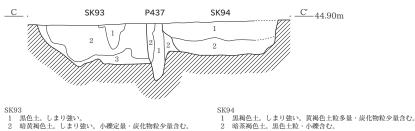
- 明茶褐色土。しまり強い。炭化物粒少量含む。 暗茶褐色土。しまり強い。黄褐色土粒定量・炭化物粒を少量含む。 茶褐色土。しまり強い。 黄褐色土。しまり強い。 茶褐色土。しまり強い。 茶褐色土粒少量含む。

## SE60

SK70



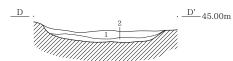
# SK93 · 94、P437



- SK93 1 黒色土。しまり強い。 2 暗黄褐色土。しまり強い。小礫定量・炭化物粒少量含む。 3 黄褐色土。暗黄褐色土粒含む。

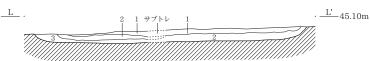
- P437 1 黄褐色土。しまり弱い。暗茶褐色土粒含む。 2 黒色土。しまり弱い。

#### SK72



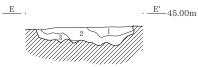
- 1 黒褐色土。しまり弱い。黄褐色土粒少量・炭化物粒定量含む。 2 黄褐色土に黒褐色土粒含む。

# SX62



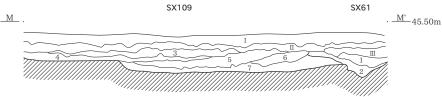
- 暗茶褐色土。しまり強い。混じりがあまりない。炭化物粒が少量含む。 暗茶褐色土。しまり弱い。黄褐色土粒多量に含む。 暗茶褐色土。しまり弱い。黄褐色土粒多量に含む。

# SK71

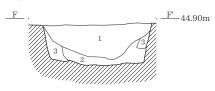


- 暗茶褐色土に黄褐色土が多量に含む。しまりやや強い。 黒褐色土 しまり強い、炭化物粒が多量に含む。 暗黄褐色土 黄褐色土が非常に細かく含む。しまりやや強い。

# SX61 · 109



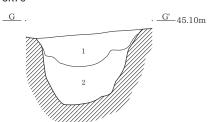
# SK87



- 1 黒色土。しまり強い。黄褐色土粒含む。 2 暗褐色土。黄灰色粘土・黄褐色土粒多量に含む。 3 黄褐色土。黒褐色土粒少量含む。

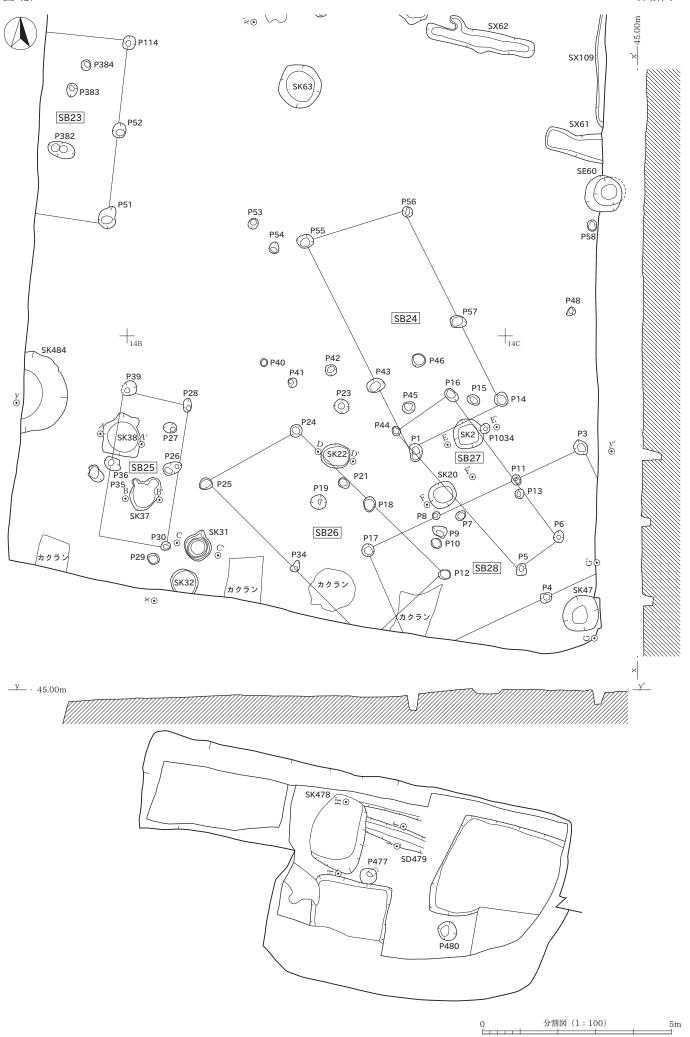
- SX69 1 暗茶褐色土。しまり弱い。黄褐色土粒含む。 2 茶褐色土。しまり弱い。黄褐色土小粒含む。 SX109
- SX109 3 明茶褐色土。暗褐色土粒・黄褐色土小粒多量に含む。 4 暗茶褐色土。黄褐色土が少量含む。基本土層の3層に似ている。 5 暗茶褐色土。黄褐色土・暗褐色土粒多量に含む。 6 暗茶褐色土。黄褐色土粒多量に含む。 7 黒褐色土。黄褐色土粒少量含む。

# SK76



- 1 黒褐色土。しまり強い。黄褐色土小粒定量・炭化物粒が少量含む。 2 黒色土。しまり・粘性弱い。黄褐色土粒(径約5cm)含む。

0 SE60 (K) SX61·109 (M) 断面図(1:80)4m その他 断面図 (1:40)

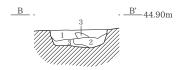


## SK38



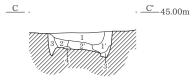
1 黒褐色土。しまり強・粘性弱い。 2 黒褐色土。黄褐色土粒含む。

## SK37



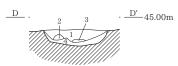
1 茶褐色土。しまり弱い。黄褐色土粒含む。 2 暗茶褐色土。しまり弱い 3 茶褐色土。しまり弱い。黄褐色土小粒含む。

## SK31



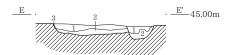
暗茶褐色土。しまり強い。 黄褐色土 (地山) 粒 (径約1cm) 含む 1層に黄褐色土 (地山) 粒が多量に含む。 黒褐色土 しまりやや強い。混じりなし。 2層に黄褐色土 (地山) 粒が層状に含む。 暗茶褐色土 黒色土

# SK22



黒褐色土。しまり・粘性強い。黄褐色土粒少量含む。 黄褐色土(地山)粒 黒色土。しまり強い。 暗黄褐色土。

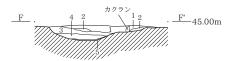
## SK2 · P1034



SK2

SK2
1 暗褐色土。しまり強い。黒褐色土・黄褐色土(地山)粒多量、炭化物粒少量含む。
2 黒色炭化物層。しまりやみ強、樹木枝などの植物遺体を少量含む。
3 地山が被熱により赤化・硬化する(赤化・硬化は底面のみで側面には見られない)。
P1034
1 黒褐色土。しまり・粘性弱い。黄褐色土粒含む。
2 黄褐色土。黒褐色土粒含む。

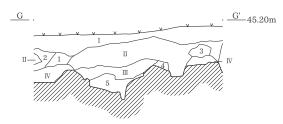
# SK20



1 黒褐色土。しまり・粘性やや強い。黄褐色土小粒・炭化物粒含む。

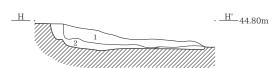
新聞とし、 しるり 相比 いとは、 気間としか症 及し切在らる。 黄褐色土、 野褐色土、黄褐色土が食む。 黒色土、 しまり・新性弱い、炭化物粒を含む。 明赤褐色焼土。非常に硬く焼き締まっている。主に底部。地山に酸化が見られる。

# SK47



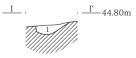
I層 表土。しまり強い。
П層 暗茶褐色土。しまりやや強い。黄褐色土粒(径2~20mm)定量、炭化物粒(径1~2mm)少量含む。
即層 黒褐色土。しまりやや弱い。黄褐色土粒(径2~20mm)少量含む。
N層 暗茶褐色土。しまりやか弱い。黄褐色土粒多量に含む。
暗茶褐色土。しまりやか弱い。黄褐色土粒(径約2mm)含む。
2 暗茶褐色土。黄褐色土粒多量に含む。しまり強い、炭化物粒(径2~3mm)少量含む。
3 暗茶褐色土。以まりやや強い。黄褐色土粒(径約1mm)少量含む。
4 暗茶褐色牡土。しまり普通、黄褐色土粒(径約1mm)少量含む。
6 略茶褐色丸土。しまり普通、黄褐色土粒や量含む。

# SK478

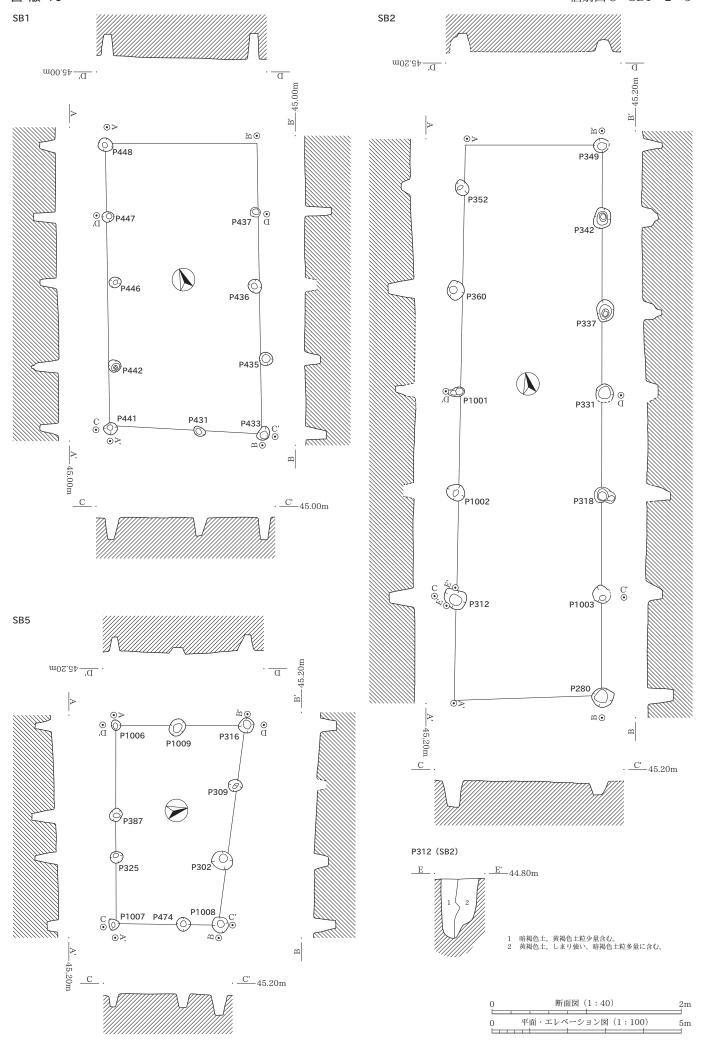


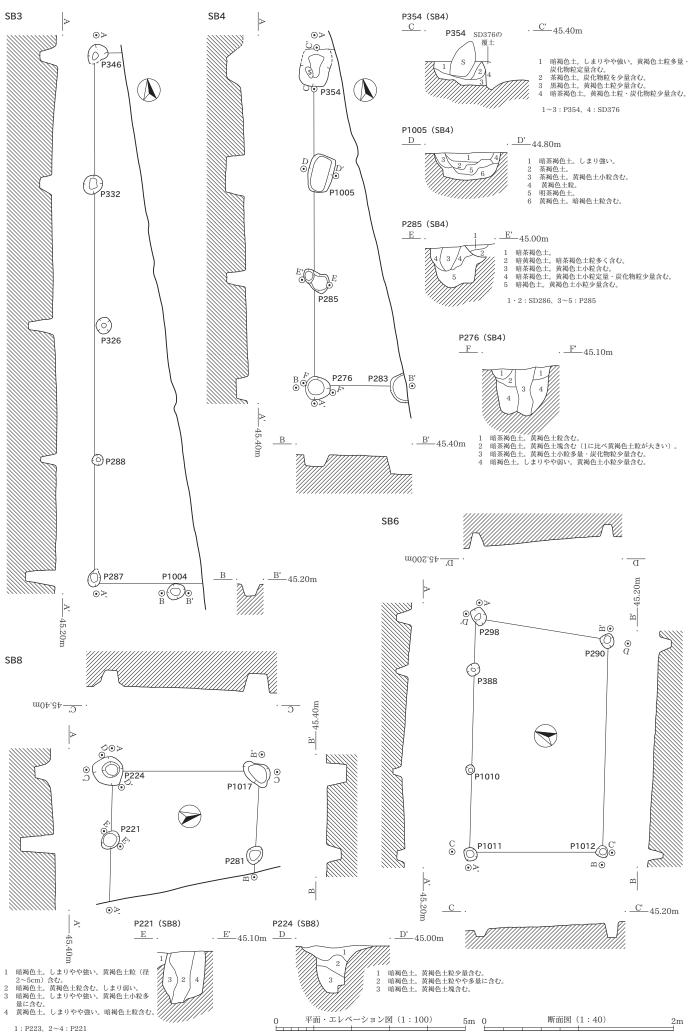
1 暗褐色土。しまり強い。黄褐色土粒少量含む。非常にしまりがよく、硬い。2 茶褐色土。暗黄褐色土粒含む。

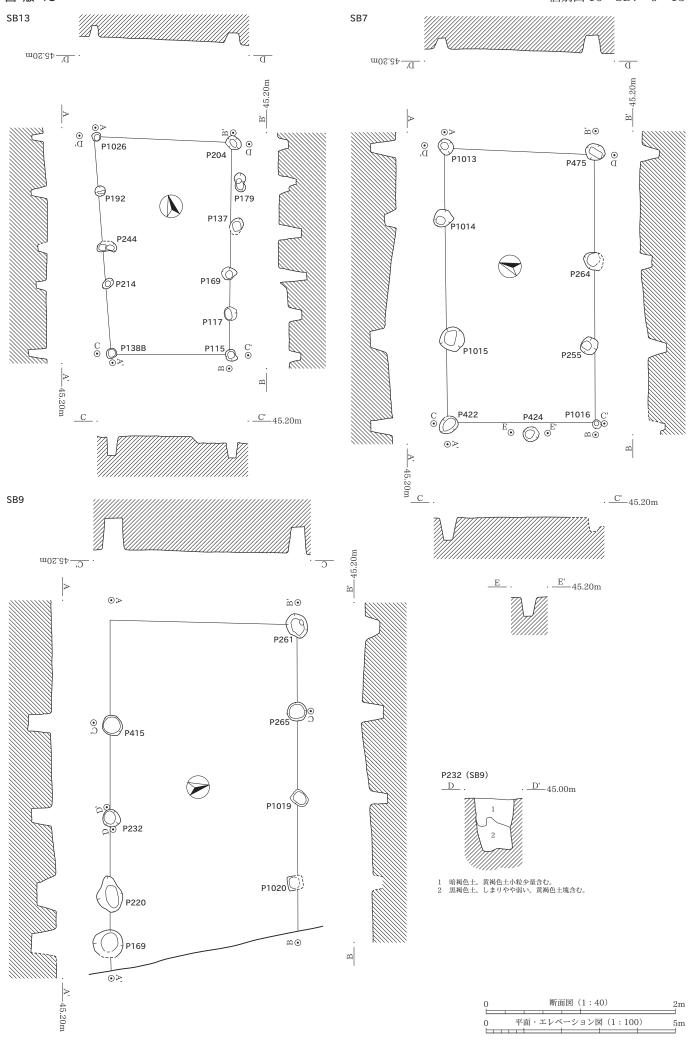
# SK479

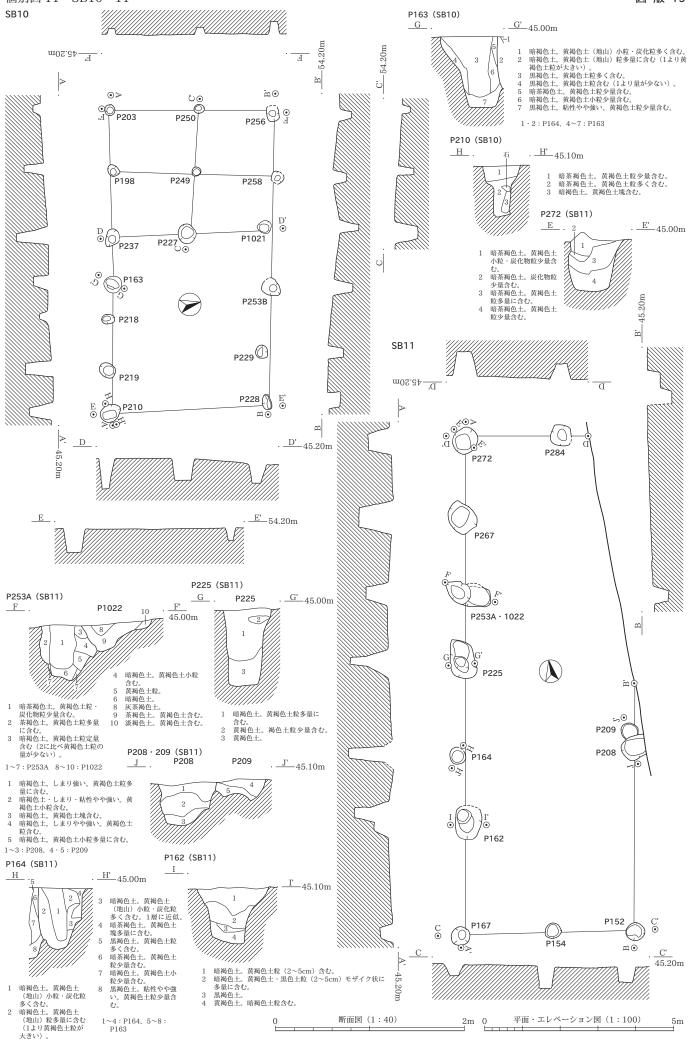


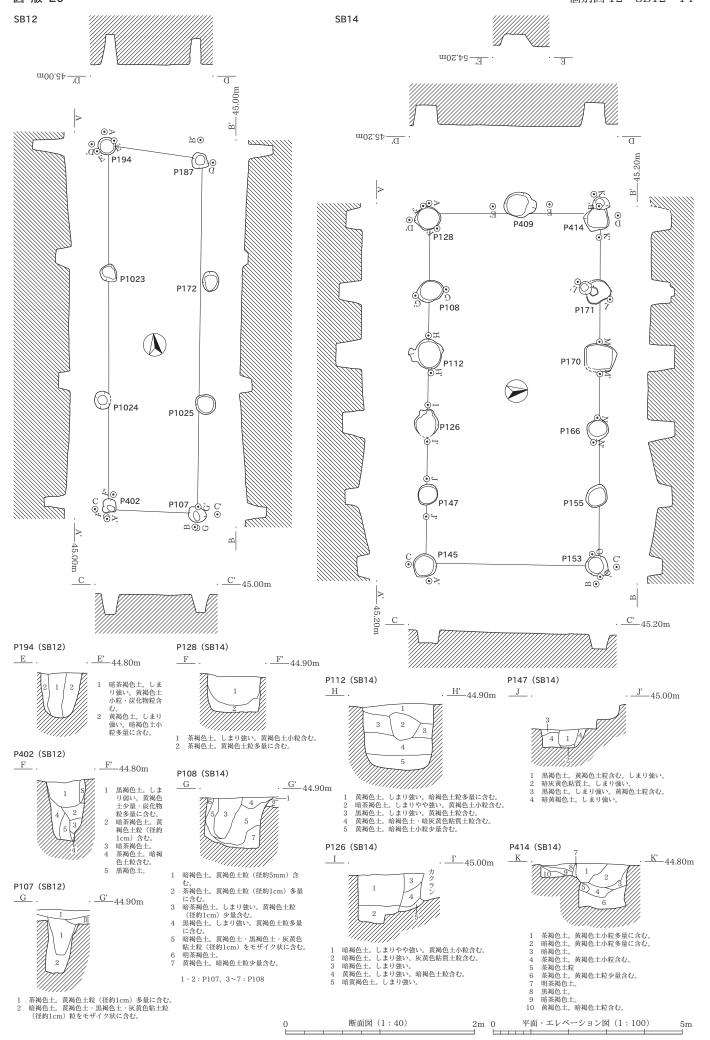
1 暗褐色土。黄褐色土粒含む。



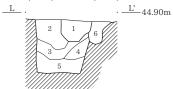








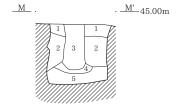
#### P171 (SB14) · P1030 (SB20)



- 茶褐色土。しまり強い。黄褐色土小粒多量に含む。 茶褐色土。しまり強い。黄褐色土粒少量含む。 暗茶褐色土。しまり、粘性強い。 暗茶褐色土。皮褐色土小粒多量に含む。 黄褐色土。しまりやや強い。暗褐色土粒多量に含む。 暗茶褐色土。

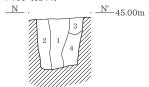
- 1:P1030, 2~5:P171

## P170 (SB14)



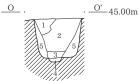
- 1 黒褐色土。黄褐色土粒多量に含む。 2 黒褐色土。黄褐色土粒含む。 3 黒褐色土。黄褐色土小粒多量に含む。 4 暗茶褐色土。 は3 地ない。 5 黒褐色土。 しまり極強い。 黄褐色土塊多量に含む。

#### P166 (SB14)



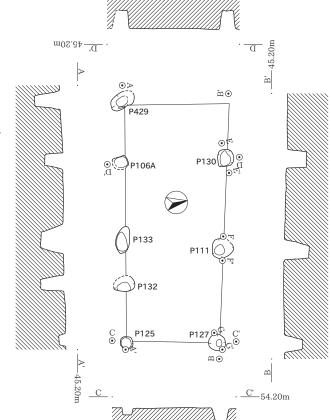
- 暗褐色土。しまり弱い。 暗褐色土。しまり強い。 黄褐色土小粒含む。 黄褐色土。しまり強い。 暗褐色土粒多量に含む。 黄褐色土。しまり強い。 暗褐色土粒含む。

# P153 (SB14)

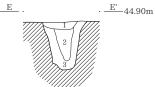


- 1 暗褐色土。しまり強い。黄褐色土小粒多量に含む。 2 黒褐色土。しまり強い。黄褐色土粒含む。 3 暗黄褐色土。 4 暗灰黄色土質土。しまり強い。 5 黄褐色土。暗褐色土粒少量含む。

SB15

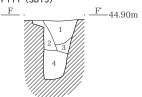


P130 (SB15)



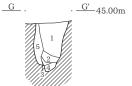
- 茶褐色土。 黄褐色土粒・炭化物粒少量含む。 暗茶褐色土。 黄褐色土粒・炭化物粒少量含む。 茶褐色土。 黄褐色土粒定量含む。

P111 (SB15)



- 茶褐色土。しまりやや強い。黄褐色土小粒含む。 茶褐色土。しまり強い。黄褐色土粒多量に含む。 黄褐色土(地山)粒 茶褐色土。しまり弱い。

P127 (SB15)



- 1 暗茶褐色土、しまりやや強い。 2 暗茶褐色土。しまり弱い。黄褐色土粒含む。 3 黄褐色土粒、しまり弱い。 4 暗茶褐色土。しまり弱い。 5 暗褐色土。しまり強い。 5 暗褐色土。しまり強い。 5 である生

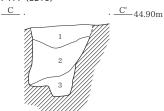
P419 (SB16)

· <u>B'</u> 44.90m <u>B</u>.



- 1 茶褐色土。しまり強い。黄褐色土粒・炭化物粒少量含む。 2 茶褐色土。しまり弱い。黄褐色土小粒多量に含む。

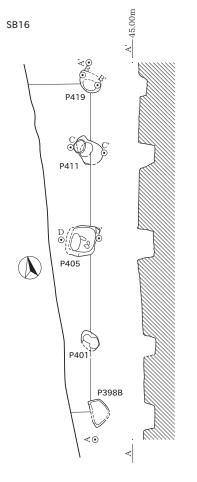
P411 (SB16)

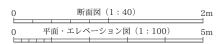


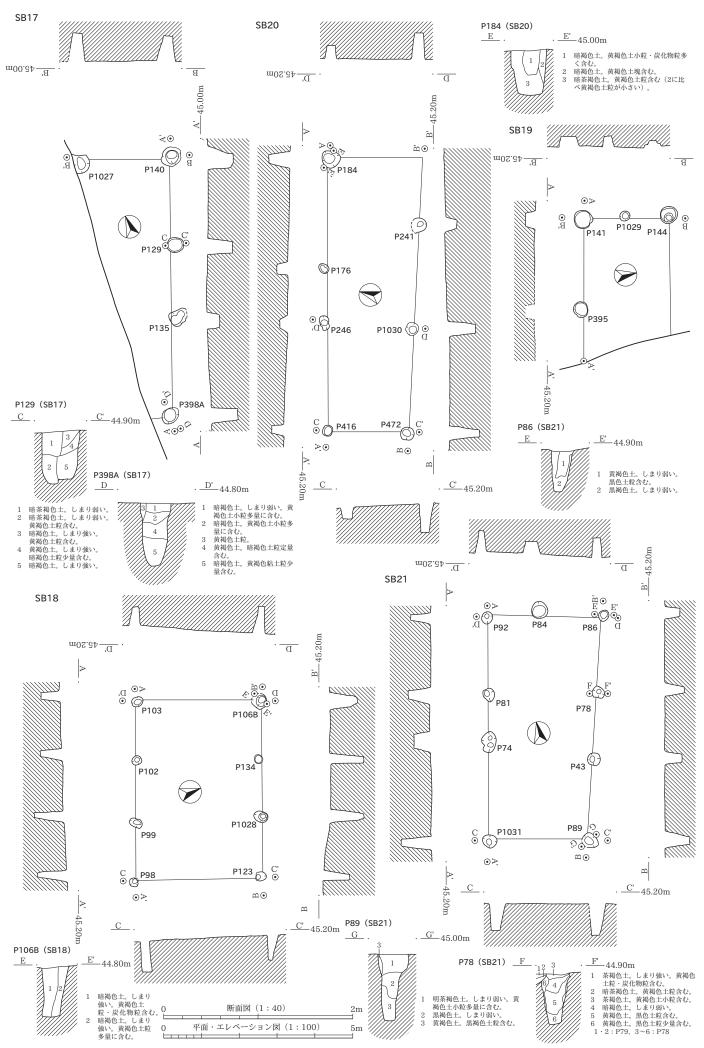
- 暗褐色土。 黄褐色土小粒含む。 茶褐色土。 黄褐色土小粒含む。 黄褐色土。暗褐色土粒含む。

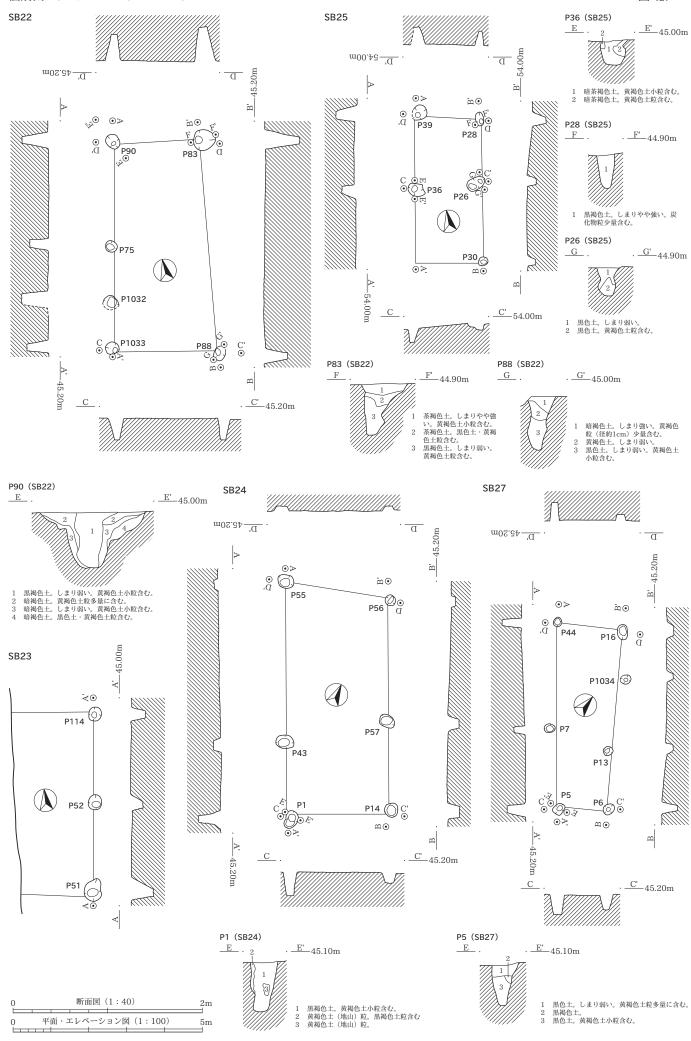
P405 (SB16) D'\_44.80m D

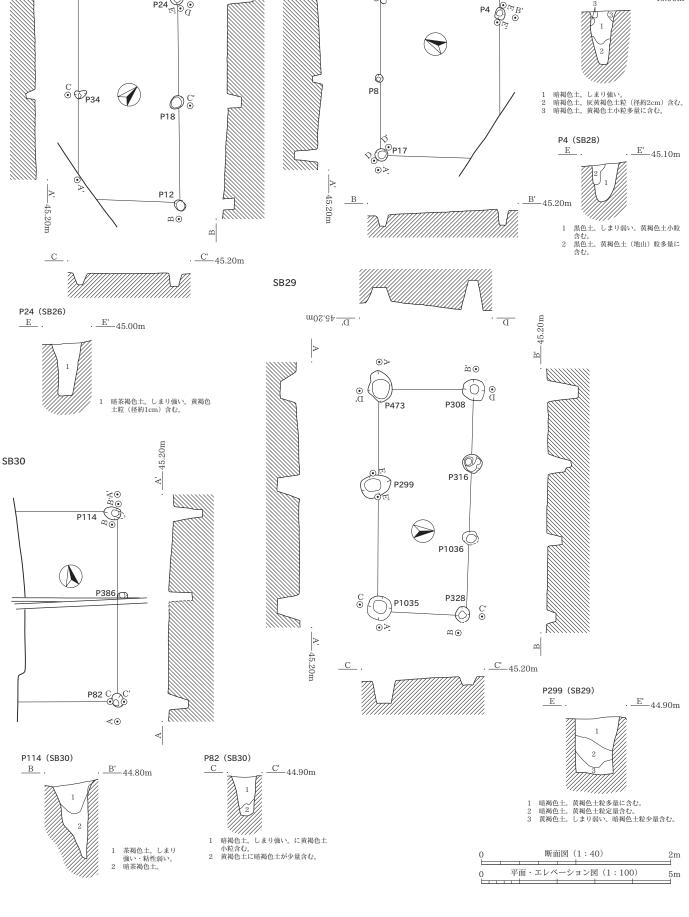
- 1 茶褐色土。しまり弱い。 2 暗茶褐色土。黄褐色土小粒・炭化物粒含む。 3 黄褐色土。晴褐色土小粒多量に含む。 4 茶褐色土。黄褐色土鉛含む。 5 暗茶褐色土。しまり弱い。黄褐色土粒定量含む。
- 1:P106, 2~5:P405



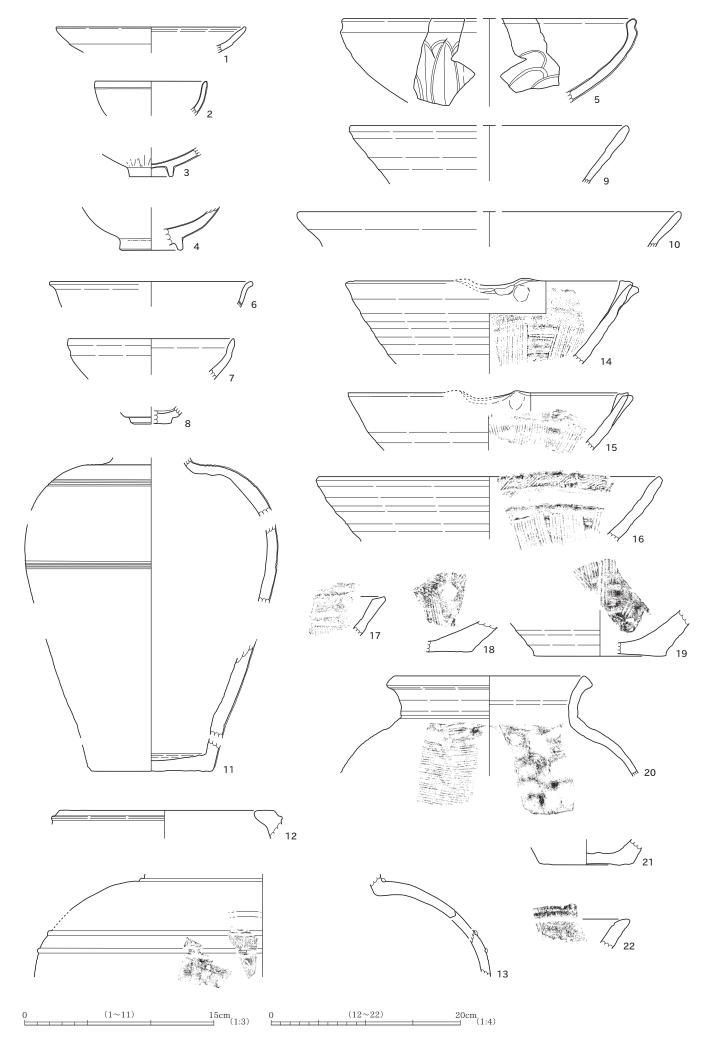


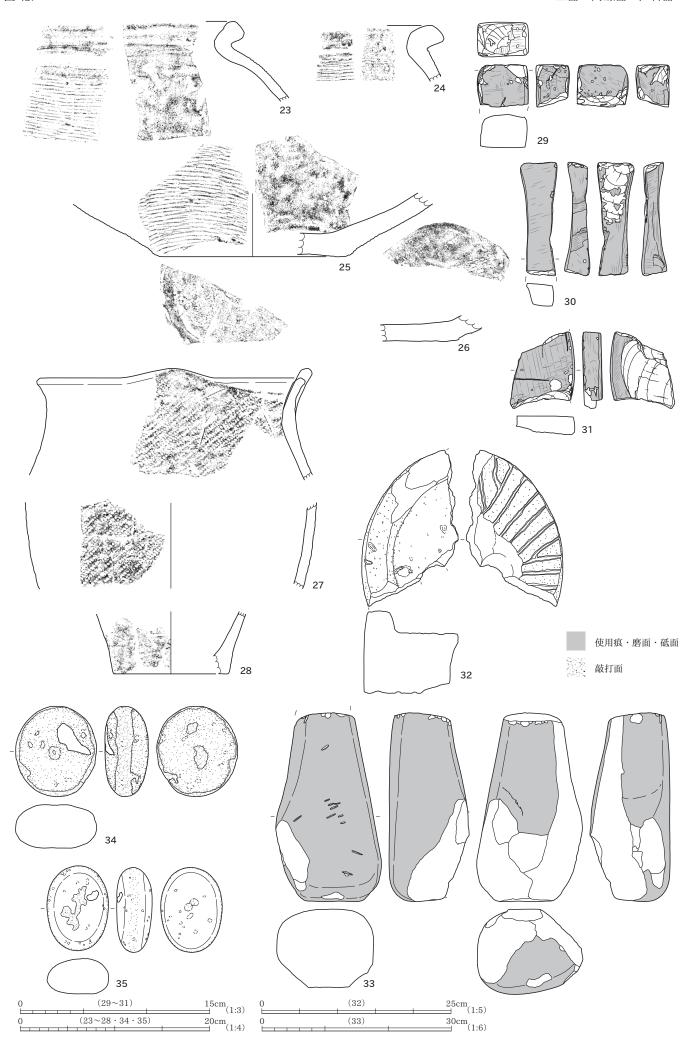


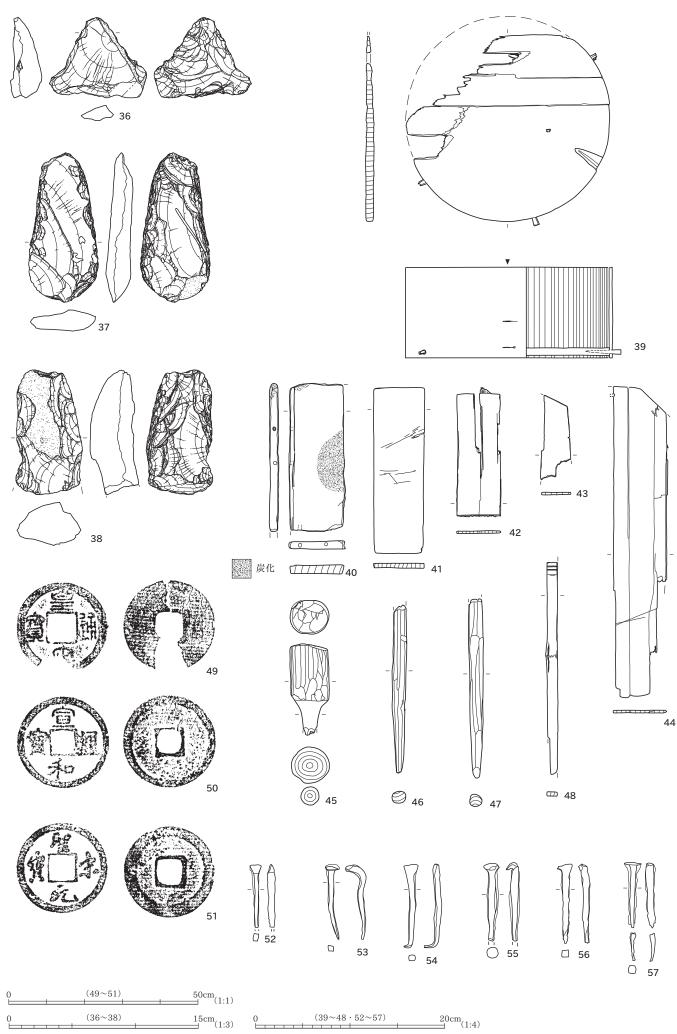




**世界・陶磁器 1** 図 版 25







遺跡近景、北堀断面 図版 28



遺跡近景(上空から 上が北)



北堀断面 (西から)



土塁断面 (西から)



北堀完掘 (北西から)



土塁検出状況(北から)



土塁検出状況(南から)



北堀完掘後の土塁(北から)



基本層序 (14C2 付近)



基本層序 (7C21 付近)

遺構検出状況 図版30



遺構検出状況(6~88周辺 南から)



遺構検出状況(8・9B 周辺 南から)



遺構検出状況 (8B 周辺 西から)



遺構検出状況(8・9B周辺 東から)



遺構検出状況 (10・118 周辺 西から)



遺構検出状況 (10・118 周辺 南から)



遺構検出状況 (12・13B 周辺 西から)



遺構検出状況(12~14B周辺 南から)

図版31 遺構完掘



遺構完掘状況(6・7B 周辺 西から)



遺構完掘状況(8B周辺 西から)



遺構完掘状況 (9・10B 周辺 南から)



遺構完掘状況 (9・10B 周辺 西から)



遺構完掘状況 (10・118 周辺 西から)



遺構完掘状況 (118 周辺 西から)



遺構完掘状況 (12B 周辺 西から)



遺構完掘状況 (13・14B 周辺 西から)

遺跡近景 図 版 32

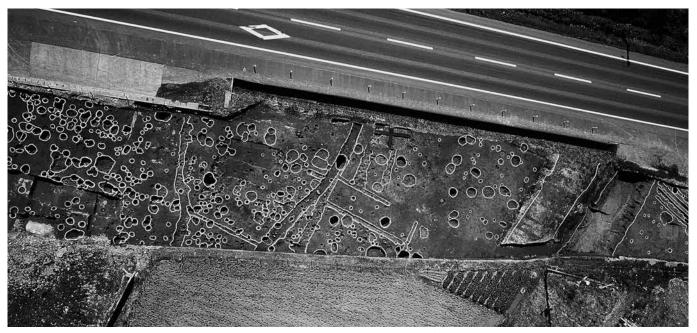


遺跡近景 (北から)

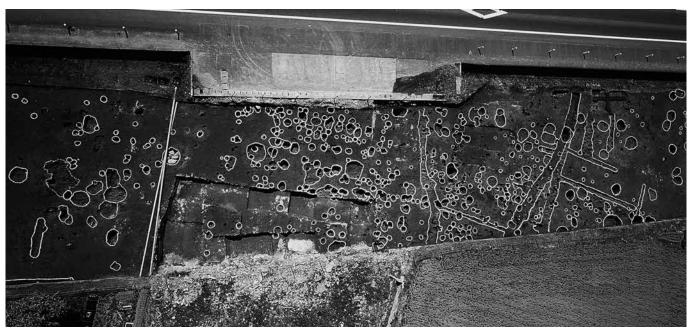


遺跡近景(上空から 右上が北)

図 版 33 遺構完掘



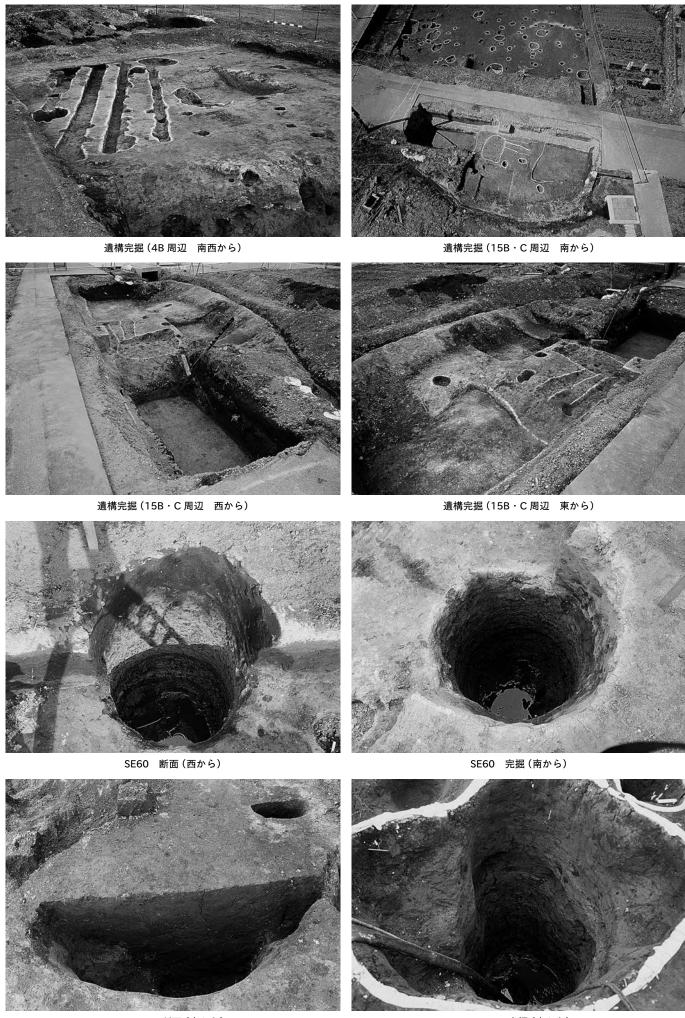
遺構完掘(4~118周辺 上空から 右が北)



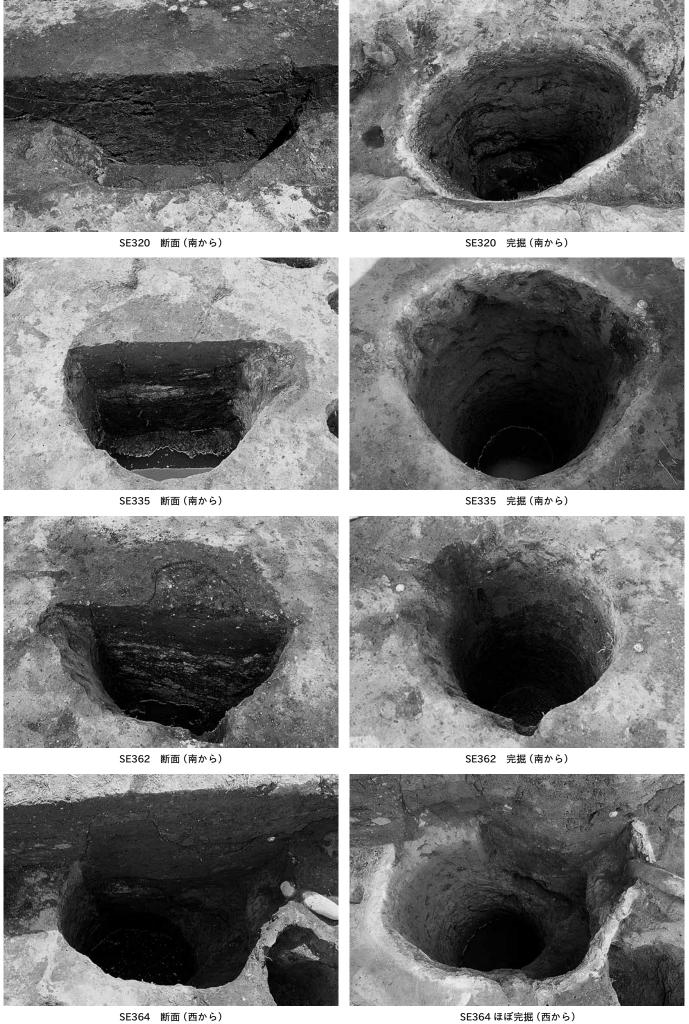
遺構完掘 (7~12B周辺 上空から 右が北)



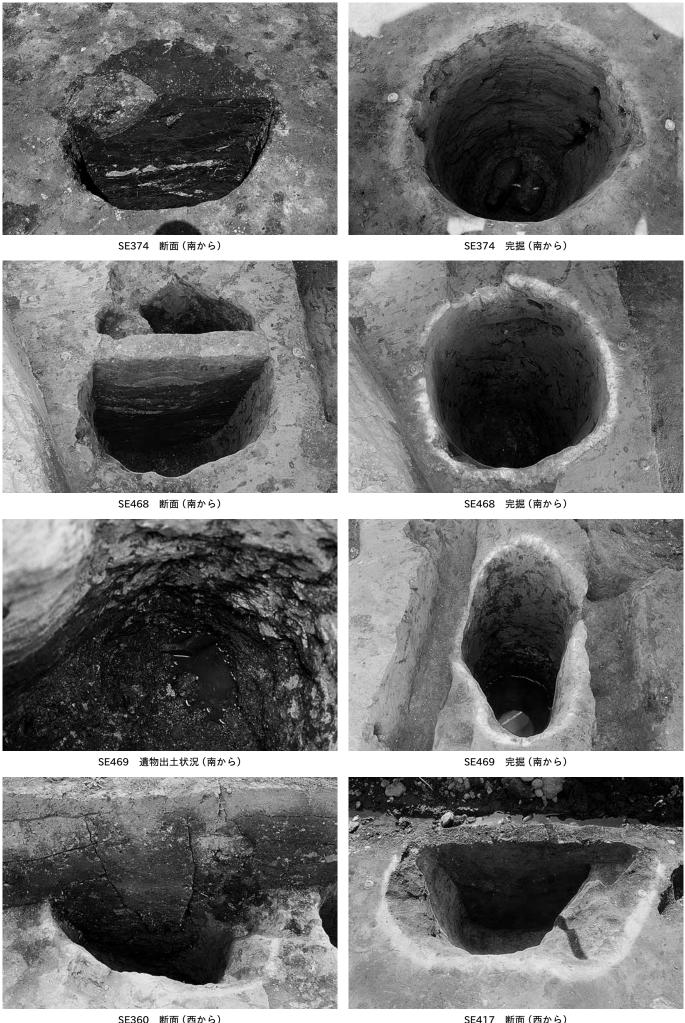
遺構完掘 (10 ~ 14B 周辺 上空から 右が北)



SE319 断面(南から) SE319 完掘(南から)

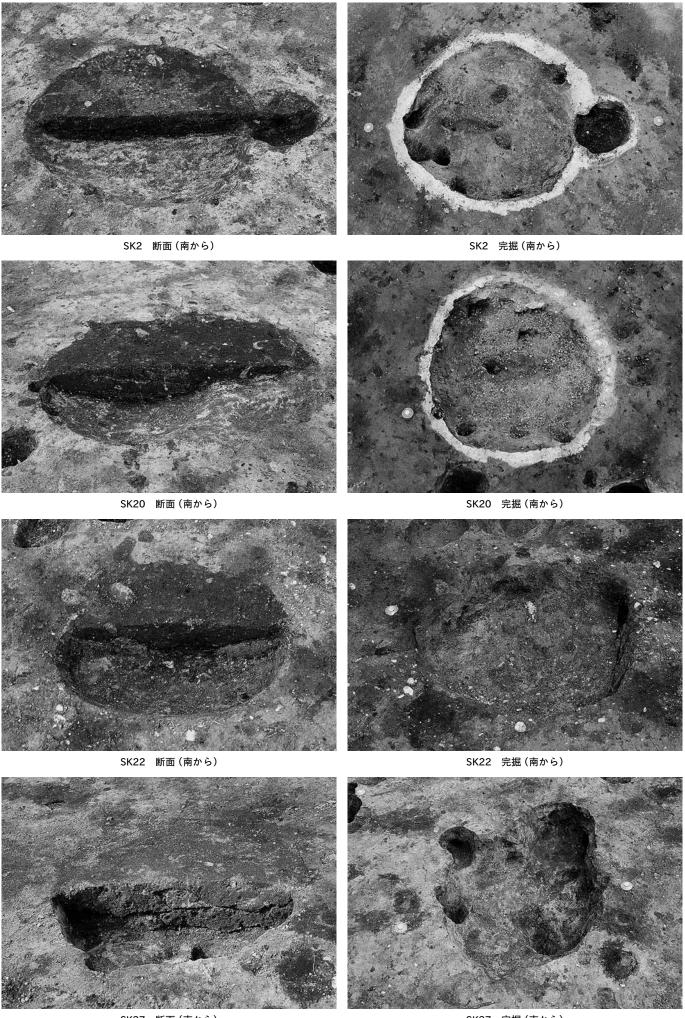


SE364 ほぼ完掘 (西から)

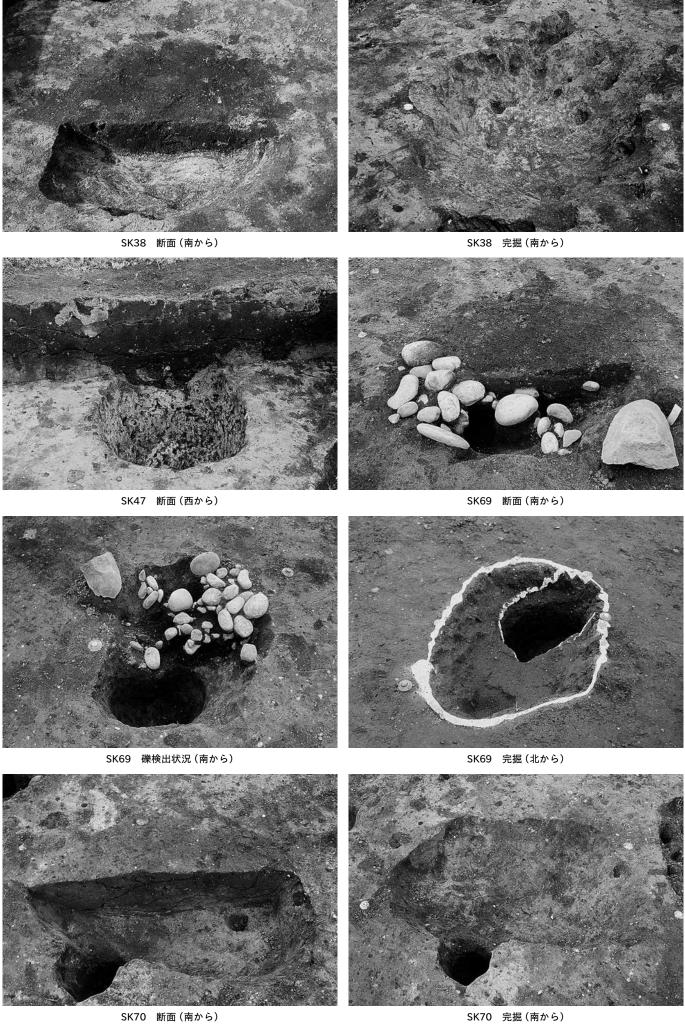


SE360 断面(西から)

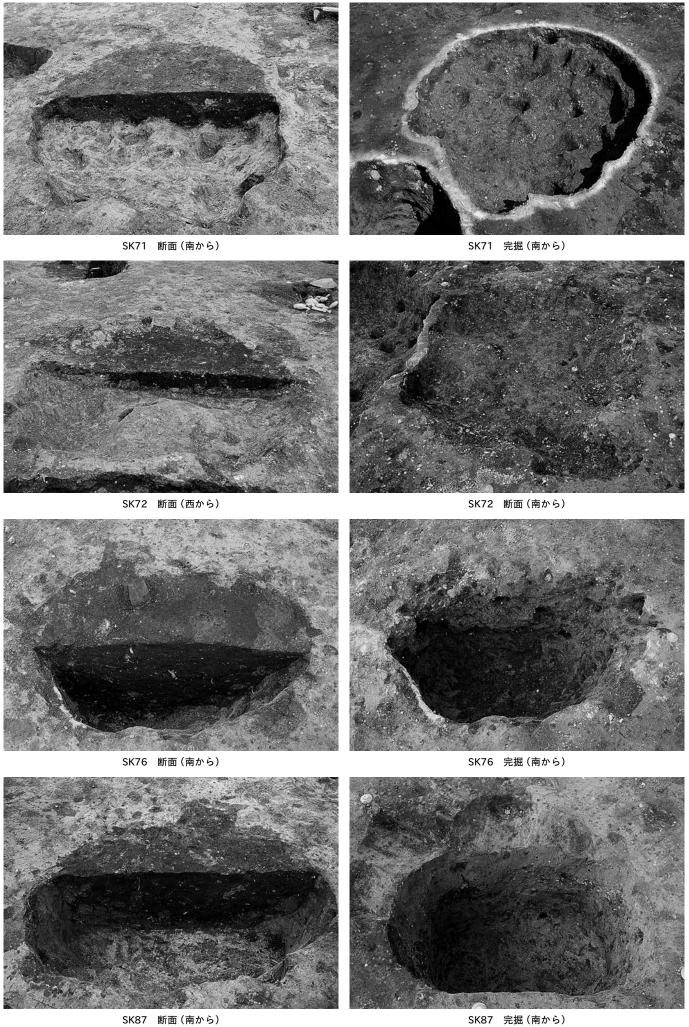
SE417 断面(西から)



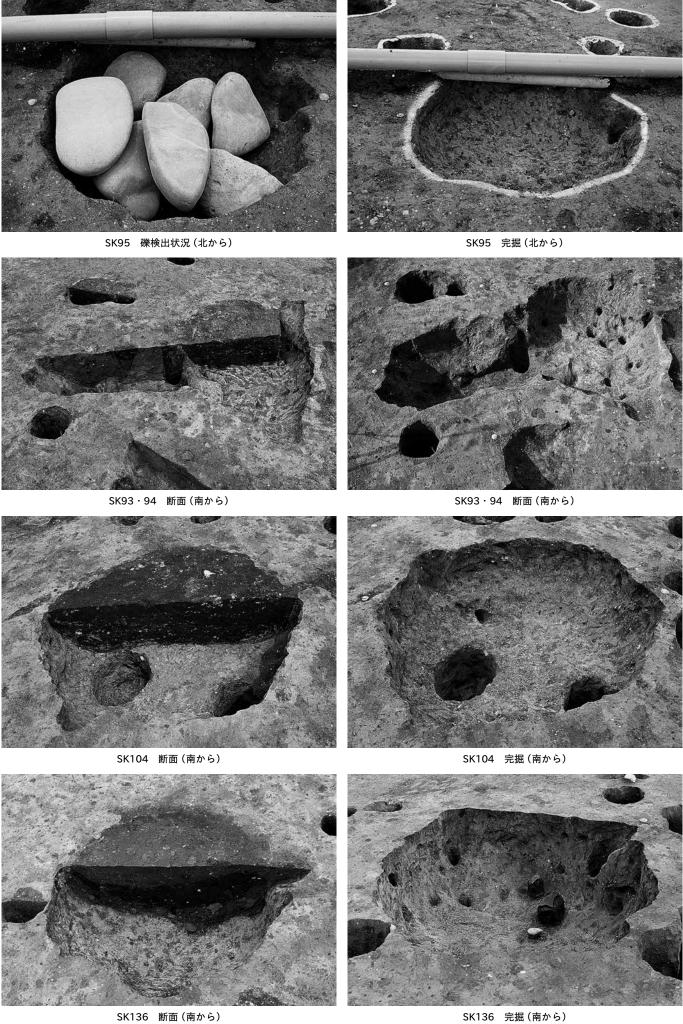
SK37 断面(南から) SK37 完掘(南から)

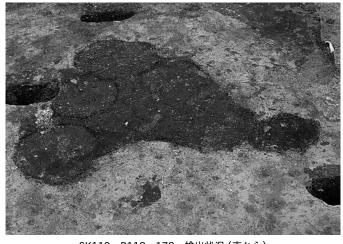


SK70 完掘(南から)



SK87 断面(南から)





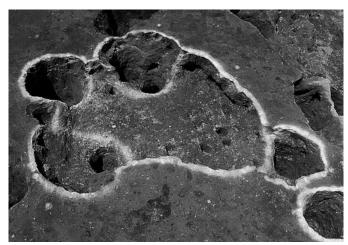
SK119、P118・178 検出状況(南から)



SK119、P118·178 断面(南から)



SK119、P115·117 断面(西から)



SK119、P115~118·178 断面(南から)



SK226、P224・225 断面(南から)



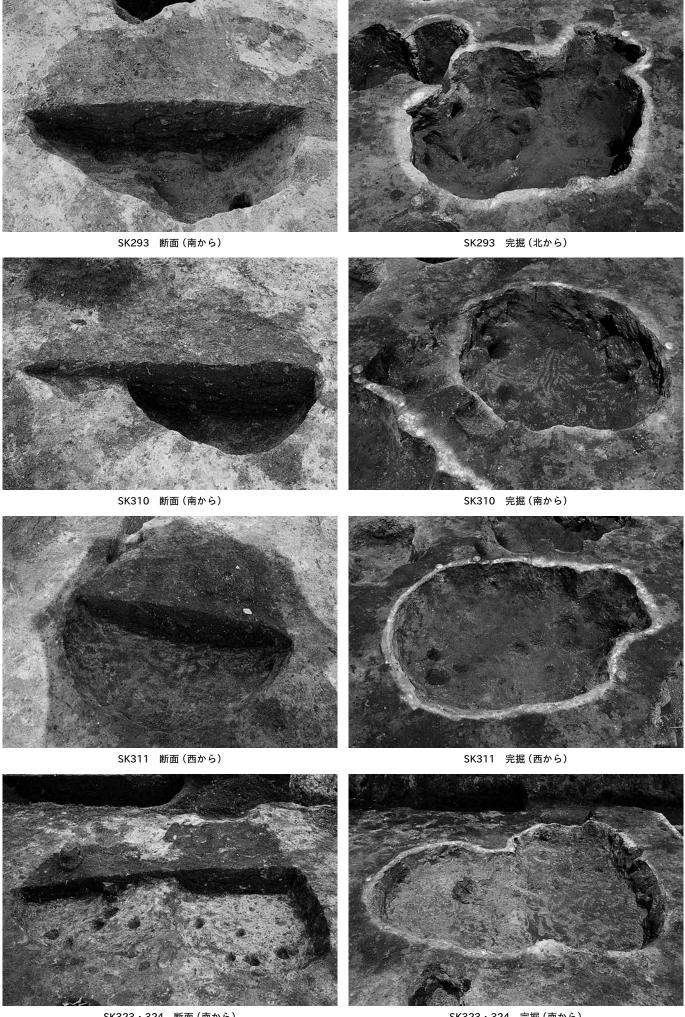
SK226、P224・225・247 完掘(南から)



SK292 断面(南から)

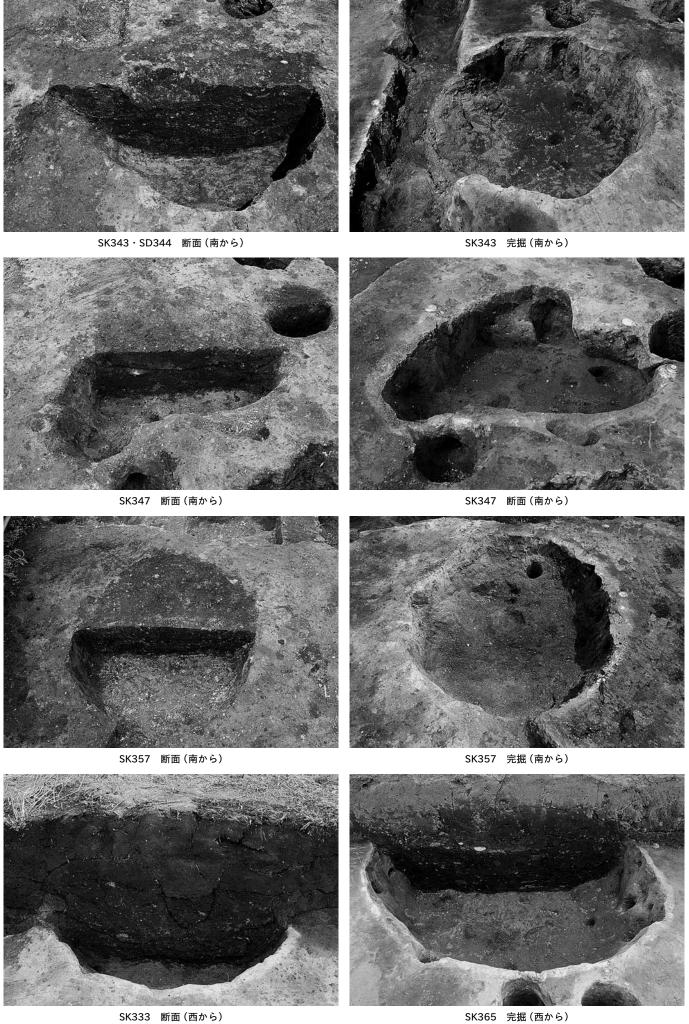


SK292 完掘(南から)

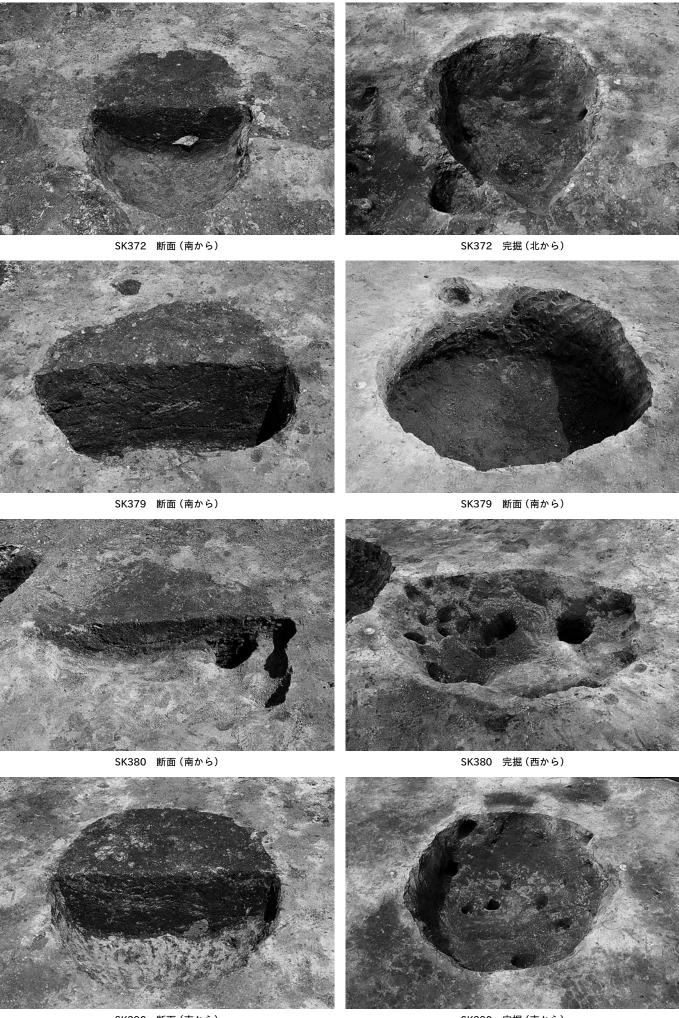


SK323・324 断面(南から)

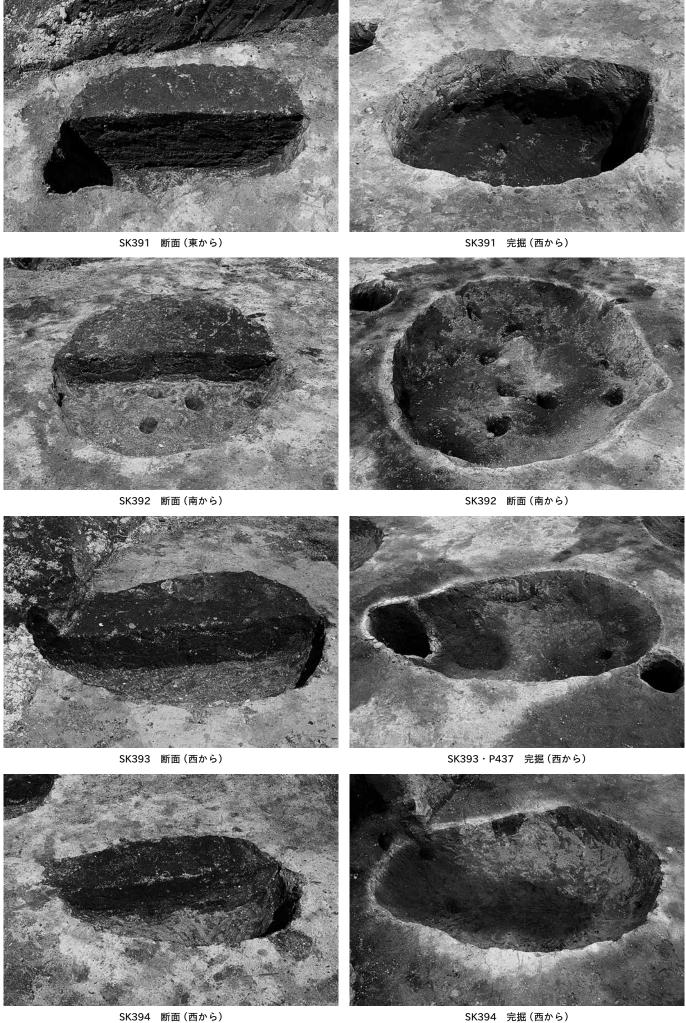
SK323・324 完掘(南から)

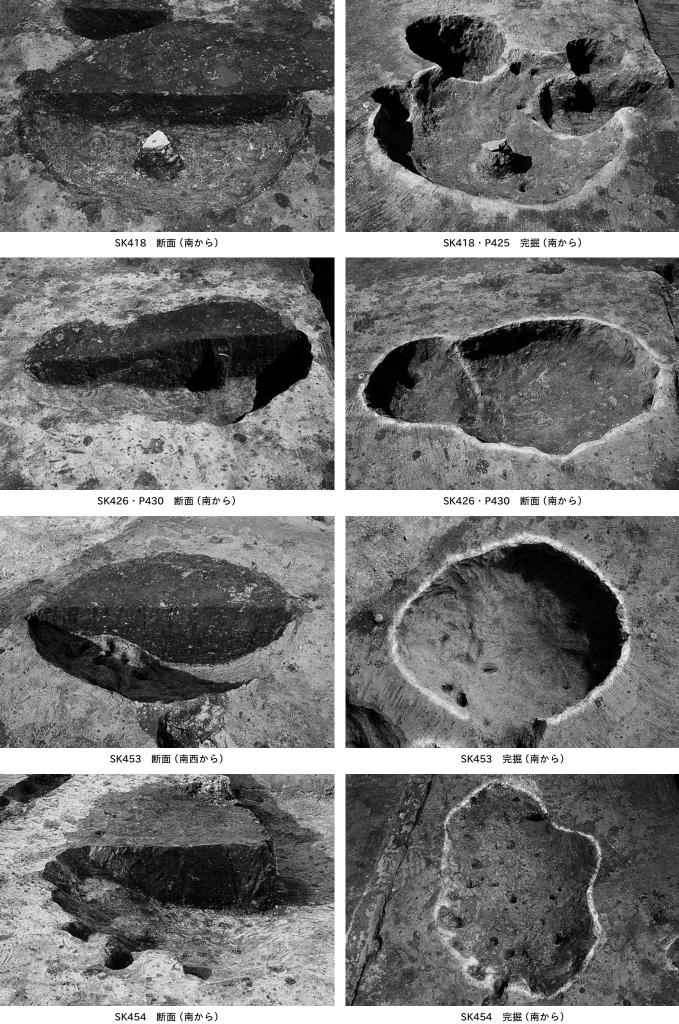


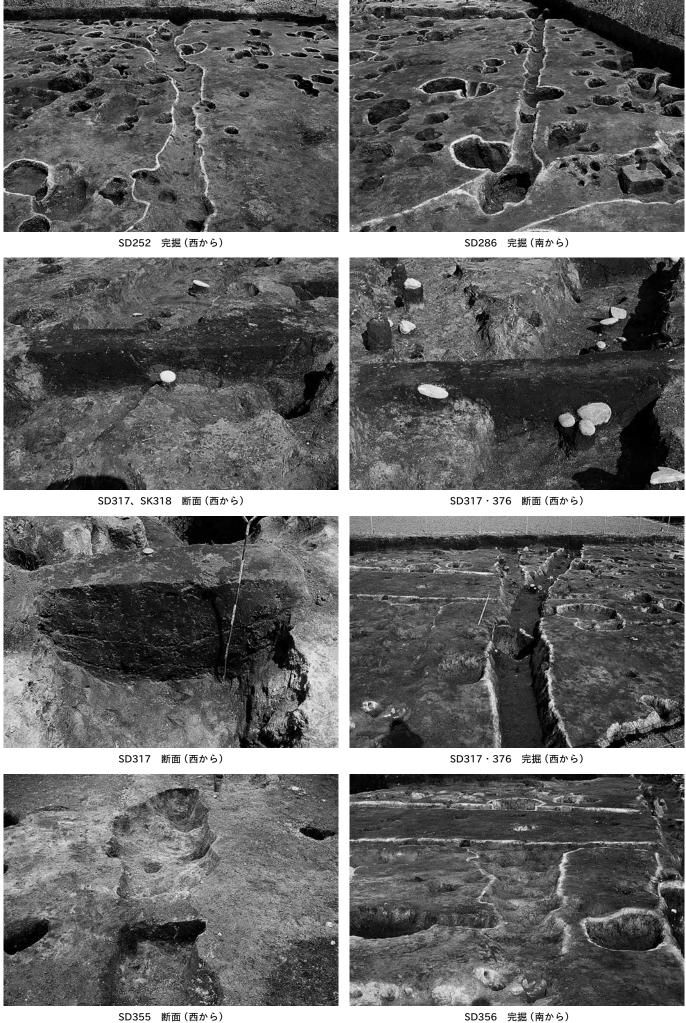
SK333 断面(西から)



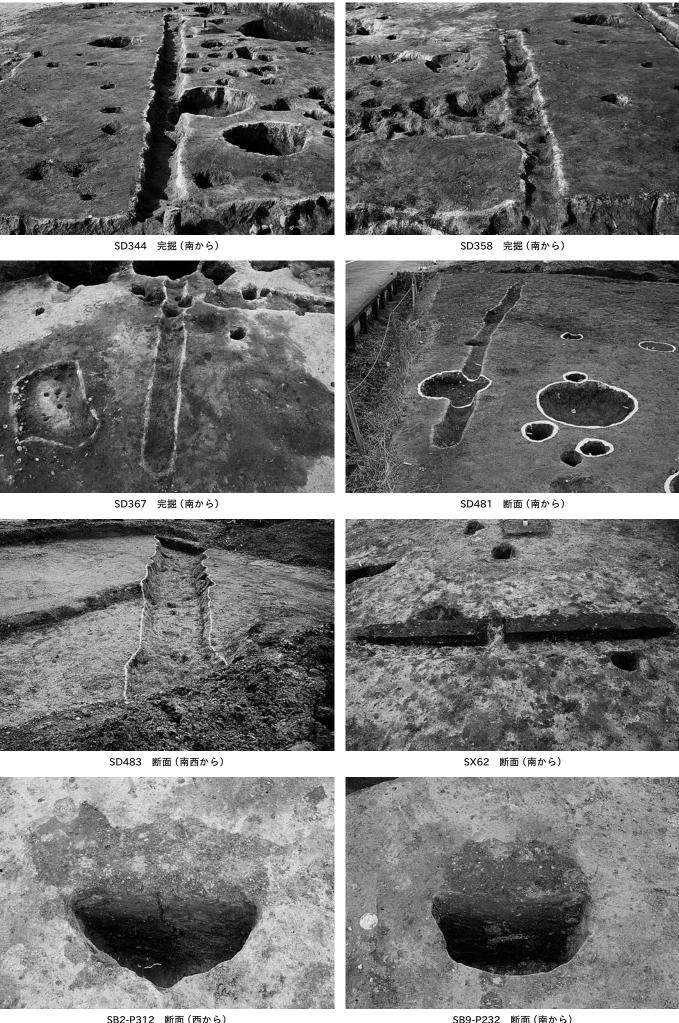
SK390 断面(南から) SK390 完掘(南から)





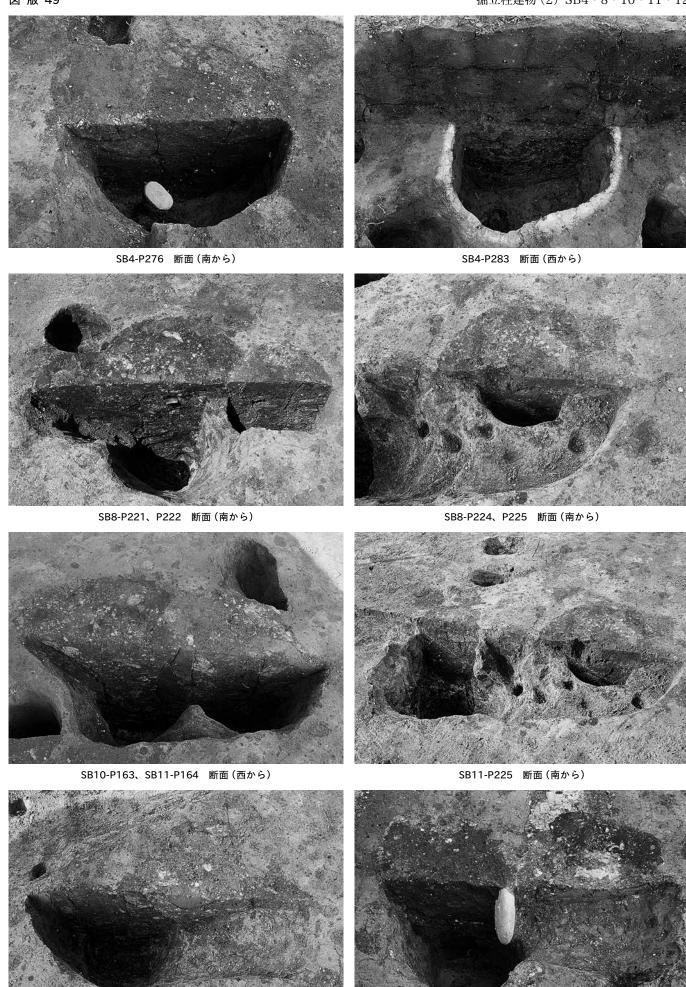


SD355 断面(西から)



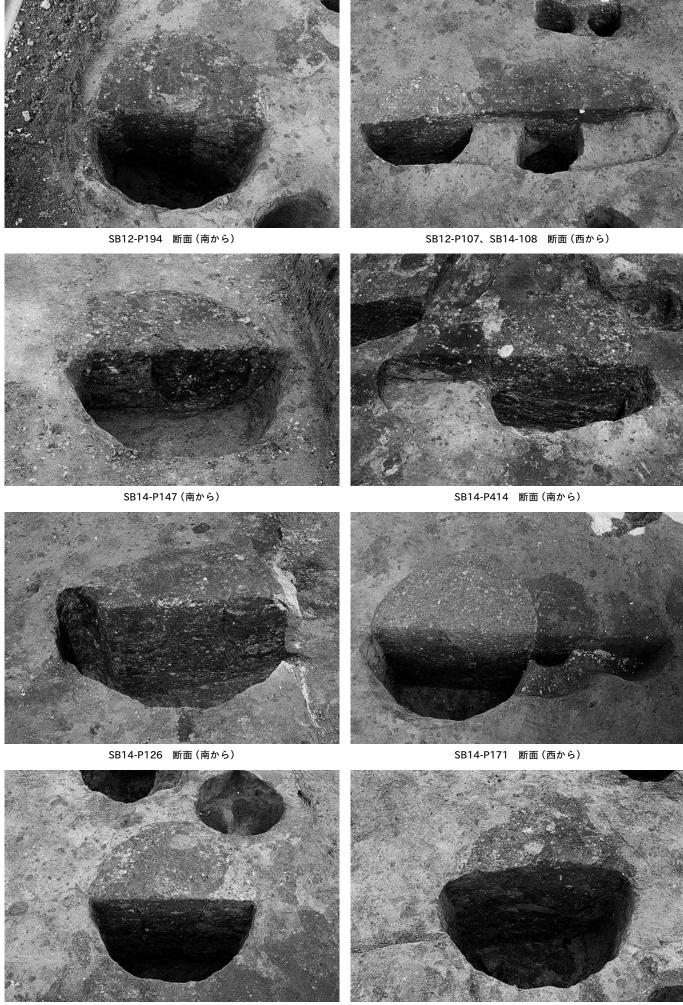
SB2-P312 断面(西から)

SB9-P232 断面(南から)



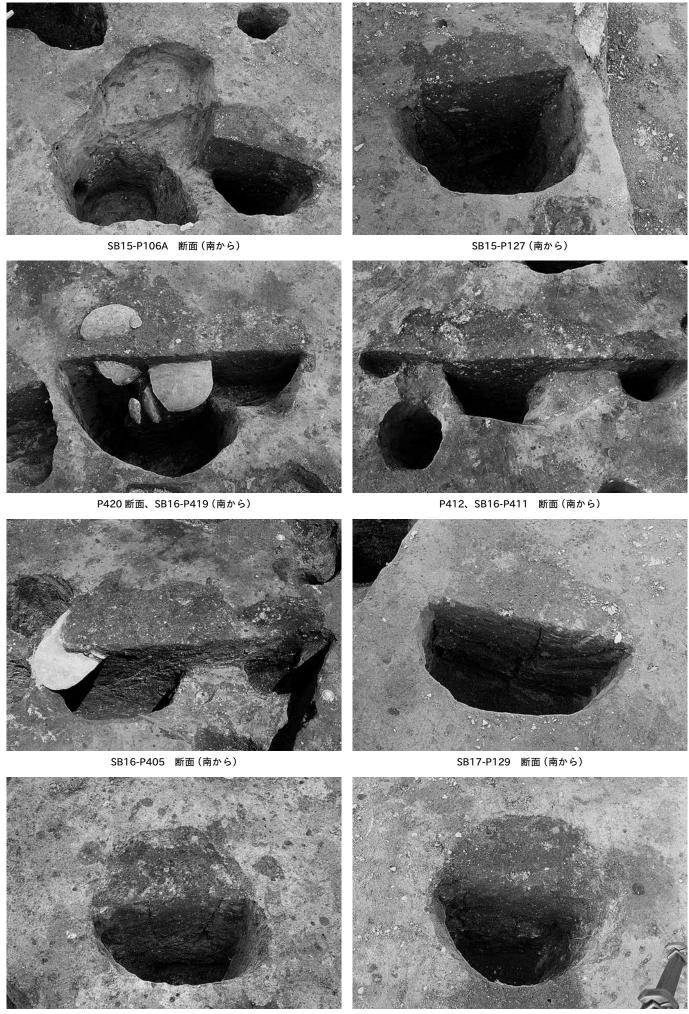
SB11-P253A 断面(南から)

SB12-P402 断面(南から)



SB14-P166 断面 (南から)

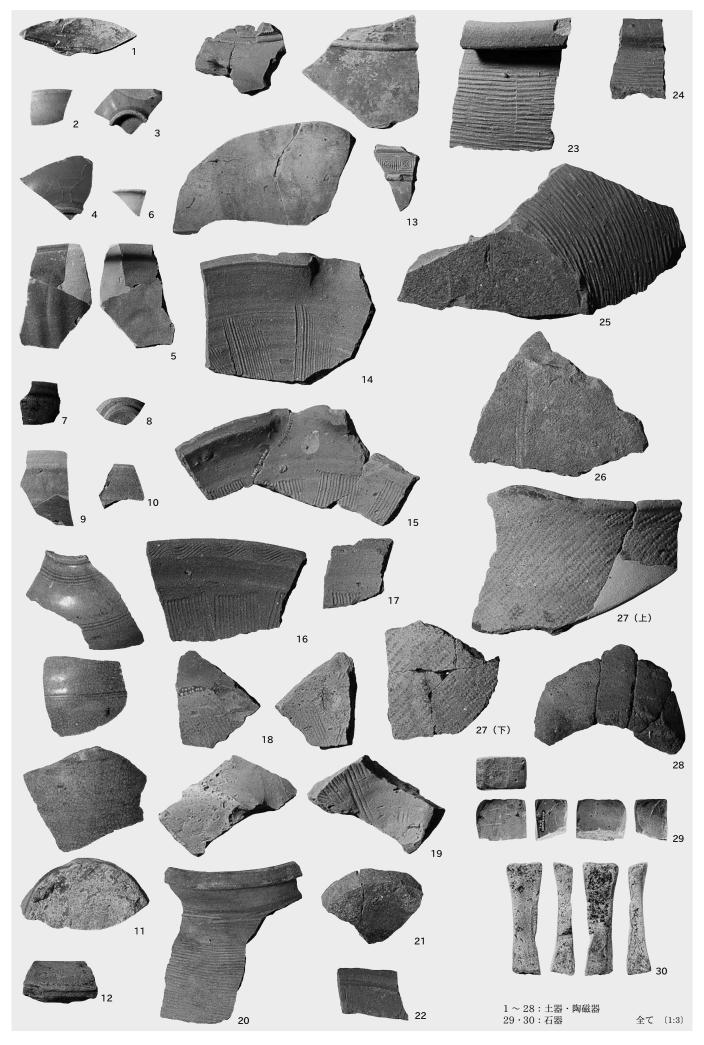
SB14-P153 断面(南から)



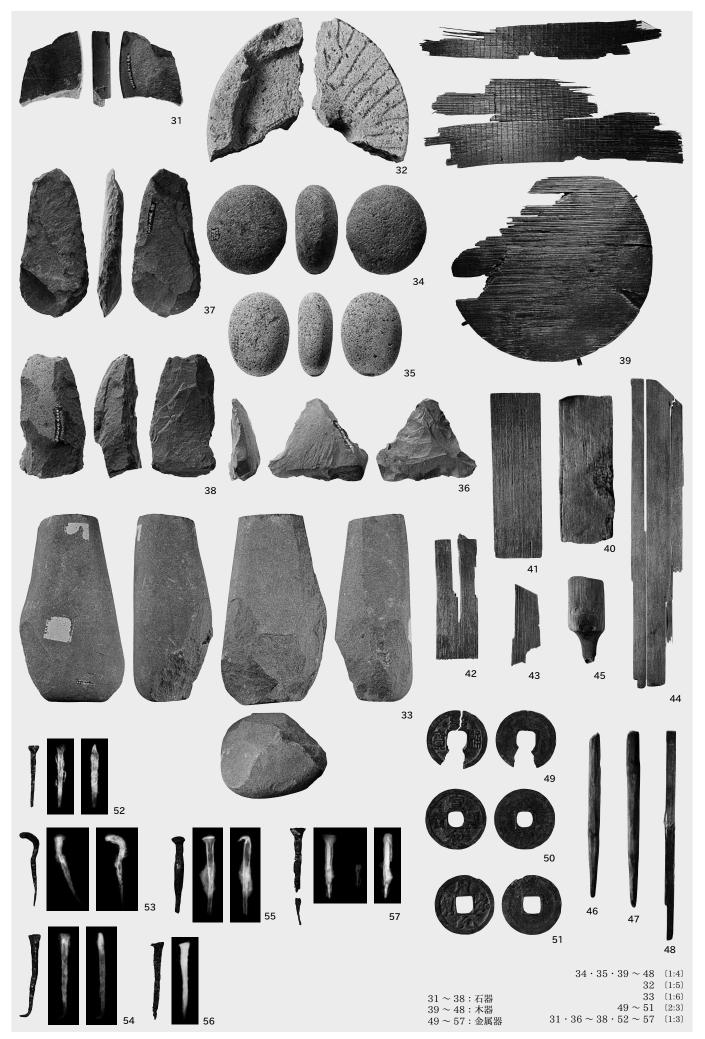
SB20-P184 断面(南から)

SB24-P1 断面(南から)

土器・陶磁器、石器 1 図 版 52



図版 53 石器 2、木器、金属器



## 報告書抄録

ふりがな	なかがたやかたあと									
書 名	中潟館跡									
副書名	一般国道 17 号 南長岡拡幅事業関係発掘調査報告書									
巻 次										
シリーズ名	新潟県埋蔵文化財調査報告書									
シリーズ番号	第 267 集									
編著者名	春日真実・坂上有紀(公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団)									
編集機関	公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団									
所 在 地	〒 956-0845 新潟県新潟市秋葉区金津 93 番地 1 TEL 0250 (25) 3981									
発行年月日	2016 (平成 28) 年 3 月 31 日									
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所 在 地		コー 市町村	•	北緯	東経	発掘期間		発掘面積	発掘原因
中潟館跡	新潟県長岡市 熱潟県長岡市 か見町字浄土原 680番地1ほか		15202	129	37° 21′ 02″	138° 49′ 45″	19930412 ~ 19930611		1,700 m <sup>2</sup>	一般国道 17 号 南長岡拡幅事業
所収遺跡名	種別 主な時代		主な遺構		主な遺物			特記事項		
中潟館跡							土坑やピットが存在した可能性があ る。			
	館 跡 中世 (13 掘立柱建物 30、 ~16世紀 初頭、中心 65、溝 14 (館 は 14世紀 の堀を含む)、 後半~16 世紀初め) ピット多数			、土坑 14(館 む)、 ちむ)、 ちも、	土器 (土師質土器・瓦器)、 陶磁器 (青磁・白磁・瀬 戸焼・美濃焼・珠洲焼・ 瓷器系陶器)、石器 (砥石・ 石臼)、木器 (曲物・板・ 棒など)、金属器 (銭貨・ 釘・鍬 (鋤) 先など)、鉄 滓、フイゴ羽口			堀の外周を含めると南北約 100m = 1 町の館であることを確認した。また地籍図の検討などから東西も堀の外周を含めると 100m 前後となり、方 1 町の規模の館である可能性が高い。館の内部からは多数のピット・土坑・井戸を確認した。出土遺物には古瀬戸瓶子や瓦器風炉などの優品がある。		
要約	志度野岐荘のなかでも屈指の有力氏族である石坂氏の居館という伝承を持つ館である。調査結果は石坂 氏の居館としてはやや貧弱であるが、方 1 町となる館の規模は決して小規模ではなく、古瀬戸の瓶子や瓦 器風炉などの優品も出土しており、調査区外に石坂氏の居館に見合った施設が存在している可能性がある。									

新潟県埋蔵文化財調査報告書 第 267 集 一般国道 17 号 南長岡拡幅事業関係発掘調査報告書

## 中潟館跡

2016(平成28)年 3 月 30 日印刷 2016(平成28)年 3 月 31 日発行

2016(平成28)年3月30日印刷 編集・発行 新潟県教育委員会

〒 950-8570 新潟市中央区新光町 4 番地 1

電話 025 (285) 5511

公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団 〒 956-0845 新潟市秋葉区金津 93 番地 1

電話 0250 (25) 3981 FAX 0250 (25) 3986

印刷・製本 株式会社ハイングラフ

〒 950-2022 新潟市西区小針 1 丁目 11 番 8 号

電話 025 (233) 0321